

# さいたま市の食育取組状況

平成30年度

(2018年4月～2019年3月)

さいたま市食育推進協議会

## <はじめに>

さいたま市では、市民が食育を通して、心と身体の健康を培い、豊かな人間性、自然への感謝の気持ちを育むことを目指して、「第3次さいたま市食育推進計画」に基づき食育を推進しています。平成30年度は、「三食しっかり食べる」を重点目標とし、市民・民間団体・事業者・関係機関・行政等が、連携の強化を図りながら、食育を推進しました。

本冊子は、さいたま市における食育の取組の進行状況の確認、評価を行い、効果的な食育の推進を検討するため、「さいたま市食育推進協議会」及び「さいたま市食育推進担当者会議」において取りまとめた資料をもとに作成しました。市民一人ひとりが、生きていく上で欠かせない大切な“食”について、正しい知識をもち、考え、実践し、伝えていけるよう、さいたま市の食育を推進していくための資料として、ご活用ください。

## <冊子の見方>

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”(裏表紙うら参照)の各項目について、講話・実習・体験・啓発等を行った場合は○

食育の目標“さいたま市5つの「食べる」”で○をつけた項目について、市民がどう変化したか等、取り組んだ成果を記載

写真や資料を掲載

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など		
		目標 5つの「食べる」										実績 2018年4月～2019年3月 (平成30年度)			成果	課題			
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題								
		朝食	食生活 バランス	共食 行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ 資源・環境 農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上					
協働																			

関係団体、地域・市民、行政等が、対等な立場で連携を図りながら協力して取り組んだ場合は○

対象としたライフステージに○

実施した内容を記載

改善すべき点、検討が必要な点等について記載(終了となる事業については、その理由を記載)

## <目次>

- 1 食育関係団体(さいたま市食育推進協議会委員)の食育取組状況 ..... 1
- 2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況 ..... 9
- 3 公民館の食育取組状況 ..... 29
- 4 公立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況 ..... 52

## 1 食育関係団体（さいたま市食育推進協議会委員）の食育取組状況

- ・ 人間総合科学大学
- ・ 埼玉県栄養士会
- ・ さいたま市食生活改善推進員協議会
- ・ さいたま市地域活動栄養士会 バランス食の会
- ・ 日本チェーンストア協会 関東支部
- ・ さいたま市私立保育園協会 食育部
- ・ さいたま市PTA協議会
- ・ 市民委員（MOA インターナショナル埼玉）
- ・ 市民委員（食育研究会 MoguMogu）

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」										実績	2018年4月～2019年3月(平成30年度)										
		三食 しっかり	目標 いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題									
人間総合科学 大学 サークル "ベジカル"	野菜の植え 付け・収穫体 験	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:大学生 30人	実施日:6月～11月 場所:人間総合科学大学 園場 内容:土づくり、植え付け、草取り、水やり、収穫、加工販売	大学内の園場の土壌にあった肥料を配合し、土づくりをし、さつまいも、吉川ねぎ、なす、ピーマンを植え付けした。土が硬いため、さつまいもは細長いものが多く残念であった。ピーマン、なすは学生が話し合い水やりをしっかり管理したため、品質の良いものをたくさん収穫することができた。	学生が来ない土日、夏休みに水やりを管理することが大変であり、学生のモチベーションによって左右されやすい。また、吉川市4Hクラブの方に聞かないと分からないことも多く、作業が遅れることも多かった。	大学敷地内に新たな園場を確保したため、今年度はその園場の運営方法を考えながら、少しずつ農作業を始めたいと考えている。
人間総合科学 大学	さいたまヘル スケア産業創 出委員会:埼 玉健康プロ ジェクト88-食 の適量生活	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:各店舗で 注文していた いた方 100人	実施日:2月～3月 場所:さいたま市内の飲食店5店舗 内容:人間総合科学大学の学生が提案した適量メニューを各店舗あるいは学生自身が調理し、販売した。	前年度に引き続き、ナト・カリ塩を使用しても味に影響はなく、また、効用についても説明することで、より多くの方に興味を持っていただくことができた。	適塩料理をお召し上がりになった方にはアンケートを実施し、成果を取りまとめているが、参加して下さった店舗との振り返りができていないことが課題である。	参加していただける店舗を新たに募集し、内容としては同様に進めていく予定である。
人間総合科学 大学	高校生の食 事	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:青年期 30人	実施日:9月 場所:伊奈学園 内容:高校の「栄養」の授業内で講義。家庭科の教科書の記載内容に連動しながら新しい情報を取り入れ、1日3回規則正しい食事の重要性を強調した。	過去に対象高校の食生活調査をしており、その結果を紹介することで、より一層興味をもって聞いてもらえた。	もっと多くの高校生に食生活について興味を持ってもらいたいため、対象高校を増やしたいと考えている。	対象高校を募集し、内容は同様に進めていく予定である。
埼玉県 栄養士会	児童福祉施 設における スキムミルク クッキング	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:児童福祉 施設に勤務する 栄養士、調理 師、保育士他 30人	実施日:2018.11.26 場所:越谷市(東彩ガス料理教室) 内容:スキムミルクを使った調理実習 行政や児童福祉施設での食育の取組事例発表	保育園などの児童福祉施設における「食」に関する取組事例が参考になったとの声が多く聞かれた。調理実習で行ったメニューも大変好評だった。	・開催場所の確保 (民間は費用が高く、公的施設では日程が決めない) ・開催時期の選定	
埼玉県 栄養士会	市民健康食 養講座	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 87人	実施日:9回 場所:さいたま市(埼玉県栄養士会研修室) 内容:熱中症、ロコモティブシンドローム、血糖値、などについて	毎月来てくださる方や一度参加されて、友人を連れて参加してくださる方などロコモで少しづつ広まっている様子。	実施日の周知 開催場所の周知	
埼玉県 栄養士会	栄養の日	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 30人	実施日:2018.8.4 場所:さいたま市(埼玉県栄養士会研修室) 内容:	前年度から「栄養の日」として全国的なイベントを行っているものの一つ。 栄養について考えてもらえる機会を提供している	栄養の日についての周知	
埼玉県 栄養士会	おにぎり教 室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 137人	実施日・場所:8/10、24 草加市 :10/17 みたけ保育園 :10/25 桜花幼稚園 :11/17 川越市 内容:お米のできるまで、朝ごはんの大切さを知ってもら	県産米についての理解や、朝ごはんをしっかり食べたいとの声がかかれた。	保護者との参加で食事をみなおすきかけ作りができれば良いのではないかと考えている。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」										対象ライフステージ	対象、実施回数・参加者数等	実績 実施日、場所、内容	2018年4月～2019年3月(平成30年度)								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳				学 齢期 6～15歳		青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	成果	課題	
埼玉県 栄養士会	米粉教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象: 119人	実施日・場所:11/14 ふじみ野市 :11/23 春日部市 :11/24 深谷市 :12/1 鴻巣市 内容:親子で米粉の特性を知っていただき、米粉を使った調理実習を行う	親子でのコミュニケーションの一つとして楽しんでいただくことができた。	実施日の周知 開催場所の確保	
埼玉県 栄養士会	健口教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象: 318人	実施日: 場所:さいたま市各区(10区) ×2回 内容:さいたま市の要望にあわせる	地域における介護予防の充実のために、栄養や食事についての理解を深めてもらう	マンパワーの確保	
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	総会 記念講演	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象:会員 1回 274人	実施日:2018年4月26日(木) 場所:さいたま市市民会館うらわ 内容:総会 記念講演テーマ「食と健康講座」 美味しい減塩食～とくに高血圧と塩分について～ 講師 キッコーマン総合病院 院長 久保田 芳郎 先生	栄養バランスのよい一汁三菜の「和食」は野菜摂取多く、野菜の機能、豊富な栄養素が生活習慣病予防、高血圧予防につながる。食は健康の基と講話を会員に伝えることが出来た。	これまで以上に食生活の大切さを再確認し、健全な食生活に取り組む。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	合同研修会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象:会員 3回 249人	実施日:①2018年7月2日 ②10月10日 ③2019年1月9日 場所:①③さいたま市保健所 ②岩槻区役所保健センター 内容:①第3次さいたま市食育推進計画について ②生活習慣病予防の食事について ③フレイルについて	第3次さいたま市食育推進計画について健康増進課管理栄養士より計画の基本的な考え方、さいたま市の現状等の講話。さいたま市5つの「食べる」を行政と協働し食育に取り組んでいきたい。 栄養成分表示は健康づくりに役立つ情報源との講話。今後も情報を注意深く確認し生活習慣病予防に努めたい。	多様な暮らし方に対応したさいたま市5つの「食べる」の推進の進め方	
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	リーダー研 修会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象:会員 14回 384人	実施日:浦和支部(5/21、6/8、9/25、11/28、12/12、2/19、3/4)、大宮支部(5/7、9/3、12/3、2/5)、岩槻支部(4/18、5/23、9/19) 場所:各区役所保健センター(浦和区2、桜区2、南区1、緑区2、西区2、大宮区1、北区1、岩槻区3) 内容:親子食育、食事バランスガイドについて、朝食について、女性の健康について、男性の健康について、高血圧予防、骨粗しょう症予防について、献立作成、災害時の食事、行事食について、減塩についての講話と調理実習	地区、グループ伝達のための多世代に向けての研修会、皆前向きに取り組んでいる。	浦和支部は会場の都合で参加人数が限られ、参加希望もあり対策検討中。	
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	グループ伝 達講習会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象:会員 349回 5,491人	実施日:浦和支部24グループ4/25他241回、大宮支部13グループ4/15他79回、中央支部2グループ4/11他17回、岩槻支部1グループ4/18他8回 場所:各支部公民館(浦和支部21、大宮支部13、中央支部2、岩槻支部1) 内容:10区リーダー研修会、支部リーダー研修会で学んだ講話、調理実習を正しく解りやすく伝達する。	今年の目標さいたま市5つの「食べる」さ「三食しっかり」食べるがテーマ。多世代、特に働き世代に朝食は欠食せず三食しっかりと、健全な食生活を実践して欲しいと伝える事が出来た。	事業実施の折、働き世代への参加の呼びかけ	
さいたま市 食生活改善 推進員協議会	支部活動	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢期 6～15歳	青年 期 16～24歳	成人 期 25～39歳	壮年 期 40～64歳	高 齢期 65歳以上	対象:①②④⑤ 会員、③小学生 とその保護者 5回 166人 (①②④⑤137 名、③29名)	実施日:2018年①4月18日 ②6月20日 ③8月5日 ④11月22日 2019年⑤2月20日 場所:①岩槻区役所保健センター ②味の素川崎工場 ③さいたま市子ども家庭総合センターあいばれっと ④日進町地域 ⑤浦和区役所保健センター 内容:①支部総会 ②施設見学(味の素川崎工場) ③親子食育料理教室 ④ウォーキング ⑤味噌づくり教室	「三食しっかり」「いっしょに楽しく」食べるをテーマに特に朝食の大切さを伝えることが出来た。 一般の方々とふれあう会場において生活習慣病予防のための、情報発信、相談と望ましい食習慣を伝えられた。	調理実習の会場は、調理器具が一部不備のため器具充当の借用書発行、搬入搬出の準備に手間取った。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										対象ライフステージ	対象、実施回数・参加者数等	実績			2018年4月～2019年3月(平成30年度)							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15歳			青 年 期 16 ～ 24歳	成 人 期 25 ～ 39歳			壮 年 期 40 ～ 64歳	高 齢 期 65歳 +	実施日、場所、内容	成果	課題		
さいたま市食生活改善推進員協議会	グループ活動	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:市民 62回 3,775人	実施日:浦和支部14グループ6/23他43回、大宮支部5グループ8/7他14回、岩槻支部1グループ10/1他2回 場所:各支部公民館、馬宮児童センター、宮前西小学校、大宮西小学校、春野自治会館 内容:夏休み子どもクッキング、親子食育教室、かんたんとり分け離乳食、おやつ作り、公民館文化祭、高齢者食育サロン、男性のための料理教室、西区ふれあいまつり、すぐすく教室 他 実施。年代に沿った食育事業	地域要望にこたえ乳幼児から高齢者まで、男性の健康、女性の健康、さまざまな食育事業を行ってきた中、おやつ作りは子供達が見守り育てた農作物を使ってのおやつ作り「食文化や地の物を伝え合い」食べる地産地消を伝えることができた。	今後もあらゆる世代に寄り添い、特に若者や働き世代の食育活動に取り組んでいきたい。	
さいたま市食生活改善推進員協議会	保健センター事業等への協力①	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:3～6歳児(未就学児)とその保護者 5回 137人	実施日:2018年7月24日、7月26日、7月31日、8月3日、8月10日 場所:各区役所保健センター(北区、西区、岩槻区、南区、緑区) 内容:親子食育講座「野菜パクパク元気教室」食育のお話(エプロンシアター)、調理実習	エプロンシアターでは子供たちが真剣に、時には楽しみに見てくれた。お弁当作りは主食・副菜・主食3:2:1を心がけて作ることへの理解が深まった。わかりやすく食育について伝えられた。	保健センター事業に積極的に協力したい。	
さいたま市食生活改善推進員協議会	保健センター事業等への協力②	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生とその保護者、のびのび子育て広場来場者、健康まつり来場者 6回 627人	実施日:2018年6月17日、24日、10月20日、28日、11月4日、2019年1月19日 場所:各区役所保健センター(中央区、西区2、北区)、農業トレーニングセンター緑の広場、浦和コミュニティセンター 内容:小学生がつくるカンタン朝ごはん、親子でごちそうごはん(野菜編、お米編)、親子クッキングめざせ朝食マイスター、のびのび子育て広場(食育クイズコーナー)、浦和区健康まつり。食と健康について事業協力	保健センターの様々な事業に協力することで多世代の参加者と触れ合い、健康づくりに寄与することができ、親子で地元農家さんの野菜、お米を使った調理実習は地産地消を通じ地域の食と農への興味や関心を深められた。	保健センター事業に積極的に参加協力したい。	
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業①(一財)日本食生活協会委託事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:成人男女 1回 30人	実施日:2018年12月4日 場所:浦和区領家公民館 内容:働き世代のための生活習慣病予防のスキルアップ事業 テーマ 塩分下げて美味しい減塩料理 講義と調理実習	若い働き世代の参加が多かった。高血圧はさまざまな病気と関係あり、禁煙、適正体重維持、運動習慣を身につけ、減塩効果のある野菜350g・1日5皿を目標に350gを提示し、三食しっかりバランスのよい食事を心がけてと伝えた。望ましい食習慣について理解する機会になったと考えられる。	今後も若い働き世代に参加を呼びかけ食育を通し日々の食生活の重要性を伝えたい。	
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業②埼玉県委託事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区内成人男女 2回 60人	実施日:2018年10月19日、11月7日 場所:中央区鈴谷公民館、岩槻区本町公民館 内容: ・生活習慣病予防のための食生活改善支援事業 ・米利用推進事業 講義と調理実習	不健康な生活を続けていると生活習慣病を引き起こし重大な病気を招く原因、バランスの取れた生活習慣や食生活を心がけようという講話。調理実習は手際よく盛り等工夫し、食を通して工夫や少しの手間と心遣いを学んでいた。 埼玉県産の米を利用し主食・主菜・副菜・汁物・デザートと全てお米を活用したメニュー。手間と工夫で多彩な料理となったと好評だった。	参加者の健康意識はとて高く、質問も活発にあり、食育や健康づくりを学び、対応していきたい。今後も地域の人々に健康料理を伝えていきたい。	
さいたま市食生活改善推進員協議会	委託事業食育推進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:市民 19回 323人	実施日:2018年6/14、7/28、9/14、19、20、10/18、11/6、14、15、20、22、12/3、7、15、19 場所:各地区 浦和区針ヶ谷公民館 他 16公民館 内容:生活習慣病予防14件、親子食育2件、高齢者の食事1件、カルシウムアップの伝承料理1件、とりわけ幼児食教室1件の事業を実施。	食事バランスガイドに沿ったバランスのよい食事を「三食しっかり」食べ、特に親子食育では、朝食は毎日しっかり食べ元気な1日を呼びかけ、食事と運動を継続する事が生活習慣病予防に繋がると会得してもらえた。	今後、あらゆる世代に寄り添うことが出来るように食育活動に取り組みたい。 地域によっては、参加人数募集に苦慮。若い世代の参加の呼び掛け方や広報の活用について検討したい。	
さいたま市地域活動栄養士会 バランス食の会	料理教室(ひまわり)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:女性 年10回 各回12人計120人	実施日:毎月第1水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 岸町公民館 内容:調理実習・栄養講座	ここで学んだ事を地域の方々へ伝える人も増えてきました。 新しく入会して来る参加者も増え、質問も多くなりました。	常に新しい献立や他県の郷土料理や今話題の栄養講座も求められてきているので、努力していきたいと思っています。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など																								
		5つの「食べる」										対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題																									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	実施日、場所、内容	成果	課題																														
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (食生活講習 会)木曜クラス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:女性 年10回 各回10人 計100人	実施日:毎月第2木曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 浦和ふれあい館 内容:調理実習・栄養講座	家庭での応用が上手になり、食材への質問も多くなり、食材・調味料の使い方にも変化が見られるようになりました。	お弁当作り・作り置き惣菜等のヒントやアドバイスを もって取り入れて、バランスのとれた食生活を簡単に 実践していけるように手助けをしていきたいと思っ ています。	協働○ (継続)	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○			
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (食生活講習 会)金曜クラス	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:女性 年10回 各回10人 計100人	実施日:毎月第2金曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市浦和区 浦和ふれあい館 内容:調理実習・栄養講座	旬の食材への関心が高く、家族への話題作りにも役 立っている。余った食材の利用も上手になりワンラ ク上の調理が出来るようになりました。作業がていね いなクラスです。	行事食への関心も高く、同じ食材での応用調理もま していききたいと思います。 実習希望が高く、他の機会でも行っていきたくと思 います。	協働○ (継続)	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (男の手料理)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:男性 年10回 各回8人 計80人	実施日:毎月第3水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:調理実習・栄養講座	料理の基本・由来・旬・栄養価等、熱心に取り組み、 家族にもよく作るようになってきている。作りたいメ ニューも大変多くなってきている。	希望のメニューにそって献立作りをしているが、基本 をしっかり身につけて、また作りたいと思うよう努力 していきたいと考えております。	協働○ (継続)	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	料理教室 (ちくちくク ッキング)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:女性 年10回 各回12人 計120人	実施日:毎月第4水曜日(8月・1月休み) 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:調理実習・栄養講座	参加者も増加し、調理の幅も広がり、ベテランの方 も多く、家族からも喜ばれている様子が、話題も豊富 になってきている。特に栄養に関する質問も多くな っている。	話題性・旬・目新しい献立で、家族に喜ばれるよう 努力していきたい。栄養に関する新しい知識も、勉強 していきたいと考えております。	協働○ (継続)	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	彩の国い きがいがい 大学栄養 講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:彩の国い きがいがい大学受 講者 年1回 75人	実施日:6月12日 場所:伊奈町 埼玉県民活動センター 内容:栄養講座	「健康で長生き出来る食事」の講義。 いきがいがい大学よりの依頼で行い、これに基づいた 献立での調理実習を後日行った。 関心が高く、質問も多かった。	レジメと講義だけでなく、体操等も入れていきたく と思います。	協働○ (継続)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	彩の国い きがいがい 大学調理 実習	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:彩の国い きがいがい大学受 講者 年3回 各回25人 計75人	実施日:6月26日、7月10日、9月25日 場所:伊奈町 埼玉県民活動センター 内容:調理実習 (6月12日の栄養講座 受講者)	バランスのとれた食事作りと、衛生面、食品の取り扱 い、後片付け等、一人でも出来る事を基本的に勉強し てもらった。	一人暮らしのヒントとなる献立や、市販の惣菜の上 手な利用方法を伝えていきたいと思っ ています。	協働○ (継続)	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	埼玉県 米消費拡大 推進連絡 協議会 助成事業 (米粉)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生と 保護者 1回 12人	実施日:8月22日 場所:さいたま市中央区 上落合公民館 内容:米粉を使った調理	米粉を使って、ピザ、お菓子、スープを親子で楽し く作りました。 特に、こねる事は、子供には楽しかったようです。 トッピングも上手に出来ました。	夏休みの親子対象でしたが、他の時季にもやってほ しいと言われました。 食育にも良いと思いますので努力していきたいと思 います。	協働○ (継続)	—	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など
		三食 しっかり	目録 いっしょ に楽しく	5つの「食べる」 確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 実施日、場所、内容	2018年4月～2019年3月 (平成30年度) 成果	課題					
さいたま市 地域活動栄 養士会 バランス食 の会	埼玉県 米消費拡大 推進連絡協 議会 助成事業 (米)	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象:保育園 (年長組) 1回 20人	実施日:11月2日 場所:桜花保育園 内容:おにぎり教室	おにぎりを園児にぎってもらい、自分のお弁当箱につめてもらった。 お米の話、親への感謝の話、栄養に関する絵本の読み聞かせ等を行いました。 園児は楽しく、残さず食べました。	自分で作った食事は、普段、きらいで食べない物まで、皆、残さず食べました。 簡単に出来る食事作りをもっとひろめていきたいと思いました。	
(株)マルエツ (日本チェーンストア協会 関東支部)	栄養の日	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象: マルエツ店舗来店のお客様 101人	実施日:2018年8月4日(土) 場所:マルエツ 大宮大和田店 内容:栄養の日 キッチンイーとびあでのメニュー提案・試食提供 栄養士による栄養相談 メニュー:野菜のパンケーキ ヨーグルト添え	難しく考えずに食事にちょっとプラスする事で、手軽に栄養価をアップさせる事が出来る事をご参加頂いた方にはご理解頂けた。	事前周知不足であったので、来年度に向けて事前PRを行う。 スタッフのレベル向上 日本栄養士会との連携強化	
(株)マルエツ (日本チェーンストア協会 関東支部)	栄養の日	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象: マルエツ店舗来店のお客様 151人	実施日:2018年8月4日(土) 場所:マルエツ 岩槻駅前店 内容:栄養の日 キッチンイーとびあでのメニュー提案・試食提供 栄養士による栄養相談 メニュー:野菜のパンケーキ ヨーグルト添え	難しく考えずに食事にちょっとプラスする事で、手軽に栄養価をアップさせる事が出来る事をご参加頂いた方にはご理解頂けた。	事前周知不足であったので、来年度に向けて事前PRを行う。 スタッフのレベル向上 日本栄養士会との連携強化	
(株)マルエツ (日本チェーンストア協会 関東支部)	栄養の日	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象: マルエツ店舗来店のお客様 208人	実施日:2018年8月4日(土) 場所:マルエツ 西大宮駅前店 内容:栄養の日 キッチンイーとびあでのメニュー提案・試食提供 栄養士による栄養相談 メニュー:野菜のパンケーキ ヨーグルト添え	難しく考えずに食事にちょっとプラスする事で、手軽に栄養価をアップさせる事が出来る事をご参加頂いた方にはご理解頂けた。	事前周知不足であったので、来年度に向けて事前PRを行う。 スタッフのレベル向上 日本栄養士会との連携強化	
さいたま市 私立保育園 協会食育部	調理講習会	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象: 私立認可保育園 給食従事者 ①32人 ②54人	①9月19日(水)、②平成31年1月30日(水) ・さいたま市子ども家庭総合センター調理実習室にて。 ・「地場産物を使った和食給食の献立」の調理講習会を開催した。 ・さいたま市内で農業を営む方にお越しいただき、講話をお願いした。当日は埼玉県産のお米や野菜(小松菜、ネギ、紅赤等)をふんだんに使って調理実習を行った。	・今後「地場産の食材を給食の中に取り入れていこう」と思っ、参加者ほとんどの方からご意見をいただいた。 ・食材を大切に調理していこうと改めて感じたという意見も多かった。	・調理講習会で学んだ献立を、実際に保育園の給食の献立に取り入れるのか。 ・地場産物を取り入れる回数が増えたのか。 追跡調査を行っていく。	
さいたま市 PTA協議会	市P協さいたま	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象:全区PTA 会員 約9万人	実施日:継続 場所:全区 内容:平成28年3月発行「市P協さいたま No.30」にて食育をテーマに特集。朝ごはんと学力の関係も密接に影響しあう「食育」を考えるきっかけづくりをしたと同時にアレルギーについても掲載。			
市民委員 島田 すみ子 (MOAイン ターンヨナ ル埼玉)	楽しい手作り みそ教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒 食品表示 食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～6歳 学齢期6～16歳 青年期16～25歳 成人期25～39歳 壮年期40～65歳 高齢期66歳以上	対象:市民 1回 16名	実施日:2018年4月17日 場所:MOA健康生活館さいたま 内容: ・オーガニック食材による電気もガスも使わず、手軽に出来る手作り味噌づくり ・日本の伝統的な発酵食品の味噌についてセミナー	発酵食品である味噌は健康にとっても良い事が改めて理解された方が多く、安心な食材で作った自分だけの味噌が食べられる事が楽しみになった。また、大豆をつぶしながら、参加者同士で会話が弾み、楽しいコミュニケーションの場になった。	更に地域に拡げていきたい。	



さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」										実績		2018年4月～2019年3月(平成30年度)									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題												
市民委員 島田 すみ子 (MOAイン ターナショナル埼玉)	埼玉県の 特産を生かし た料理教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～7歳	学齢期6～17歳	青年期16～26歳	成人期25～41歳	壮年期40～66歳	高齢期67歳以上	対象：一般、 MOA食育指導員、推進員	実施日：2018年6月29日 場所：さいたま市 プラザノース 内容：埼玉県産農産物のネギ・お茶・小松菜を使用したレシピを考案し、普及の拡大、健康増進を目的。「ねぎたっぷり炊き込みごはん」「粉末茶入り鶏団子スープ」「小松菜サラダ」	「ねぎたっぷり炊き込みごはん」は、夏バテ防止も目的とし、生姜も用い、初めて食すネギを炊き込んだご飯は、とても好評。「粉末茶入り鶏団子スープ」は、お茶の味が鶏肉の味の邪魔すること無く、子供も抵抗無く食べると、意外性が評価された。	ネギは冬のイメージだが、埼玉では長ねぎが一年中栽培されていること、お茶は葉も摂取すると、多くのビタミンやカテキンも摂れ、健康に良いことを知ってもらえた。	
市民委員 島田 すみ子 (MOAイン ターナショナル埼玉)	身体が目覚 める朝ごはん	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～6歳	学齢期6～16歳	青年期16～25歳	成人期25～40歳	壮年期40～65歳	高齢期66歳以上	対象：一般、 MOA食育指導員、推進員	実施日：2018年12月7日 場所：さいたま市 プラザノース 内容：野菜・たんぱく質・糖質がバランス良く摂取出来る、簡単に作ることが出来るレシピを考案「簡単みそ汁」「鮭のにぎり」「さつま芋のオレンジジュース煮」 合理的で健康的な時短料理のススメ	みそ汁の出汁は前日の夜から水出しで冷蔵庫内で作ることを提案。身体に良い出汁を手軽に作り続けることが出来そうと好評。鮭も、焼かずに電子レンジを使用することで後片付けも簡単で、良い手抜きを学ぶことが出来た。	簡単に作れる朝ごはんのレシピのレパートリーを考案していきたい。	
市民委員 松成 容子 (NPO法人 食育研究会 MoguMogu)	プロに習う夏 休み子ども パン教室	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～9歳	学齢期6～19歳	青年期16～28歳	成人期25～43歳	壮年期40～68歳	高齢期69歳以上	対象：一般及び サポーター会員 大人・子ども	実施日：2018年8月7日(火) 場所：日本製粉(株) 東部技術センター 内容：製パン技術者の全国組織、ジャパン・プロフェッショナル・ベーカーズ友の会との共催。製粉会社のプロ設備の中でベテラン講師に習う会。ミニ学習は、パンのひみつなど夏休みの自由研究になるテーマ。	パン作りをしているプロのシェフと接することで、子どもたちが将来の仕事について考えるきっかけに。本物をみたりさわったりすることは、とても新鮮で刺激をうけた。食べ物の素材を知る大切な体験の場となった。		
市民委員 松成 容子 (NPO法人 食育研究会 MoguMogu)	大人の食育 「お月見に料 理といわれ を楽しむ会」	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～10歳	学齢期6～20歳	青年期16～29歳	成人期25～44歳	壮年期40～69歳	高齢期70歳以上	対象：一般及び サポーター会員	実施日：2018年9月22日(土) 場所：東京・上野 水月ホテル鶴外荘 内容：日本の食文化を学ぶ、大人の食育の会。お月見のいわれを学びながら、お月見と季節にちなんだ料理を目と舌で楽しむ。総料理長からはていねいな料理の説明がある。	1つのテーマで集まった人たちが、そのテーマ(日本の年中行事)にそって会話し、料理をいただくことで共食を楽しめた。日本の食文化「和食」をあらためて大切に、ほこりに感じられる体験となった。	子育て中の人、フルタイムで働く人などそれぞれ環境の違う人たちが参加しやすい日程を組むのがむずかしい。	
市民委員 松成 容子 (NPO法人 食育研究会 MoguMogu)	親子料理教室 プロに習うクリスマス のローストチキン	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～11歳	学齢期6～21歳	青年期16～30歳	成人期25～45歳	壮年期40～70歳	高齢期71歳以上	対象：一般及び サポーター会員 親子	実施日：2018年12月22日(土) 場所：プラザノース(北区) 内容：クリスマス用に丸鶏のローストチキンを焼いて持ち帰る。福島産の伊達鶏を使って「羽丸ごとの鶏の解体を学び、命をいただくことを実感しながら上手な鶏の焼き方、切り分け方を学ぶ。生産側の方の話も聞く。	プロに習うことで、よりおいしく作れるコツを学ぶ。一体の鶏の姿を知り、解体をみることで、命をいただいていることを実感し、感謝の気持ちをもつことができた。持ち帰り、クリスマスの食卓へ並べ、家族でのコミュニケーションにつながった。	人気の高い講座だが、会場の受入れ人数や、オープン台数の制限があり、参加希望の人を全員受入れることができない。	
市民委員 松成 容子 (NPO法人 食育研究会 MoguMogu)	子ども食育 サークル もぐもぐキッ ズ(全5回) 前期・後期	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～12歳	学齢期6～22歳	青年期16～31歳	成人期25～46歳	壮年期40～71歳	高齢期72歳以上	対象：一般及び サポーター会員 小学生(1～6年生)	実施日：前期 2018年5/19(土)、6/16(土)、7/21(土)、8/25(土)、9/15(土) 後期 2018年10/27(土)、11/24(土)、12月(土)、2019年1/12(土)、2/23(土) 場所：越谷市内地区センター 内容：参加の子どもたちの意見を取り入れながら、おいしいものを作って食べて、食育的なミニ学習も学び、みんなで楽しいことを実践していくサークル。	作る楽しさ、作ってあげる喜びを感じ、自然に食べものへの興味、関心が高まり、子どもたちへの食育につながっている。「生きる力」を育む機会になっている。	たくさんの習いごと等で忙しい現代の子どもたちに、その選択肢の中でいかにこの食育サークルが意義のある内容か、その魅力をどう伝えていくか。	
市民委員 松成 容子 (NPO法人 食育研究会 MoguMogu)	もぐもぐ ファーム 連続講座	朝食 食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～13歳	学齢期6～32歳	青年期16～23歳	成人期25～47歳	壮年期40～72歳	高齢期73歳以上	対象：一般及び サポーター会員 とその家族	実施日：2018年6/24(日)、7/29(日)、10/28(日)、12/9(日)、2019年1/20(日) 5回の畑 2018年8/26(日)、2019年2/17(日) 2回 郷土料理教室 場所：さいたま市緑区 見沼たんぼと室内施設 内容：食べ物のいろいろなことを家族で楽しむ一年。「畑+郷土料理」で、畑では毎回の収穫体験と時々ピザや鍋のミニパーティー。行事のしつらえも学ぶ。料理教室はうどん作りとみそ作り。	地域の農家の方と交流することで、農業や作り手を身近に感じ、消費者としての理解が深まった。毎回、野菜作りや気候風土の話などを聞き、知識や興味が広がった。家族で参加することで、畑体験が家庭での会話にもつながり食べ物を中心に家族のコミュニケーションがうまれた。		








さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

所属団体 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		目標 5つの「食べる」										実績		2018年4月～2019年3月 (平成30年度)									
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題								
市民委員 松成 容子 (NPO法人 食育研究会 MoguMogu)	親子料理教室もぐもぐランド 「お休みの日は親子でカフェランチを作ろう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～14歳	学年期 16～33歳	青年期 25～48歳	壮年期 40～73歳	高齢期 74歳以上	対象：一般及びサポーター会員 親子 1回 26人	実施日：2018年5月20日(日) 場所：鈴谷公民館(中央区) 内容：休日に心と体においしいランチをおやこで作って楽しむ。 季節のやさしい「トマト」についてのミニ学習、食べ比べ	たくさんの親子が興味をもって参加。おやこで楽しんで作れるメニューを班ごとに協力して作り、ちょっとおしゃべりに盛り付け。 共食を楽しめた。	会場の手配に苦勞している。	
協働 —	(継続)	—	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	○	○	—	○	○	—					





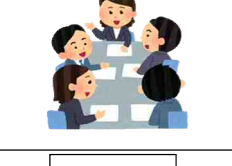


## 2 さいたま市食育関係部局の食育取組状況

- ・健康増進課
- ・食品・医薬品安全課
- ・地域保健支援課
- ・子育て支援政策課
- ・青少年育成課
- ・保育課
- ・環境創造政策課
- ・資源循環政策課
- ・農業政策課
- ・10区保健センター協力事業
- ・保健センター共通事業
- ・各区保健センター
- ・健康教育課（教育委員会）
- ・生涯学習振興課（教育委員会）
- ・生涯学習総合センター（教育委員会）
- ・防災課
- ・高齢福祉課


さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										対象、実施回数・参加者数等	実績 2018年4月～2019年3月(平成30年度)	成果	課題	
三食 しっかり	いっしょ に楽しむ	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	2018年4月～2019年3月(平成30年度)		2018年4月～2019年3月(平成30年度)		2018年4月～2019年3月(平成30年度)						
朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	実施日、場所、内容	成果	課題	取組の様子など	
健康増進課	さいたま市食育なび(食育全般の推進)	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施日:通年 場所:ウェブサイト http://www.saitamacity-shokuiiku.jp/ 内容:食育の基礎知識、学校や保育園の給食レシピ、地産地消、市の食に関するイベント、食育取組事例、第3次さいたま市食育推進計画などの情報を発信した。	アクセス数 平成29年度 88,001件 ↓ 平成30年度 91,803件 増加	平成30年度第3回さいたま市インターネット市民意識調査の結果より、「さいたま市食育なび」の認知率は14%であり、さらなる周知が必要。また、繰り返しアクセスしていただくためには、掲載内容を充実させる必要がある。		
健康増進課	食育を実施しようプロジェクト(食育全般の推進)	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:人間総合科学大学の学生 29人 実施日:2018年8月17日、12月27日、2019年2月19日 場所:人間総合科学大学 蓮田キャンパス 内容:第3次さいたま市食育推進計画に基づき、食育活動の企画・実践を行う人材を育成し、ライフステージの各段階に応じた食育の普及啓発を図った。 学生は、幼児期グループ(1～2歳児と保護者対象の食育)、学齢期グループ(放課後児童クラブでの食育)、青年期グループ(大学新入生対象の食育)、まごころグループ(さいたま市環境フォーラムでの展示)に分かれ、食育活動を企画し、実践した。	各グループで、対象とするライフステージに応じた食育活動を企画・実践できた。 学生が企画した事業に参加した市民は、食について楽しく学んでいた。 学生自身が学ぶ機会にもなった。	学生が、正しい情報を、分かりやすく市民へ伝えられるよう、改善点やよかった点をまとめ、次年度に引き継ぐ仕組みが必要。 同じ企画を継続し、ブラッシュアップしていくことも検討する。		
健康増進課	5つの「食べる」の推進	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施日:食育月間(6月)、食育の日(毎月19日)等 通年 場所:市内 内容:平成30年度の重点目標「三食しっかり食べる」と、小学生が描いた絵をデザインしたポスターを作成し、保育園施設、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ、公立小・中・高等学校、公共施設等へ配布した。 また、食育なび、市WEBサイト、市報、さいたま商工会議所会報誌、ワークジョイさいたま会報誌、民間の情報誌等に食育に関する啓発記事を掲載した。	小・中学生が食育推進に関するポスターを描くことは、望ましい食生活について考える機会となっている。 民間の情報誌や情報誌にも啓発記事を掲載し、食に関する課題の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。		
健康増進課	毎年10月は朝ごはんを食べよう強化月間(重点プロジェクトの推進)	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施日:10月 場所:市内 内容:朝食摂取を啓発するリーフレットを作成。公立保育園(61園)の全児童の保護者へ配布した。また、幼稚園、認定こども園、放課後児童クラブ、公立小・中・高等学校、公共施設等へ配布した。 食育なび、市WEBサイト、市報、さいたま商工会議所会報誌に朝食摂取に関する啓発記事を掲載した。	リーフレットの配布を公立保育園に協力いただいたり、啓発記事を商工会議所の会報誌に掲載したりすることで、朝食欠食の多い若い世代・働き盛り世代にアプローチできた。	啓発だけでなく、市民の行動変容につながるよう、外食・中食等の事業者と連携した取組を検討する必要がある。		
健康増進課	各ライフステージにおける食育の推進	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市民 実施日:通年 場所:市内 内容:健康増進課の上記の各取組で、ライフステージに応じた食育の普及啓発に取り組んだ。 「さいたま市食育ナビ」を取り組んで、保育園、幼稚園、認定こども園等へ配布した。 保育園、幼稚園、認定こども園の食育の取組事例をまとめ、「さいたま市乳幼児期における食育取組事例集」を作成し、各施設へ配布した。また、「さいたま市食育なび」に掲載した。	事例集は、アンケートの結果、「施設での食育の取組の参考にした」52%であり、乳幼児期の子どもや保護者を対象とした食育の取組に活用されている。	高齢者を対象とした食育について、関係課と連携した取組を検討する必要がある。		
食品・医薬品安全課	食の安全・安心市民講習会の開催	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:市内在住、在勤、在学中で18歳以上の方 24人 実施日:①2018年5月23日(水)、②6月29日(金)、③7月23日(月)、④9月18日(火)、⑤11月21日(水)、⑥2019年1月24日(木)、⑦3月14日(木) 場所:①②③④⑤市保健所、⑥イオンモール与野、⑦コープデリ商品検査センター 内容:①食品のリスクについて、市の食の安全確保対策について、②保健所食品衛生課の業務について、食中毒予防と衛生管理について、手洗い実習、③農薬の安全確保のための正しい農薬の知識、市の食品等検査業務について、④食品添加物について、食肉の安全確保対策について、⑤食品表示法について、⑥施設見学、⑦リスクコミュニケーションについて、クロスロードゲーム、施設見学	7回中4回以上出席した18名に対し、修了証を交付した。今年度は継続して受講した参加者が多かった。	今後も継続して出席してもらえるような工夫が必要。		
食品・医薬品安全課	食の安全市民ネットワーク会議の開催	朝食	朝食	朝食	朝食	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:ネットワーク推進員(食の安全・安心市民講習会の修了者) 121人 113人 35人 実施日:①2018年5月9日(水)、②10月19日(金)、③2019年3月13日(水) 場所:①市保健所、②コープデリ商品検査センター、③TKP新橋カナルセンター 内容:①推進員の活動について、活動報告、意見交換会、②施設見学、③薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会食中毒部会の傍聴	推進員から、残留農薬、食品添加物、食品表示、スーパー等の注意喚起の掲示、飲食店の衛生管理、家庭での鶏肉の取扱い等について活動報告や質問があり、意見交換を行った。 施設見学では、検査業務についての説明及び食品添加物を使用したジュース作りを体験した。質問も出て、興味をもってもらったようだった。 国の部会の傍聴は、内容は難しかったようだが、現状の報告だけでなく今後の対策についても聞きたかったという意見があった。現在の課題を知ってもらう良い機会なので、参加者が増えるような働きかけをしたい。	出席率を向上できるように検討が必要。 推進員の活動報告に対してその都度行政からコメントをする時間を作れるよう検討が必要。		

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan							Do										Check		取組の様子など		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)		成果	課題										
食品・医薬 品安全課	食の安全 フォーラムの 開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内在住、 在勤、在学中の 方 ①57人 ②43人 回数:2回	実施日:①2018年9月25日(火)、 ②2019年2月4日(月) 場所:①②プラザノース 内容:①科学技術とメディアの関係を考えなおす、 ②みんなの鶏肉講座～カンピロバクター食中 毒を予防する～	日常生活に活かせるような内容、新しい話や聞いたことが ない話に興味があるようだった。 食中毒のテーマは、実際に話を聞いた参加者には関 心を持ってもらえるが、参加しようと思うまでにハード ルがあるようである。	入場者数を増やすための広報活動の拡大。 興味をもってもらえるテーマ選び。	
食品・医薬 品安全課	サイエンス カフェの開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内在住、 在勤、在学中の 方 ①29人 ②37人 回数:2回	実施日:①2018年12月10日(月)、 ②2019年3月15日(金) 場所:①浦和コミュニティセンター、②宇宙劇場 内容:①いままら聞けない!～食中毒のお話～、 ②魚の寄生虫～アニサキス、クダアによる食中毒～	参加者から多数の質問カードが寄せられた。1回目 では、魚の寄生虫に関する質問や普段の生活で気 をつけることについての質問が多かった。これを受け て、2回目は、魚の寄生虫をテーマに開催した。参加 者が定員を超え、市民にとって興味深い内容によ うだった。	毎回多くの質問が寄せられるため、意見交換の時間 が足りなくなってしまう時間配分に気をつける必要が ある。	
食品・医薬 品安全課	夏の食中毒 予防対策強 化期間の実 施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市民	実施日:6月～8月(①2018年8月21日(火)、②2018 年6月25日(月)付け、③2018年6月25日(月)～7月6 日(金)) 場所:①コクーンシティ 内容:①街頭キャンペーンで啓発品(800組)配布、 ②市内小中学校へのリーフレット(75,365枚)及びポ スター(1,440枚)配布、③食肉等の処理・販売・提供 等を行う施設(285施設)の監視指導、④市報さい ま6月号及び7月号への記事掲載	ファミリー層を中心として啓発活動を行うことができ た。夏休みの自由研究のテーマにするという小学生 もいた。	より多くの市民に啓発するために、街頭キャンペー ンを行う場所や、リーフレットやポスターのデザインをよ り目を引くものに変更することを検討する必要がある。	
食品・医薬 品安全課	冬の食の安 全注意報事 業の実施	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市民、関係 職員	実施日:11月(①2018年11月15日(木)、②2018年11 月7日(水)、③④2018年11月28日(水)付け) 場所:①JRP浦和駅、②武蔵浦和コミュニティセンター 内容:①街頭キャンペーンで啓発品(800組)配布、 ②ノロウイルス対策研修会、③社会福祉施設等を所 管する関係課所へリーフレット(4,454枚)の配布依 頼、④大量調理施設(218施設)へのリーフレット配 布、⑤市報さいたま11月号への記事掲載	リーフレットを毎年変えているが、大量調理施設から は追加送付希望があったが、それ以外からは無かつ た。 ノロウイルス対策研修会で、毎年出る質問の傾向が つかめた。	今後も市民や各施設に興味を持ってもらえるよう なリーフレットを選んでいく。 ノロウイルス対策研修会では、よく出る質問集を作成 すると良いと思った。	
食品・医薬 品安全課	食の安全委 員会、食の 安全対策委 員会の開催	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	【食の安全委員会】 参加者:委員を委嘱 された方 人数:13人 回数:4回 【食の安全対策委 員会】 参加者:庁内関係課 所長 人数:10人 回数:3回	【食の安全委員会】 実施日:2018年8月7日(火)、10月31日(水)、12月19日(水)、2019年3月 22日(金) 場所:市保健所、コープデパート商品検査センター 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプ ランについて、食品衛生監視指導計画について、施設見学 【食の安全対策委 員会】 実施日:2018年7月17日(火)、12月10日(月)、2019年2月26日(火) 場所:市保健所、メール開催 内容:食の安全確保対策事業について、食の安全基本方針アクションプ ランについて、食品衛生監視指導計画について	市民の食の安全確保に向けて、食の安全に関する 情報共有や意見交換を行い、食の安全基本方針ア クションプランや食品衛生監視指導計画に反映し た。	今後も国の動向を注視しながら、活発な意見交換を 行い、反映していく。	
食品・医薬 品安全課	食の安全基 本方針アク ションプラン 、食品衛生 監視指導 計画の策定	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市民	内容:次年度のアクションプラン及び計画について、 食の安全委員会や食の安全対策会議等で話し合 い、案の作成を行った。	市民の食の安全確保に向けて、食の安全委員会や 食の安全対策会議及び関係課内会議で出した意見を 反映し、案を作成し、ホームページにて意見募集を 行った。	今後も国の動向を注視しながら、策定に向け進めて いく。	
食品・医薬 品安全課	ホームペ ージ、食育な び及びSNS を利用した市 民への情報 提供	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市民	実施日:随時 内容:食の安全フォーラムや食中毒予防街頭キャ ンペーン等のお知らせや、食品衛生監視指導計画に 基づく監視状況等を掲載した。	遅滞なく掲載できた。	今後も継続して情報を掲載していく。 閲覧数を増加させる方法を検討する必要がある。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	5つの「食べる」 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題													
地域保健支 援課	健康づくり協 力店舗普及促 進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	対象:健康づくり 協力店指定店舗 59店舗	実施日:通年 場所:さいたま市内 内容:新規指定、指定店舗巡回、状況確認アンケート、市ウェブサイトによる情報発信等	・店舗巡回やアンケートの実施により、指定店舗の状況確認を行った。 ・指定店舗が4店舗増加したことで、市民に健康情報を発信する機会が増えた。 ・市ウェブサイトを通して本事業が広く周知されることが期待できる。	・指定店舗の精度管理を行っていく必要がある。 ・指定店舗数の増加に務める。		
子育て支援 政策課	食育に関する 情報の配布、掲 示の協力	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	のびのびルーム 利用者	実施日:不定期 場所:各のびのびルーム 内容:食育に関する情報の配布、掲示	離乳食や幼児向けの食育に関する冊子やチラシの配布、ポスター等の掲示の依頼があった際に、0～2歳児までの親子が利用する「単独型子育て支援センター」や「のびのびルーム」で配布・掲示協力した。	放課後児童クラブの空き時間を開放するという事業の性質上、ポスター等の掲示については難しい場合がある。		
子育て支援 政策課	単独型子育て 支援センターで の食育に関する 事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	子育て支援セン ター(単独型)利 用者	実施日:不定期 場所:各子育て支援センター 内容:離乳食講習会、おいもほり、野菜掘り、手作りみそ講座など各支援センターで内容を決定し実施	・単独型子育て支援センター10か所すべてで、育児相談(食事・栄養に関する相談を含む)を実施した。 ・食育に関する絵本・パンフレット・レシピ集・パネルを展示・掲示・配布した。 ・食への関心を高める体験をする機会を設けることができた。	畑を持つなど、それぞれの支援センターの特徴を生かした講座やイベントを引き続き実施する。		
青少年育成 課	さるはなキャ ンプフェスタ・ 親子のつどい	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	対象:市内小学 生とその保護者	実施日:2018年10月21日(日) 場所:猿花キャンプ場(見沼区南中野) 内容:野外炊飯、レクリエーション	実施回数:1回 参加者数:85名	班ごとにみんなで一緒にご飯をつくり、一緒に食べる ことの楽しさを知ってもらうことができた。また、火おこしや飯ごうなどのキャンプ場ならではの食事づくりを体験してもらうことができた。また、	決まった時間内で食事をつくり、食べ、片付けまで行うため、班によっては時間が押ししてしまう様子がみられた。	
青少年育成 課	三橋児童セン ター 「離乳食講 座」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	対象:離乳食期 の乳児とその保 護者 実施回数:1回 参加者数: 幼児13人、 保護者11人、 計24人	実施日:2018年10月4日(木) 場 所:三橋児童センター 内容:離乳食期の食事についての講話 講師:大宮区保健センター栄養士	離乳食について、事前に保護者から質問事項を聞き取り、栄養士の方に講話の中で答えていただいた。講話終了後も個別に相談する保護者が多く、食に関する関心の高さが伺えた。	当日のアンケートにて、「内容は良かったが講師の声が聞き取りづらい」という意見が複数あり、マイクを用意する等、講話の環境への配慮が更に必要と感じた。		
青少年育成 課	植竹児童セン ター 「栄養士によ る離乳食講 話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	対象:乳児、保護 者 実施回数:1回 参加者数: 乳児7人、 保護者7人	実施日:2018年12月5日(水) 場所:植竹児童センター 体育室 内容:北区保健センターの栄養士を講師とし、離乳食についてのお話、参加者からの質問への回答を行う。	管理栄養士による講話を熱心に保護者が聞いてくださっていた。保健センターに多く寄せられる栄養相談の紹介等を通して、参加者が情報を得る貴重な機会となった。	保健センターと連携をとりながら、さらに多くの方に参加していただけるようPRも行っていきたい。		
青少年育成 課	天沼児童セン ター 「栄養士講 話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中 毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15 歳	青 年 期 16 ～ 24 歳	成 人 期 25 ～ 39 歳	壮 年 期 40 ～ 64 歳	高 齢 期 65 歳	対象: 乳幼児の保護者 実施回数:1回 参加者数: 乳幼児10人 保護者10人	実施日:2018年6月21日(木) 場所:天沼児童センター 内容:乳幼児保護者向けに大宮区保健センター栄養士による離乳食講話	熱心に講話を聞いている方が多く、講話終了後も個別に質問をされていた。	離乳食講話を目的に参加され方もいたので、参加人数を増やしていきたい。		

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	5つの「食べる」 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地域の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
青少年育成課	天沼児童センター「やきいもパーティー」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児、小学生、中学生、保護者、ボランティア 実施回数:1回 参加者数: 乳幼児88人、小学生32人、保護者98人、ボランティア4人	実施日:2018年12月8日(土) 場所:天沼児童センター 内容:地域の方々の交流の場となるよう、みんなで一緒にやきいもをつくって食べる。	NPO法人ハンズオン!埼玉&おとうさんのヤキイモタイム実行委員会のキャンペーンに応募して実施した。 「おいしかった」といった声も多く好評だった。	ボランティアが少なく高校生と小学生のみだったので、大人ボランティアの募集をして、みんなで一緒にやきいもすることで、世代間交流の場となるようにしていきたい。	
青少年育成課	天沼児童センター「みんなでクッキング」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生 実施回数: 各1回(計3回) 場所:天沼児童センター 内容:簡単な調理をして、みんなで食べる。 参加者数: ①9人②4人③6人(予定)	実施日:①2018年8月20日(月) ②2018年12月26日(水) ③2019年3月23日(土)(予定) 場所:天沼児童センター 内容:簡単な調理をして、みんなで食べる。 ①ぎょうざの皮でピザづくり ②パンケーキづくり ③やきそばづくり	簡単な料理とみんなで一緒に食べることで「楽しい」「おいしかった」といった声もあり好評だった。	料理をあまりしたことがない児童もいたので、簡単な料理から料理の楽しさを知るきっかけづくりをしていきたい。	
青少年育成課	宮原児童センター「アイスオンパンケーキ」 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生以上の児童 実施回数:1回 参加者数:16人	実施日:2018年8月2日(木) 場所:宮原公民館 内容:調理実習(喫茶店オーナーによる調理のアドバイス)	参加者同士が協力して本格的なパンケーキを作り、楽しみながら行事に参加していた。	調理の内容や、ガス台に対しての身長(学年)などを考慮して参加者を募る必要がある。	
青少年育成課	宮原児童センター「栄養士さんによる食育講話」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 実施回数:1回 参加者数: 幼児17人 保護者15人	実施日:2018年10月17日(水) 場所:宮原児童センター 内容:北区保健センター栄養士による乳幼児の食育についての講話	参加者の離乳食等に関する疑問や不安を解消することに繋がった。	動き回る乳幼児と一緒に参加するので、講話に集中できない保護者がいる。	
青少年育成課	植水児童センター・植水地区社協共催「すくすく教室」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生 実施回数:1回 参加者数:18人	実施日:2018年8月7日(火) 場所:植水公民館 調理実習室 内容:植水地区社協との共催行事です。「楽しく調理し、おいしく食べる」体験をし、食への関心を深め、食事の重要性を学ぶ事を目的としています。今回は夏野菜を使った料理として、タコライス、野菜とコーンのサラダ、ラッシー風ドリンクを作りました。また、始める前に西区保健センター管理栄養士さんのお話があり、野菜の色による栄養素の違い、調理前の手洗いの大切さなどについて学びました。	参加者の感想からは、「玉ねぎを切る時に目が痛かった」と体験をおとした感想や、「苦手な食材やメニューでも食べられた」など、楽しく調理する事など、おいしく食べる事が体験できたようです。	会場設備の点で、参加人数が限られており、応募者の中から抽選で参加者を決定しています。事業の周知方法や会場設定など、多くの人に応募していただける方法などが課題です。	
青少年育成課	【本郷児童センター】じゃがいもほり (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:幼児・児童とその保護者、高齢者 実施日:2018年6月23日(土) 場所:地域の畑 内容:地域の自治会長の畑にて地域の方々とのコミュニケーションを図りつつ、地域で栽培されている野菜を知ることで食べ物への愛着をもつていただくことを目的とし、親子で楽しくじゃがいもの収穫を行う。	実施日:2018年6月23日(土) 場所:地域の畑 内容:地域の自治会長の畑にて地域の方々とのコミュニケーションを図りつつ、地域で栽培されている野菜を知ることで食べ物への愛着をもつていただくことを目的とし、親子で楽しくじゃがいもの収穫を行う。	毎年楽しみにしてくださる利用者が多く、たくさんのお家庭や高齢者の参加があるため、世代を超えた地域の交流ができていた。また、なかなか土に触れる機会が少ない児童にとって、畑の土に触れながらじゃがいもが掘れたことや、じゃがいもの株にトンネルを見つけたなどの自然に触れる機会となり、参加者は大満足で帰る姿があった。後日、掘ったじゃがいもを家族でおいしく食べたという児童や保護者の方から嬉しそうにお話をいただき、収穫の楽しさや食べ物大切に食べる経験につながった。		
青少年育成課	【本郷児童センター】乳幼児向け食育講座 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:乳幼児とその保護者 実施日:2018年6月6日 場所:本郷児童センター 内容:北区保健センター栄養士から離乳食などの「食」に関する基本的な事項について講座を行っていただき、指導・支援をとおして食生活の大切さについて理解を深めていただく。	実施日:2018年6月6日 場所:本郷児童センター 内容:北区保健センター栄養士から離乳食などの「食」に関する基本的な事項について講座を行っていただき、指導・支援をとおして食生活の大切さについて理解を深めていただく。	参加者の中に、2子、3子目で離乳食を忘れてしまい、きちんと知りたいと考え参加して下さる方が数人あった。また、参加者の意欲的な姿勢がみえ、栄養士に離乳食に関する質問も多く挙がり、専門的な話を聞く機会となり有意義な講座となった。		

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
青少年育成課	【片柳児童センター】 キャンプ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生とその保護者 参加人数:8人	実施日:2018年11月3日(土)10:00～13:30 場所:猿花キャンプ場 内容:親子でカレーライスづくり	親子と一緒にクッキングを楽しむことができた。	募集10組だったが4組しか集まらなかった。広報等を考えたい。	
青少年育成課	【片柳児童センター】 ティーンズクッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:中高生 参加人数:7人	実施日:2018年8月10日(金) 場所:片柳児童センター 内容:参加生徒で内容を決め、クッキングを通じて交流を図る	内容の話し合いや手順も生徒が主体となり取組い、会が進むうちに交流を図ることができた。	中学校二校にチラシを配布したがなかなか集まらなかった。	
青少年育成課	【片柳児童センター】 クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生 参加人数:10人 4月21日3人、 4月22日6人、 5月19日10人、 6月16日7人、 9月15日10人、 10月20日5人、 11月24日9人、 12月18日10人、1月19日10人、2月16日9人	実施日:2018年4月21日(土)4月22日(日) 5月19日(土)6月16日(水) 9月15日(土)10月20日(土) 11月24日(土)12月15日(土) 2019年1月19日(土)2月16日(土) 場所:片柳児童センター 内容:デコレーション、プチオムライス、クレープ、ピタパン、ロールケーキ	2回同じ内容で実施することで申しこみの児童の幅が広がった。回を重ねることに手際が良くなり、複数回への参加につながった。	ホットプレートしか使えない調理環境のため、制限がある。	
青少年育成課	【春野児童センター】 子ども公民館	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生・保護者 参加人数: ①小学生11人、保護者8人 ②小学生9人、保護者3人 ③小学生10人	実施日:①2018年7月14日(土) ②2018年12月8日(土) ③2019年3月9日(土)※予定 場所:春野公民館 内容:①うどん ②おたのしみピザ ③メロンパン	公民館共催のため、専用の調理室を使用していることができ、幅広い内容に挑戦できた。親子参加により、後日家で再度作ったとの声が寄せられた。	献立の検討と広報	【補足】 参加者の感想より ・親子でさんかできたのがよかった。 ・すごく簡単でびっくりした。家でも作ってみたいと思う。 ・子どもたちが頑張って料理している姿を見てよかった。 ・ピザの生地からはじめて作ったので、とても楽しかった。
青少年育成課	【春野児童センター】 おかしなパーティー	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生 参加人数: ①22人②10人 ③10人④11人 ⑤12人	実施日:①2018年6月23日(土) ②2018年9月22日(土) ③2018年11月10日(土) ④2019年1月19日(土) ⑤2019年2月9日(土) 場所:春野児童センター 内容:①④べっごうあめ、②グループゲーム、③⑤チョコフォンデュ	普段利用しない児童もセンターに足を運ぶ機会となり、異年齢の子どもたちが、お菓子作りをとおして交流することができた。再実施を望む声が多くあり、予定の実施回数を増やした。	調理設備が不十分なため、簡単に安全に作れる献立の検討	【補足】 参加者の感想より ・つくりかたを知れてよかった。 ・みんなで作って楽しかった。 ・みんなで食べておいしかった。 ・家でもつくってみたい。
青少年育成課	【馬宮児童センター】 離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:乳児とその保護者 参加人数: 乳児23人 保護者23人	実施日:2018年6月18日(月) 場所:馬宮児童センター 内容:西区保健センターの管理栄養士による離乳食についての講話や個別相談	事前のアンケートから離乳食の進め方や栄養のバランスについての話を聞くことができた。 また、暑い時期の水分補給の大切さについても丁寧に説明していただいた。	多くの方に参加していただくために、事前アンケートを複数回とるなど工夫する必要がある。	
青少年育成課	【馬宮児童センター】 野菜を育てて収穫しよう	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生(児童クラブ) 参加人数:33人	実施日:2018年5月～7月 場所:馬宮児童センター 内容:プランターでトマトの栽培、収穫	成長する野菜を見て、世話をする楽しさや喜びを味わっていた。	苗や土により成長が変わるため、職員がこまめに世話を必要とする。	




さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)		成果	課題											
青少年育成課	【馬宮児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：小学生とその保護者 参加人数： 小学生12人 保護者7人	実施日：2018年8月16日(木) 場所：馬宮公民館 内容：西区保健センター管理栄養士、さいたま市食生活改善推進協議会の方を講師に食材や食事について学び、調理体験をする。	親子や参加者同士でコミュニケーションを取りながら、様々な食材に触れることができた。調理体験ではたこライス、サラダ、ラッシー風ドリンクを作った。	講師との日程調整を早めに行う。	
青少年育成課	【文蔵児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：乳幼児親子 参加人数： ①幼児31人、 保護者29人 ②幼児16人、 保護者16人	実施日：①2018年6月7日(木) ②2019年1月24日(木) 場所：文蔵児童センター 内容：乳幼児期の食について理解を深める。南区保健センターの栄養士による食育講座と食に関する相談を行う。また個別相談も行う。	栄養士による食育講座として実施。前半は、栄養士講話。後半は、少人数に分かれてのフリートークとした。月齢が近いこともあり、同じような悩みを共有したり、我が子の実践例を他の保護者に伝えたりする姿が見られた。	保護者同士が自分の悩みや心配事を気軽に話せる場が必要。	
青少年育成課	【文蔵児童センター】楽しくつくろう～クッキング～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：小学生 ①13人②15人 ③13人④12人 ⑤10人⑥14人 ⑦一人	実施日：①2018年5月26日(土)②2018年6月24日(土) ③2018年7月28日(木)④2018年10月13日(土) ⑤2018年11月24日(土)⑥2018年12月22日(土) ⑦2019年3月23日(土)(予定) 内容：簡単な調理や共に食べることによって食の楽しさ、大切さを知る。 場所：文蔵児童センター／文蔵公民館 調理室	公民館の調理室を利用した本格的なクッキングや、ホットプレートを使った簡単クッキングなどを行った。小学生向けのため、低学年の参加もあり、友だちと、作って、楽しく食事をすることができた。	低学年の参加が多く、火や刃物を使うような手のかかるクッキングは難しい。	
青少年育成課	【浦和別所児童センター】食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：乳幼児とその保護者 参加人数： 12組24人	実施日：2018年7月10日(火) 場所：浦和別所児童センター 内容：南区保健センター管理栄養士による「離乳食・幼児食について」の講話と相談	離乳食・幼児食の、よくある悩みについて、食生活やアレルギーに関することも含めた講話を聞き学ぶことができた。 講話後には、個別の相談を受け悩みを解決することに繋がれた。	参加年齢に幅があったので、次回「離乳食」と「幼児食」の2回にわけて実施したい。	
青少年育成課	【与野本町児童センター】離乳食講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：乳幼児とその保護者 実施回数：2回 参加人数： ①親子14組 (幼児15人、保護者14人) ②親子19組 (幼児19人保護者19人)	実施日：①2018年6月27日(水) ②2019年2月20日(水) 場所：与野本町児童センター 内容：栄養士による離乳食についての講話	事前に保護者からの質問を栄養士さんに伝え、講話の中で回答をいただいたり、講話の後に個別の質問に応えていただくなど、丁寧に対応していただき、参加者は満足していた。	たいへん関心が高い事業なので、今後も続けていきたい。	
青少年育成課	【与野本町・向原・大戸・大久保児童センター】中央区・桜区合同中学生料理教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：中高生 参加人数：1人	実施日：2019年3月3日(日) 場所：与野本町児童センター 内容：手軽でおいしい昼ごはんとお菓子づくり	簡単な食事とデザートを職員と作り、会食を楽しんだ。 自分で作ることの楽しさを感じてもらうことができた。	中学生が参加しやすい日程と内容を検討する。	
青少年育成課	【向原児童センター】親子であそぼう0才「食育講話」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：0歳児とその保護者 2回開催 参加人数： ①乳児6人 保護者6人 ②乳児8人 保護者8人	実施日：①2018年5月16日(水)②2019年1月16日(水) 場所：向原児童センター集會室 内容：中央区保健センター栄養士による食育(離乳食に関する)講話	参加者の多い月齢期を中心に、離乳食に扱う食材や留意点に関して栄養士から詳しく説明があり、参加者からの質問がとて多かった。その場で疑問点が解決され、参加者の納得する様子が見られた。	参加人数は去年よりも少なく感じたが事前の広報により、興味や関心の高い保護者が参加し、育児の不安や悩みを軽減する場となった。	






さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										対象ライフステージ	実績	2018年4月～2019年3月(平成30年度)										
三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学 齢 期 6 ～ 15歳	青 年 期 16 ～ 24歳	成 人 期 25 ～ 39歳	壮 年 期 40 ～ 64歳	高 齢 期 65歳 +	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題							
青少年育成課 協働○	【与野本町児童センター・向原児童センター・大戸児童センター合同】おいもほりに行こう！ (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:幼児と保護者 参加人数:54組(幼児61人、保護者54人)	実施日:2018年10月10日(水) 場所:小川農園 内容:地域農家の芋畑を借り上げ、親子で1組あたりサツマイモ3株の収穫をする。	芋ほりを通して、土に触れ収穫した芋の大きさに一喜一憂しながら、親子でのコミュニケーションを楽しんでいた。特に保護者より「お芋が甘かった。」等のコメントをいただき、満足度が高い印象であった。	参加親子が減少した。ニーズと照らし合わせ、実施について検討していきたい。	
青少年育成課 協働○	【大戸児童センター】ハイハイサロン「離乳食講座」 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:乳児と保護者 参加人数: ①40人(18組) ②30人(15組)	実施日:①2018年5月31日(木) ②2019年1月31日(木) 場所:大戸児童センター 内容:保健センター管理栄養士による講話や個別相談	離乳食について、初期・中期・完了期と分けて講話し、その後、個別相談。講話後の質疑応答にて質問多く、保護者の食に対する関心の高さが窺えた。	同内容で継続。	
青少年育成課 協働—	【大久保東児童センター】栄養士による講話 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:乳幼児とその保護者 ①乳幼児14名、保護者11名 ②乳幼児12名、保護者11名	実施日:①2018年6月6日(水) ②2018年10月25日(木) 場所:大久保東児童センター 内容:保健センターの栄養士を講師とし、離乳食やバランスのいい食事についての講話、利用者のアンケート回答及び質疑応答、悩み相談など	事前のアンケートに回答していただいたり、個別相談を行うなど、利用者が日ごろ悩んでいることが解決された。	乳幼児とその保護者が参加する事業内で行うので、乳幼児が講話中に飽きてしまうことへの対応	
青少年育成課 協働—	【大久保東児童センター】中高生の卒業を祝う会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:中学生3年生、高校3年生 参加人数: 人	実施日:2019年3月27日(水) 場所:大久保東児童センター 内容:ケーキをデコレーションし、一緒に食べながら、卒業のお祝いをする。			
青少年育成課 協働○	【岩槻児童センター】わくわくクッキング (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生 ※8月22日のみ 小学生親子 参加人数: ①6人 ②16人(小学生8人、保護者8人) ③8人 ④14人	実施日:①2018年8月2日(木) ②2018年8月22日(水) ③2018年10月14日(日) ④2020年2月10日(日) 場所:コミュニティセンターいわつき 内容:楽しく簡単に出来るクッキング	昨年同様、親子企画は特に人気である。みんなで楽しく作っておいしく食べることができ、参加者はまた参加したいとのこと。	より多くの小学生に参加してもらうこと	
青少年育成課 協働—	【岩槻児童センター】土曜クッキング (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生 参加人数: ①18人②18人③18人④15人⑤19人⑥18人⑦21人⑧16人⑨11人⑩9人⑪18人⑫26人	実施日:①2018年4月7日②4月21日③5月19日④6月23日⑤7月14日⑥7月28日⑦8月1日⑧8月7日⑨12月26日⑩2019年1月5日⑪1月7日⑫2月9日 場所:岩槻児童センター 内容:火を使わない簡単クッキング	クッキングは人気が高く、毎回定員オーバーのため、2部制にして実施(⑫のみ)。	バラエティーに富んだ内容を今後も取り入れていく	
青少年育成課 協働—	【岩槻児童センター】こどもかふえ (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:小学生 参加人数: ①11人②19人③15人④26人⑤8人⑥11人⑦7人⑧9人	①2018年4月28日(土)②6月30日(土)③9月22日(土)④10月27日(土)⑤11月24日(土)⑥12月22日(土)⑦2019年1月26日(土)⑧2月23日(土) 場所:岩槻児童センター 内容:手作り軽食の提供	毎回参加者は多くない。本当に食事をしてもらいたい小学生は来ていない。	孤食や思うように食べられていない子どもにも来てもらいたいが、現在の児童センターとしてはそこまで踏み込むのが難しい。実施の時間帯も昼食後なので変更が必要。	







さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
青少年育成課	【仲本児童センター】 仲本ファーム プチトマト栽培	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:利用者全般	実施日:2018年5月～7月 場所:仲本児童センター・仲本荘玄関前 内容:プランターで栽培したプチトマトの成長を見守り、収穫する。	野菜が育つ過程を日々見守り、収穫した。玄関前での栽培だったため、児童センター・老人福祉センター利用者が成長する過程を見守った。乳幼児親子・児童が収穫し、「初めて収穫した」「トマトが大好きなのでうれしい」などの感想が聞かれた。	見守りや収穫だけでなく、苗を植え、育てる過程も体験できると良い。	
青少年育成課	【仲本児童センター】 食育あそび	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	2回実施 ①対象:1歳以上未就園児親子 幼児15人、保護者14人 ②対象:未就学児親子 幼児25人、保護者19人	実施日:①2018年6月7日(木)、②2018年6月9日(土) 場所:仲本児童センター 内容:お料理工作。食べ物に関する読み聞かせ・手遊び。	おいしい食事をバランスよく食べることや、料理をつくる楽しさを、工作あそびを通して疑似体験した。また、読み聞かせや手遊びを通じ、食べ物や食べることに興味を持つきっかけづくりをした。	参加者はとても楽しんで参加していたため、より多くの方に参加していただけるよう、周知方法を工夫する。	
青少年育成課	【仲本児童センター】 学生ボランティア 食育あそび	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:1歳以上未就園児親子 参加人数: 幼児19人、保護者18人	実施日:2019年3月7日(木)(予定) 場所:仲本児童センター 内容:さいたま市健康増進課「食育を实践しようプロジェクト」の一環。学生ボランティアによる食育あそび。	本物の野菜や果物に触れ、親子で楽しみながら食べ物に親しんだ。また、おやつ選び方や栄養素について、保護者が学んだ。	たよりや管内掲示・声かけにより周知したが、雨天の影響もあり参加人数が少なめだった。より積極的に周知を行う。	
青少年育成課	【尾間木児童センター】 アグリ講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生 参加人数:15人	実施日:2018年8月7日(火) 場所:尾間木児童センター 内容:JAさいたま職員による地産地消についての講話 野菜の種まき体験	さいたま発祥の野菜やとれる地域、栽培方法を知ることができた。野菜の種まきで土に触れる機会となった。		
青少年育成課	【尾間木児童センター】 食育講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:1歳児とその保護者 参加人数: 幼児18人、保護者17人	実施日:2018年10月1日(月) 場所:尾間木児童センター 内容:緑区保健センター栄養士より食育についての講話 相談受付	食事の大切さについて再認識する場となった。苦手な食材の調理方法などを共有できた。	食事についての悩みを少しでも軽減できるよう他の年齢の親子でも実施したい。	
保育課	保育園での 食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園に通う児童、その保護者 実施回数: 100事例	場所:各公立保育園 内容:公立保育園が食育年間計画を作成し、保育士等が実施した食育が61事例。保育課栄養士が公立保育園に出向いて実施した食育が39事例(園児向けの食育が30事例、保護者向けの食育が9事例)。	各園で作成した食育年間計画を基に、子どもの月齢や発達に応じた食育を実践することができた。また、保護者向けに給食の人気レシピを配布したり、懇談会前の時間を利用して保育課栄養士による食育を行ったりすることで、家庭の食に対する興味関心を高めることができた。	園児向けの食育に比べて、保護者向けの食育の機会が少ないため、検討が必要。	
保育課	食だよりの 発行	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園の保護者、食育ナビの閲覧者 実施回数: 年4回発行	場所:公立保育園へ通う児童の保護者へ配布、食育ナビ上へ掲載 内容:季節ごとの食に関する情報発信、栄養・食育・衛生・食物アレルギーについての情報発信等	保育課栄養士より、公立保育園の保護者へ食に関する様々な情報を発信することができた。また、食育ナビへ掲載することでより広く発信することが期待できる。	保育課栄養士が主導となり発信する内容を決めているが、保育園や保護者の知りたい内容を発信できるとよい。	平成30年度に発行した食だよりの内容 ・春号:公立保育園の給食、食育、旬の食材と行事食の紹介 ・夏号:家庭でできる食中毒予防、正しい手洗い方法 ・秋号:さいたま市の食物アレルギーにおける取組み ・冬号:丈夫な骨を作るポイント


さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など								
		三食 しっかりと	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題													
保育課 協働—	公立保育園併設型子育て支援センター(4園)および子育て談話室での食育(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:10事例	対象:公立保育園併設型支援センター、公立保育園子育て談話室の利用者 実施回数:10事例	場所以:公立保育園併設型支援センター(日進保育園、大砂土保育園、与野本町保育園、西町保育園)、公立保育園子育て談話室(大谷場保育園) 内容:乳幼児期の食生活についての講話、個別相談等	公立保育園の給食を媒体として、食に関する情報を発信することができた。1回あたりの参加数がそれほど多くないため、1人1人の栄養相談の時間をしっかりと取ることができた。 また、参加できなかった方にも当日の資料を配布したり、参加者からの質問内容を共有することで情報を発信することができた。	1回に参加できる人数に限りがあり、もれなく参加してもらうために実施回数の検討が必要。	
保育課 協働—	食育なびにて保育施設における食育活動の発信(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内の保育施設、食育なびの閲覧者 実施回数:15事例	場所以:市内の保育施設で行っている食育の取組、食物アレルギー研修の紹介	食育なびで発信することにより、保護者を始めとして、園で行っている食育活動の発信ができた。	今後も継続して発信していく。	平成30年度に発信した食育活動保育施設における食育:13事例 研修・調理実習:2事例	
保育課 協働—	食育なびにて保育施設における給食献立の発信(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:食育なびの閲覧者 実施回数:3事例	場所在:市内の保育施設で提供している給食献立レシピの紹介	食育なびで発信することにより、保護者を始めとして、保育施設の人気メニューなどを発信することができた。	今後も継続して発信していく。	平成30年度に発信した給食献立 ・マンハッタン風クラムチャウダー ・セサミケーキ ・お豆腐ドーナツ	
保育課 協働—	食物アレルギー研修会及び講演会(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	○研修会 対象:保育施設職員 内容:アレルギー対応についての講話、エビベンの実技講習 実施回数:11回 ○講演会 対象:市内外問わず誰でも参加可能 参加者数:719名	○食物アレルギー研修会 場所以:アナフィラキシー児やエビベん預かり児が在園している保育施設 内容:アレルギー対応についての講話、エビベンの実技講習 ○食物アレルギー講演会 実施日:2018年11月3日(祝) 場所在:市民会館おみや 内容:「食べ治す!子どもの食物アレルギー」講演(講師:さいたま市市民医療センター 小児科 診療副部長 西本 創氏)	研修会では、講話と実技講習の両方を行うことで、基本的な知識の習得と緊急時の実践力の向上を図ることができた。 また、研修会および講演会を毎年開催することで、最新のアレルギー情報を共有できている。	講演会参加人数に余裕があるため、より集客率を上げるよう周知方法の検討が必要。		
環境創造政策課 協働○	さいたま市環境フォーラム(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	展示参加団体: 24団体 スタンブラリー参加者: 1,131人 その他見学者: 約11,000人	実施日:2018年10月26日(金)・27日(土) 場所在:さいたま新都心駅東西自由通路 内容:市民、事業者、学校、行政などがそれぞれの立場で行っている環境保全活動についての発表を通じ、お互いの情報交換と交流の場、また、多くの方々に環境に関心を持っていただくための環境教育・学習の場を創出することを目的としたイベントである。環境への配慮と併せて、食品ロスの削減など食育についても啓発した。	来場者アンケートでは、食品ロスについての感想、食育に対する意見を多数いただくことができ、食育の推進について啓発することができた。	より多くの方々に、環境に関心をもっていただけるよう事業内容や広報方法を検討していく。		
環境創造政策課 協働—	エコライフDAY(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	夏 22,422人 冬 18,454人	夏と冬の年2回、ある1日を省エネ・省資源など環境に配慮して過ごし、その成果を二酸化炭素の排出削減量で把握する取組で、環境配慮のきっかけ作りを目的としている。取組項目には、「食へ残しをしない」「野菜は旬なものを選ぶ」といった、食育推進に関連する内容が含まれており、市立小中学校の児童・生徒・市職員やその家族などに取り組んでもらった。	環境に配慮していただく中で、食育の推進についても取り組んでもらうことができた。	参加者を増やすため、一人ひとりの行動が地球温暖化防止につながるという本取組の趣旨を周知し、参加を促していく。		
資源循環政策課 協働○	九都県市首脳会議廃棄物問題検討委員会3R普及促進事業(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:九都県市域内住民、外国人	実施日:平成30年10月～ 場所在:九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、横浜市、千葉市、さいたま市、相模原市)域内 内容:食品ロスを題材としたマンガを小冊子に編集し、出前講座等で配布。また、ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピックに向け訪日外国人を対象とした食品ロス削減の多言語ポスターを作成した。	小冊子は出前講座等で好評であり、若年期より食品ロスについて関心を持ってもらう良い契機となった。	食品ロスの問題に対する意識が向いたところを、どのように食品ロス削減の行動に繋げていくかが課題である。		

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	目標	5つの「食べる」 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題					
農業政策課 協働○	児童体験農 業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象:市内小学校の小学5年生 和光小学校 173人 指扇小学校 130人	実施日:5月8日(田植え) 場所:西区宝来の生産者ほ場 内容:小学生を対象に田植え体験事業を実施した。 なお、稲刈りについては台風により中止。	生産から収穫、消費まで一貫した体験ができ、小学生にとって貴重な体験の機会となっている。農業後継者対策推進協議会事業として実施している。	参加学校数が伸び悩んでいる。	
農業政策課 協働	ブランド米推 進事業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	実施日:— 場所:西区及び見沼区 内容:生産者の減農薬・減肥栽培を支援し、カバーアップを用いた栽培や農薬・化学肥料の使用を慣行の5割以下に減らした栽培など、環境保全型農業を中心とした米づくりを推進した。	減農薬・減肥剤で環境負荷の小さい米作りを推進できた。	レンゲなど種苗、資材が高騰し、実施者から事業継続を危ぶむ声がある。		
農業政策課 協働	地場産農産物 料理講習会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象:市内在住者 73人	実施日:平成30年7月19日、7月31日、9月19日、12月14日、平成31年2月1日 場所:与野本町コミュニティセンター、コミュニティセンターいわつき、見沼グリーンセンター 内容:ふるさとの味伝承士や農村女性アドバイザー等の協力により、市民を対象に旬の地場産農産物を活用した料理講習会を5回開催した。	郷土料理の調理方法や農産物に関する情報提供を行いPRができた。	内容によって応募者数にムラがある。人気のある内容については、回数を増やすなどの検討が必要。	
農業政策課 協働	さいたま市農 情報ガイド ブック・マップ 作成 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	実施日:— 場所:— 内容:農業情報を掲載した冊子の作成(16000部)、配布を行った。	市内農業の市民へのPRに努めるとともに、地産地消の推進を図った。	配布場所を工夫する等、冊子のより効果的な利用方法を検討する必要がある。		
農業政策課 協働	農産物ブラン ド化事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	実施日:— 場所:— 内容:さいたま市内には、くわい・紅赤・さといも・小松菜・チコリー・木の芽など特色ある農産物が多く生産されており、花や植木の生産も盛んである。これらの農産物自身をPRするとともに、加工品の開発・商品化を行い、市内農産物の生産振興とその販路拡大を図った。	紅赤の商品化を行ってくれる店舗の新規開拓や農産物の市内外でのPR活動を行い、特産品の認知度向上に貢献できた。 ・紅赤発祥120周年記念事業を開催した。	加工品の原料の供給が不安定である。		
農業政策課 協働	ニーズ対応 型農業支援 事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	実施日:— 場所:— 内容:消費者ニーズに対応した「欲しいものをつくる」ニーズ対応型農業を支援するため、地元業者と連携をとり、ホップの試験栽培を行った。	少量ながら、地元業者にさいたま産ホップを納入し、これを用いたビールの製造を行い市内消費者へPRした。	生産量が少なく供給が難しい。		
10区保健セン ター協力事業 協働○	食育推進情 報交換会 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳 学齢期6～15歳 青年期16～24歳 成人期25～39歳 壮年期40～64歳 高齢期65歳以上	対象:市の栄養教諭・学校栄養職員 3区で各1回 29人/3回(栄養教諭等の数)	実施日:①2018年7月24日(火)、②8月3日(金)、③8月10日(金) 場所:①大宮区、②中央区、③南区保健センター 内容:講義「第3次食育推進計画の目標、課題について」、講義「ヘルスプラン21(第2次)の取組みについて」、講義「保健センターの健康づくり、ヘルスプランの取組について」、グループワーク「食育の普及啓発について」	事後アンケート結果より、参加者は区保健センター・小学校・中学校と情報を交換し共有できたことへ好意的な回答が得られた。食育を推進する上で、参加者が多くの部署との情報交換が大切であると考えていることが推察された。	今後は、参加いただいた栄養教諭・学校栄養職員へ電話連絡をし、学齢期及びその保護者世代への食育の改善に繋げられるよう、お互いの食育の取組みやその反響などの情報を共有し、食育の普及啓発に活用していくことが必要である。	

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan							Do										Check		取組の様子など			
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)		成果	課題											
10区保健センター協力事業	親子食育講座 野菜パクパク 元気教室～ 親子で野菜と 仲良くなるう ～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:3～6歳児(未就学児)とその保護者 62組142人	実施日:7月24日、7月26日、7月31日、8月3日、8月10日 場所:市内5会場(北区、西区、岩槻区、南区、緑区保健センター)で実施 内容:(子ども向け)楽しいエプロンシアター!～元気になるごはんの話～(保護者向け)今日から役立つ話～野菜と仲良くなる工夫・栄養バランスよく食べるには～(親子で一緒に)親子でチャレンジ!料理体験	平成30年度より教室内容を一新して実施。アンケート結果より、本教室の目標は達成され、参加者に好評を得たといえる。感想では「とても楽しく野菜のことを学べた」「バランスのことなど為になることがたくさんあった」などがあり、効果的な教室の実施ができたと考えられる。	教室の対象外児の受け入れと対応方法について再検討する。	
10区保健センター協力事業	食生活改善 推進員養成 講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:食生活改善推進員となってボランティア活動に参加できる市民 4日間コース 48人	実施日:平成30年8月22日(水)、11月1日(木)、11月8日(木)、11月15日(木) 場所:大宮区役所、与野本町コミュニティセンター 内容:講義、運動実技、グループワーク	アンケート結果より、講座の内容は概ね理解されていた。意見・感想では「とても勉強になった」「日々の生活を見直すことが出来た」「今後の活動に生かしたい」との意見が多かった。新規入会率も79.2%と高い値となった。	協議会の活動を活性化させ、地域の健康づくりの輪を広げるため、また、会員の高齢化が進んでいることから若い年代を中心とした受講者や入会者を増やすことが今後の課題。	
保健センター 共通事業	食生活改善 推進員の育 成	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:食生活改善推進員	場所:各区 内容:各区の状況に応じた、食生活改善推進員の育成。	地区活動等が円滑に進むよう、各区の状況に合わせた支援(研修会の開催や活動へのアドバイス等)を行った。支援を通して、地域における食を通じた健康づくりを進めている。	食生活改善推進員の育成をテーマに、会員一人一人の質の向上、会員数の増加を引き続き目指す。	
保健センター 共通事業	特定保健指 導	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:積極的支援対象者 回数等は区によって異なる。	実施日:区によって異なる 場所:各区保健センター 内容:生活習慣改善の自主的な取り組みのため、行動目標を立て、3か月以上の支援を行う。乱れた食生活を改善し、内臓脂肪の減少のために1日にどの位のエネルギーが必要なのかを知り、朝食の大切さ、3食バランスよく取ることを食事バランスガイドなどを活用して支援していく。	特定保健指導を受けた方は、食生活の見直しについて認識できたと考えられる。	健診後、対象者が特定保健指導に繋がるような働きかけが必要である。	
保健センター 共通事業	地区依頼教 育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:区によって異なる。	区の状況に合わせて依頼を受けた。	・各区において実績評価、改善をしている。	第3次さいたま市食育推進計画の推進を図る。	
保健センター 共通事業	離乳食教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:4～5か月児の保護者 各区定員20～38人	実施:毎月1～2回 場所:各区役所保健センター 内容:離乳食の進め方の講義と試食	不安を感じずに離乳食をすすめられるよう、デモンストラーションや試食を交えて教室を実施。	お断り件数が少なくなるよう定員を配慮。	
保健センター 共通事業	出産前教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:主に初妊婦とその夫 回数等は区によって異なる。	実施日については区によって異なる。 場所:各区保健センター 妊娠中の食生活の留意点についての講義とバランスのとれた食事についての調理実習を実施。	・各区の現状に応じて実施をしている。	・区、月によって参加状況に差がある。各区の現状にあった内容になるように、見直しを行っていく。	





担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	課題										
三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題															
西区保健センター	親子でのごちそうごはん～野菜編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の小学生とその保護者 実施回数:1回 参加者数:23人	実施日:6月24日 場所:保健センター 内容:西区内野菜農家さんから講話(おいしい野菜ができるまで)と調理実習(西区産野菜を使ってフライパンでバリエア作り)、栄養講話(バランスよく食べよう)	定員を超える申込みがあり、アンケート結果では「野菜についてよく考える機会になった」「生産者の話を聞いて料理するという企画がよかった」等の意見があった。「食生活を見直すきっかけとなった」方は100%で、教室の目標は達成できたと考えられる。	申込み方法の検討	
西区保健センター	親子でのごちそうごはん～お米編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の小学生とその保護者 実施回数:1回 参加者数:22人	実施日:10月28日 場所:保健センター 内容:西区内お米農家さんから講話(おいしいお米ができるまで)と調理実習(新米をお鍋で炊く)、栄養講話(バランスよく食べよう)	定員を超える申込みがあり、アンケート結果では「普段聞くことができない話を聞くことができ、良い機会となった」「普段できない体験ができた」等の意見があった。「食生活を見直すきっかけとなった」方は100%で、教室の目標は達成できたと考えられる。また、ご飯を鍋で炊く方法を実習することで災害時にも備えることができた。	申込み方法の検討	
西区保健センター	かがやく女性のためのHAPPYエイジング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の18～49歳女性 ①19人 ②18人	実施日:①6月8日 ②2月27日 場所:保健センター 内容:①「ホクシクエクササイズ」の教室の中でミニ講話(筋力アップの食品選び)と試食 ②「ヨガ」の教室の中でミニ講話(免疫力アップの食事)と試食	運動内容に合わせた栄養の話をする中で、関心を持って聞いていただいた。	運動実技の時間が押してしまう事が多く、時間の確保が難しい。	
西区保健センター	自分磨きゼミ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の18～64歳 ①7人 ②12人	実施日:①5月24日 ②9月14日 場所:保健センター 内容:①「大人のラジオ体操」の教室の中でミニ講話(おつまみの選び方)と試食 ②「コアトレ入門」の教室の中でミニ講話(野菜を食べよう)と試食	運動内容に合わせた栄養の話をする中で、関心を持って聞いていただいた。	申込みが定員に満たなかった。	
西区保健センター	健康!ほっとステーション	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区役所来庁者	実施日:6月、10月 場所:保健センター 内容: 6月「三食しっかり食べる」をテーマに掲示とリーフレットの配布 10月「朝ごはんのいいところ」をテーマに掲示とリーフレットの配布	保健センター利用者の他、区役所来庁者も気軽に足を止めて掲示を見ている姿が多数見受けられた。	区民の方に関心を持っていただけるようなテーマの設定。	
北区役所保健センター	親子クッキング～めざせ朝食マスター～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の小学生とその保護者 25人	実施日:2019年1月19日(土) 場所:北区役所保健センター 内容:講話①朝食②バランスの良い食事③手の洗い方④よく噛んで食べる)、調理実習、脳血管年齢測定、乳がん自己触診体験	簡単に作れる朝食をテーマに調理実習の献立を作成し、実施した。教室後アンケートでは、「早速家で作ってみたいです」という声が多くみられた。	受付開始日に定員に達しお断り件数が9件でたが、直前に体調不良などで欠席が多く見られた。より多くの方に参加してもらうため、次年度はキャンセル待ちの枠を設けることを検討している。	
北区役所保健センター	北区健康づくり階段クイズ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:北区役所来庁者	実施日:①6月②9月③12月④3月 場所:北区役所東側階段 内容:①朝食②減塩③野菜摂取④バランスの良い食事 各テーマに関するクイズの問題・解答の掲示、関連するリーフレット、保健センター健康づくり事業一覧表の配置	階段を利用している市民に対し、食の情報を発信することで健康に対する意識を高めるきっかけづくりを行うことが出来た。	どのように意識変化をもたらしているか等の効果測定が難しい点が課題として挙げられる。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	5つの「食べる」 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
北区役所 保健センター	北区発信！ 健康クイズラ リー	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:ステラタウン 来店者 524人	実施日:2018年9月14日(金) 場所:ステラタウン2階 キッズスクエア横 内容:健康に関するクイズ、減塩のポイントを示した 献立展示	大勢の来客があり、気軽に立ち寄って参加する方も 多く、家族の食の大切さについて考えてもらえるき っかけになった。 店舗の協力が得られるよう引き続き調整が必要。	今年度から開場を変更した関係で、集客が難しい部 分も見られた。	
大宮区 保健セン ター	食育推進を 目的とした普 及啓発(掲示 等)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:大宮区役 所来庁者 3回開催	実施日:6月食育月間内(2018年6月11日～29日)、 8月食品衛生月間(2018年8月1日～31日)、 10月朝ごはんを食べよう強化月間 (2018年10月1日～31日) 場所:保健センター掲示コーナー 内容:ポスターや掲示物での啓発、パンフレットの配 布	保健センターへの来庁者をはじめ、広く市民に普及 啓発ができた。 掲示コーナーが保健センター入口手前であり、市民 の目に留まりやすく、興味のある資料を持ち帰って いただくことができた。	次年度、5月の区役所移転後、掲示コーナーが保健 センターブース内となり、掲示物を目に触れていた だけ市民が限定される恐れがあり、啓発の機会を 広げていく必要がある。	
大宮区 保健セン ター	わくわくク ッキング ～しっかり 食べて、元氣 チャージ～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住 の小学生とその 保護者 1回開催 11組22人	実施日:2018年6月23日(土) 場所:保健センター 内容:管理栄養士による講話「主食・主菜・副菜の そろった食事を実践するために」、調理実習・ 保健師による保護者向けに、体組成測定と 測定結果の見方の説明 (食生活改善推進員より、調理実習のサポート とボランティア活動の紹介)	子どもからは、「自分たちで作った料理は、普通の料理 よりも自分たちで作ったのでとってもおいしくな りました!」「自分で作ったのでとてもおいしかった です」との回答が見られた。保護者からは、「子どもと一緒に 料理や食事を楽しむことができた」「体重に気がつ けようと思いました」との回答が見られた。	単発事業のため、参加者を増やし健康づくりを継続 できるよう、他の事業へ移行できる工夫が必要である。	
大宮区 保健セン ター	OMIYAおや ご食育教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住 の4歳から6歳児 (未就学児)とその 保護者 1回開催 4組8人	実施日:2018年8月7日(火) 場所:保健センター 内容: 管理栄養士による講話「いろいろ食べよう」、 「お弁当箱のおはなし」、 調理実習・ 歯科衛生士による講話「むし歯を予防しましょう」・ ブラッシング実習	参加者からは「簡単に作れるメニューが知れてよ かったです。」「親子で楽しく参加することができ ました!」「歯磨きも勉強になりました!」「カラー テスターを初めてやってみて、普段の歯みがき がどうなのか知ることができました。」と好評を得た。	単発事業のため、参加者を増やし健康づくりを継続 できるよう、他の事業へ移行できる工夫が必要である。 参加者を参加しやすいよう、教室の開催日等を 検討していく。	
大宮区 保健セン ター	ママの元氣 アップ講座 ～ちよっ と息、こころと からだのほぐし タイム～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住 の0歳から3歳未 満児とその保護者 1回開催(年間4回 開催のうちの1回) 5組10回	実施日:2018年11月22日(木) 場所:子育て支援センターおのみや 内容: 管理栄養士による講話「ママのための栄養学」、 保健師による講話「女性の健康」、 体組成測定と測定結果の見方の説明	子育て支援センターおのみやと協働実施のため、 講話中は支援センター職員が子どもを見てくださ り、母親が講話に耳を傾けやすい状況である。体組 成測定をし、母親自身の健康への意識が高まる機 会となった。	講話と体組成測定の日、定員に満たない場合が 多く、集客について、工夫が必要である。	 ※5月17日運動実技の様子
大宮区 保健セン ター	大宮区民ふ れあいフェア 保健セン ター ブース	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:保健セン ターブース来場 者 1回開催 260人	実施日:2018年10月27日(土) 場所:鐘塚公園 内容:リーフレットを用いた「間違えさがし」を実施し、 生活習慣病予防についての啓発。答え合わせで健康 指導。ブース内に「大宮区の健康づくりの現状と生 活習慣病予防教室の案内」を掲示。(雨天のため、 体組成測定は保健センターで実施)	区民の声を直接聞ける機会となり、来場者からは 「からだを動かすこと大事だね!」「はやねはやおき んごはん、わかった」という声が多く聞かれた。	幅広い年齢層に啓発を行うには、保健センター事業 だけでは限界がある。関係機関の事業に参加する等 啓発の機会を広げていく必要がある。	
見沼区 保健セン ター	～運動した パパママへ ～きらきら☆ 子どもキッ チン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住 の小学校3～6 年生の児童と その保護者(医師 から運動制限指 示がない方) 2回 35組73人	実施日:2018年6月16日(土)、8月24日(金) 場所:見沼区役所保健センター・NPO法人さいたま スポーツクラブ クラブハウスSSCあすも 内容:児童…元気な体をつくる食事の講義、調理実 習 保護者…体組成測定、生活習慣病予防について 講義、体幹を使ったエクササイズ	年2回に増やして実施した。アンケートにより、児童は 望ましい食事や三食食べる大切さがわかった、保護 者は今より10分体を動かそうと思ったと全員が答 えており、望ましい食習慣や運動習慣を知ることが でき、きっかけづくりとなった。また、地元農家と連携し 地産地消を取り入れた取組ができた。	親と子どもで事業内容が異なるため、従事者が多く 必要となり、費用対効果が低かった。来年度は望ま しい食習慣による生活習慣病予防、親子食育の推 進として、親子同一内容で継続して実施する。	



さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										対象ライフステージ	対象、実施回数・参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月(平成30年度)		課題							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物					対象	実施日、場所、内容	成果	課題										
見沼区保健センター	アラフォーからのボディレク	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の30～64歳以下の方・特定保健指導「積極的支援」の方(医師から運動制限指示がない方)2日間1コース年2回・延べ62人	実施日:1コース…2018年9月5日(水)、9月10日(月)、2コース…2018年11月28日(水)、12月10日(月) 場所:見沼区役所保健センター-NPO法人さいたまスポーツクラブ クラブハウスSSCあすも 内容:1日目…体組成測定、生活習慣病予防(肥満予防)についての講義、「気になる大人の食ライフ」講義・ヘルシー料理の試食、歯科講義 2日目…「メリハリボディエクササイズ」講義・運動実技	昨年度3日間1コースで申込み者が少なかったことから、今年度は2日間1コースとした。アンケートにより、肥満予防の必要性、生活習慣病予防のために食生活に気をつける重要性、よく噛んで食べることの大切さがわかったと全員が答えており、生活習慣の改善が必要な点に気づくことができた。	新規の参加者は少なめであり、申込者も定員を満たさない。見沼区ではHbA1cの有所見者が市平均より多いため、糖尿病予備軍である区民をターゲットとできるよう、教室内容を変更し、実施する。	 
見沼区保健センター	食育推進を目的とした普及啓発(掲示等)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:見沼区役所来所者	実施日:通年 場所:見沼区役所ロービー・保健センター前 内容:6月の食育月間、10月の朝ごはんを食べよう強化月間を始め、月ごとにテーマを決め、食に関する情報を掲示し、パンフレットを配布した。	今年度より区役所ロービーにホワイトボードを設置して、来所した区民に広く普及啓発することができた。	今年度は参加型の啓発を実施したが、今後も対象者の反応をとらえながら、対象者に届く啓発の工夫をしていく必要がある。	
中央区保健センター	小学生が作るカンタン朝ごはん教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:学齢期の子どもとその親 20人	実施日:2018年6月17日(日) 場所:中央区役所保健センター 内容:朝ごはんについての講義および朝ごはん向け簡単レシピを用いた調理実習	アンケート調査より、親世代(成人期・壮年期)において、現在の食生活を振り返るきっかけとなることが出来た。学齢期においては、家でも作ってみたいとの感想が多く、食育の啓発となった。	学齢期の児童を対象にしたため、年齢層の幅が広く調理実習への満足度に差が多かった。	
中央区保健センター	パパとヘルシークッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:3歳から未就学児とその父親 24人	実施日:2018年9月29日(土) 場所:中央区役所保健センター 内容:栄養バランスのよい食事についての講義および歯の健康についての講義。その後、父子で調理実習と歯磨き実習	アンケート結果より、教室が日頃の食生活を振り返るきっかけとなったとの回答が参加者全員よりあった。今後参加者の食習慣の改善が期待される。また、父子が調理から試食まで共同で行うことにより、より共食への理解が深まった。	児と共に調理実習を行うため、参加者が行う作業が限られ個々の器用さが作業時間に影響し、組ごとに進み具合に多差が出た。同様に、喫食時間にも差が大きかった。	
中央区役所保健センター	正月太り解消クッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:18から64歳 7人	実施日:2月6日(水) 場所:中央区役所保健センター 内容:肥満予防についての講義、および調理実習	アンケート感想より、家で主に食事を作る者であるため、家族への啓発にも役立つと思う声が多くあったため、参加者だけでなく、参加者から周りへの普及啓発にも役立つと考えられる。	参加者の多くが保健センター事業のリピーターで今回初めて参加する者が見られなかった。このことから、事業の周知方法を考えていきたい。	
桜区保健センター	親子で楽しむ食育講座→台風のため中止。代わりに「チックスヨガ」を実施。	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の18～64歳の方 8人	実施日:1月31日(木) 場所:桜区保健センター 内容:身体の基礎を整えるヨガ(運動実技)と身体めぐりを良くする試食の提供	アンケート結果より、実施内容は好評であった。感想として「今後も身体に良いレシピを紹介してほしい」という意見があった。運動に加えて食事面にもアプローチすることが効果的であると感じた。	当日欠席が多かったことや、申込人数が少ないことが課題。申し込み時期や開催時期などについて再検討する。	
桜区保健センター	プチやせレシピ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の18～49歳の方 1回目 8人 2回目 4人	実施日:2日間1コース:5月16日(水)、6月15日(金) 場所:桜区保健センター 内容:1回目はダイエット講座と燃焼系エクササイズを実施。2回目はバランスの良い食事についての講義と調理実習を実施。	アンケート結果より、実施内容は好評であった。感想で「調理実習がよかった」という意見があり、実際に調理することでわかりやすく効果的にポイントを伝えることができたと考えられる。	申込人数が少ないことが課題。年齢制限や開催時期、内容などについて再検討し、運動に特化した教室を実施することとした。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	目標	5つの「食べる」			対象ライフステージ				実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)										
		朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	食文化や地の物	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象、実施回数・参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
桜区保健センター	(M)みんなで(1)一緒に(A)歩こう会♪	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:さいたま市民(のびのびウォーキングエントリナー者)37人	実施日:6月21日(木)、12月10日(月)、1月11日(金) 場所:桜区保健センター 内容:栄養・食育月間、ノロウイルス、お正月太りに関するミニ講義とラジオ体操、ウォーキングを実施。	パンフレットの配布などにより、わかりやすく食育について伝えることができた。	参加者が固定されてきていることが課題。	
協働—	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
桜区保健センター	食べながらダイエット	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の18～74歳の方11人	実施日:12月6日(木) 場所:桜区役所保健センター 内容:咀嚼と肥満について、専門家からきく各種ダイエットのコツ(体質、食事、食べ方等)	質問も多く出るなど、好評な教室が実施できた。	講義の時間が少なく、詳細な内容まで話すことができなかった。時間配分について再検討する。	
協働—	(継続)	—	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦和区保健センター	うらわメタ防クラブ with PTA(生活習慣病予防普及啓発事業)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内小中学校の保護者23人	さいたま市PTA協議会浦和区連合会と共催 実施日:6月19日(火) 場所:常盤北小学校 内容:管理栄養士による講義「バランスのよい食事」、歯科衛生士による講義「歯と口の健康」、保健師による講義「メタボの基礎知識」、「乳がんの自己触診」	アンケート調査結果より「自分にとって適切な食事の内容・量が分かった・たいがいわかった」100%、「教室に参加したことでバランスのよい食事を実践しようと思った」95%であり、望ましい食習慣について考えるきっかけを提供することができたと考えられる。	短時間の講義でも、実技や作業を通じ、理解をより深め、実践につなげられるような内容を検討していく。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦和区保健センター	10年後も元気に私の健康習慣in幼稚園(生活習慣病予防普及啓発事業)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内私立幼稚園の保護者①36人 ②16人	さいたま市私立幼稚園協会浦和区支部の協力により開催 実施日:①9月5日(水) ②10月30日(火) 場所:①木の美幼稚園 ②常盤幼稚園 内容:管理栄養士による講義「バランスのよい食事」、歯科衛生士による講義「歯と口の健康」、保健師による講義「メタボの基礎知識」、「乳がんの自己触診」	アンケート調査結果より「自分にとって適切な食事の内容・量が分かった・たいがいわかった」100%、「教室に参加したことでバランスのよい食事を実践しようと思った」94%であり、望ましい食習慣について考えるきっかけを提供することができたと考えられる。	短時間の講義でも、実技や作業を通じ、理解をより深め、実践につなげられるような内容を検討していく。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦和区保健センター	パパと一緒に！うらわ三ツ星レストラン	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の小学生とその保護者29人	実施日:6月30日(土) 場所:浦和区役所保健センター 内容:さいたま市PTA協議会浦和区連合会の後援をいただき開催 管理栄養士による講義、調理実習、保健師による健診・検診の受診勧奨 【協力】食生活改善推進員	アンケート結果より「教室に参加したことで、現在の食生活を振り返るきっかけになりましたか?」の問いに保護者の全員がきっかけになったと回答している。	低学年の参加が多い。参加者全体として会場周辺の居住者が多い。	
協働—	(継続)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦和区保健センター	浦和区健康まつり保健センターブース	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:健康まつり来場者1134人	実施日:11月4日(日) 場所:浦和コミュニティセンター 内容:望ましい食習慣や生活習慣病予防に関するクイズ・展示・パンフレット等の配布	多くの方に望ましい食習慣や生活習慣病予防について普及啓発ができたと考えられる。	高齢者の参加割合が比較的高いため、子育て世代にも関心が高まるような展示や内容を企画していく。	
協働○	(継続)	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
南区保健センター	親子で楽しくクッキング～パパッと簡単朝ごはん編～	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:南区在住の小学生とその保護者1名 実施回数:1回 参加者数:14組30名	実施日:平成30年9月8日(土) 場所:南区役所保健センター 内容:講義「朝食を摂ること、バランスよく食べることの大切さ」、「よく噛むことの大切さについて」実習「調理実習」「ブラッシング実習」「咀嚼力チェックテスト」	平成30年度より対象を小学生とし、「朝食摂食」に重点を置いた内容に変更して実施。アンケート結果では、親全員から「自身の生活習慣を見直すきっかけとなった」と回答を得られた。	次年度も継続実施の予定。	
協働—	(新規)	○	○	○	○	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月（平成30年度）

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)		成果	課題											
緑区保健センター	パパと一緒にワクワククッキング	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：緑区在住の小学1年～6年生とその父親 26人	実施日：6月30日(土) 場所：緑区保健センター 内容： 歯科講義「よく噛んで食べる大切さについて」 栄養講義「朝食を食べること、野菜を1日350g取ること」 調理実習「野菜を上手に取り入れたメニュー」	アンケート結果より「食生活を振り返り見直すきっかけになった」との回答のほか、今後やってみようと思うことについて「よく噛んで食べる」との回答があった。	アンケート結果より、父と子と一緒に食と歯について学ぶ良い機会となった。次年度も引き続き実施していく。	
緑区保健センター	今から始める！更年期対策教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：区内在住30～40歳代の女性 16人	実施日：11月6日(火) 場所：緑区保健センター 内容：更年期の特徴を知り、食生活や理想的な栄養摂取方法、ヨガでリラクゼーションの方法について体験し、自分のこれからの生活を考えていくきっかけとする。 保健師講義、栄養士講義、運動実技	アンケート結果より、教室の理解度が高く、気をつけたい食生活について考える良い機会になっている。	アンケート結果より、更年期対策について学ぶ良い機会となった。次年度も引き続き実施していく。	
緑区保健センター	ぶよっとお腹を引き締める！食事と運動講座	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：18～64歳の緑区民 20人	実施日：7月24日(火) 場所：緑区保健センター 内容：お腹周りの筋肉を使うエクササイズやバランスの良い食事によりお腹を引き締め、加齢による筋力低下を予防し、運動習慣・食生活の見直すきっかけとし、生活習慣病予防につなげる。 保健師講義、運動実技、歯科衛生士講義、栄養士講義	食物繊維を多く含む食品を使ったおかずの試食やレシピを提供することで、便通をよくする食事やバランスの良い食品選択について伝えることができた。また、アンケート結果より、教室の満足度が高く食生活について考える良い機会になっている。	アンケート結果より、食・口腔・運動について学ぶ良い機会となった。次年度も引き続き実施していく。	
緑区保健センター	家族みんなでいただきマウス教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：緑区内の6か月～1歳6か月児とその保護者 32人	実施日：9月5日(水) 場所：緑区保健センター 内容：家族の食事から取り分けて、簡単に作れる離乳食のコツとおいしく食事を作るための、お口のケアポイントを学ぶ教室 歯科医師による保護者の口腔チェック、歯科衛生士講義、栄養士講義、試食	アンケート結果より、大人の食事から簡単に取り分けて離乳食が作れることや、保護者の口腔ケアについて理解度が高かった。	アンケート結果より、とりわけ離乳食・口腔ケアについて学ぶ良い機会となった。お断り件数が多かったため次年度は対象を検討し実施していく。	
緑区保健センター	緑区民まつり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：緑区民まつりの来場者 食育コーナー 425人	実施日：10月20日(土) 場所：農業者トレーニングセンター 内容：「のびのび広場」において、食生活改善推進員による「食育コーナー」野菜の重量あてクイズ、野菜スタンプなど	幼稚園から小学生くらいのお子さんと保護者が参加	野菜の1日分必要量について学ぶ良い機会となった。次年度も食育クイズ等検討し実施していく。	
岩槻区保健センター	達人に学ぶおやこシリーズ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：①小学1～3年生とその保護者 ②小学生とその保護者 ①29人 ②13人	実施日：①2018年9月2日(日) ②2018年12月2日(日) 場所：岩槻区保健センター 内容：①「マラソンの達人～楽しく走るコツ教えます！～」運動実技と運動と食事についての講話 ②「ねぎの達人～知っていますか？岩槻ねぎ～」地元ねぎ農家の方からの講話、野菜の摂取についての講話、岩槻ねぎを使った調理実習	アンケート結果より、参加者の満足度は高く、今後の生活に生かせると感じた人が多かった。①ではバランスの良い食事のとり方について、②では地場産物への理解を深め、野菜摂取や共食についての意識の向上が図れた。1か月後アンケートでも実践しているとの報告があった。	応募が定員に満たない教室については、周知の方法を工夫する必要がある。	
岩槻区保健センター	やまぶきまつり	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象：保健センターブース来場者 357人	実施日：2018年10月14日(日) 場所：岩槻文化公園 多目的室 内容：区民まつり内での、野菜摂取量や食塩摂取量についての啓発やレシピ、パンフレット配布	フードモデルやパネルを展示することで、多くの来場者にとって日頃の食生活を振り返る機会となったと考えられる。また、普及保健センター事業への参加の少ない層へも啓発することができた。	引き続き、来場者の目を引く展示内容を検討し、啓発を行っていく。	


さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do					Check		取組の様子など					
		5つの「食べる」										実績					2018年4月～2019年3月(平成30年度)							
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題									
岩槻区保健 センター	健康月間における普及啓発掲示	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:岩槻区役所未来庁者	実施日:①2018年6月 ②2018年9月 ③2018年10月 場所:岩槻区役所3階保健センター掲示ブース 内容:①第3次食育推進計画について(3食しっかり) ②野菜摂取について ③朝食摂取について 各内容について、来庁者向けにポスターを掲示、リーフレットの配布を実施	利用する区民の多い区民課前に情報を掲示することで、保健センター来庁者以外へも食育や健康づくりへの知識の普及啓発ができた。	引き続きテーマや内容を変えながら、来場者の目を引く展示内容を検討し、啓発を行っていく。	
岩槻区保健 センター	健康づくり応援教室 デトックスヨガ	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:区内在住の20～64歳の方 3回/年 ①17人、②16人、③17人	実施日:①2018年6月13日(水)②2018年9月20日(木)③2019年1月16日(水) 場所:岩槻区役所保健センター 内容:ヨガの実技、体組成測定、女性の健康についての講話(骨粗鬆症、脂質異常症)	30、40代の参加が多く、若い世代に向けた啓発を行うことができた。アンケート結果からも、ほとんどの参加者が健康について考えるきっかけになったと回答していた。	若い世代が参加しやすい内容やテーマを検討し、実施していく。	
健康教育課	地元シェフによる学校給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:児童生徒、教職員 30校	実施日:給食実施日 場所:市立小・中・特別支援学校 内容:地元のシェフと連携を図り、学校給食を実施	他の国の料理や地場産物の理解が深まり、児童生徒の食への関心が高まった。	より多くの学校が実施できるよう、シェフと連携を図る。	
健康教育課	地場産物の活用推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	①彩の国ふるさと学校給食月間の実施 実施日:11月 場所:市立小・中・特別支援学校 対象:児童生徒 ②地元生産者との情報交換会 実施日:(大宮区)7月24日(中央区)8月3日(南区)8月10日 場所:大宮区、中央区、南区、保健センター 内容:地元生産者と栄養教諭・学校栄養職員との情報交換	①平成30年度の地場産物活用率は、29.3%であった。前年度より1.8%増加した。 ②地元生産者と栄養教諭・学校栄養職員が、生産状況や給食へ地場産物を使用するための条件等を話し合い、それぞれの立場を理解することができた。	少しずつ活用につながってはいるが、活用拡大のためには、今後も取組を継続していく必要がある。		
健康教育課	学校教育ファーム	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:児童生徒、教職員 小103校 中57校 特支2校	場所:市立小・中・特別支援学校 内容:農業体験活動	教育計画へ位置づけ、市立全小・中・特別支援学校で実施できた。 農業体験活動を通して、食物や生産者の方への感謝の気持ちを育むことができた。	授業時間の確保、学校への周知方法が課題である。	
健康教育課	さいたま市学校給食衛生管理講習会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・特別支援学校教職員、調理業務委託業者職員 約580人	実施日:平成30年8月20日 場所:埼玉会館 内容:講演会	学校給食の実態に合わせた講義内容であったので、学校給食における衛生管理の向上を図ることができた。	対象者が、管理職、学校栄養士、調理従事者と職種が様々であったり、受講者が毎年ほぼ同じであったりするため、講演内容について考慮する必要がある。	
健康教育課	さいたま市学校給食週間記念行事	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・特別支援学校保護者、教職員、一般市民 371人	実施日:平成31年1月25日 場所:埼玉会館 内容:講演会、展示等	講演会や児童生徒の作成したポスター、学校給食献立のレプリカの展示を行い、子どもへの食育の大切さや学校給食の担う役割などについて理解を深められた。	保護者が参加しやすいようにするため、講演会の開催時間について検討が必要である。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
健康教育課	研究委嘱事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・特別支援学校教職員	実施日:桜区、南区、中央区 向小学校(H29.H30.R1年度) 向野西中学校(H29.H30.R1年度) 大久保小学校(H30.R1.R2年度) 内容:市立小・中学校の希望による委嘱校が食育の推進に取り組み、3年目に研究発表を実施	市立学校における食育について理解を深め、食育の推進を図ることができた。	今年度は、研究発表の実施がなかったため、来年度には今年度の研究内容も含めて発表できるようにする必要があります。	
健康教育課	生活習慣病予防学校検診 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:腹囲身長比0.5かつ肥満度35%以上の小1～小4、中1	実施日:10～11月(各医師会ごとに実施) 内容:医師、栄養士による個別指導、集団指導、学校における継続指導	多くの継続指導参加者で肥満度の減少が見られた。	受診率が年々減少傾向のため、受診者数を増やす工夫が必要。 医療・栄養指導に加え、運動指導についても充実を図っている。	
健康教育課	学校給食統一献立 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・特別支援学校児童生徒、保護者、教職員	実施日:平成30年11月13日 場所:市立各小・中・特別支援学校 内容:教育委員会、学校栄養士会、シェフクラブSAI、AMAが協力してさいたま市内産物を使用した献立を考案し、同じ日に同じ献立内容で提供した。提供当日、市立学校の教員では生産者やシェフクラブのシェフが学校を訪問し、児童生徒と会食をした。	児童生徒の食に関する関心を高めることができた。	同じ日に同じ食材を準備する必要があるため、安定した品質と量を確保できるようにする必要があります。	
健康教育課	8020歯の健康教室 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小学校(35校)の1年生～3年生と保護者	実施日:6月～12月 場所:各小学校 内容:歯科医師による講話、歯科衛生士による歯みがき指導	市立小学校103校を3年に1度定期的に巡回し、講話及び指導を実施している。	事業内容は歯科医師会及び歯科衛生士会が行っているため、今後も継続した実施を計画している。	
生涯学習振興課	「すくすくの子どもの生活習慣向上」キャンペーン (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市立小・中・特別支援学校全児童生徒(啓発リーフレット配布) 98,877人	・平成28～30年度の3年間でキャンペーンを実施した。 ・啓発ポスター、リーフレット、保護者会での啓発資料を作成し、家庭への普及啓発を図った。 ・保健行事研修会や市PTA協議会理事会において、説明を行った。また、中央図書館と連携し、本の展示とともに啓発ポスターの掲示やリーフレットの設置を行ったり、公民館と連携し、事業参加者にリーフレットを配布、説明したりしたことで啓発に努めた。 ・生活習慣向上に関連する講座等の講師リストを作成し、各小・中・特別支援学校に送付した。	○平成30年度全国学力・学習状況調査において、本市の児童生徒が「朝食を毎日食べている」と回答した割合(小学校6年生 87.2%、中学校3年生 80.6%)は、全国の結果(小6 84.8%、中3 79.7%)や大都市の結果(小6 84.4%、中3 78.5%)と比較し、引き続き好ましい結果がみられているが、この割合は、減少傾向が見られ、全国的な傾向とも言える。	キャンペーン啓発ポスター 	
生涯学習総合センター	各公民館事業 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	P29～51 「平成30年度公民館事業報告書」とおり				
防災課	さいたま市防災ガイドブックの配布 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:市内転入者	実施日:2018年4月～2019年3月 場所:各区分民保、支所窓口 内容:市内転入者に対し、「さいたま市防災ガイドブック」を配布。	家庭での食料や飲料水の備蓄について、市民への周知が期待できる。	必要に応じ、防災ガイドブックの内容の見直しを行う。	(補足)『さいたま市防災ガイドブック』については、平成27年度に市内全戸配布している。

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										実績		2018年4月～2019年3月(平成30年度)										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題										
高齢福祉課 協働 ○	在宅高齢者 等宅配食事 サービス事業 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食料表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期 0～5歳 ○	学齢期 6～15歳 ○	青年期 16～24歳 ○	成人期 25～39歳 ○	壮年期 40～64歳 ○	高齢期 65歳以上 ○	対象:食事の用意が困難な単身高齢者及び高齢者のみ世帯等 実施日:週5日(祝日及び12月29日～1月3日を除く) 場所:利用者の各家庭 内容:単身高齢者及び高齢者のみ世帯等を対象に、ボランティア等地域資源を活用して、夕食を宅配する。 延べ71,139食(1月末時点) 延べ4,884人(1月末時点)	平成30年9月～11月に実施した利用者アンケートでは、食事を届けるボランティア等配送員の声掛けについて、回答者の約77%が「楽しみにしている・安心感がある」と回答しており、食事の配達をきっかけとして、日々の生活の中での楽しみや、地域でのつながりを感じていただいているものと考えている。	左記のアンケートで、食事に「満足」の方が約36%であり、「ふつう」が約52%、「改善してほしい」が約12%であり、「満足」の割合が高いとは言えない。また、食事を届けるボランティアについて、65歳以上の方が中心となっており、高齢化が進んでいる。		
高齢福祉課 協働 ○	ふれあい会 食サービス (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食料表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期 0～5歳 ○	学齢期 6～15歳 ○	青年期 16～24歳 ○	成人期 25～39歳 ○	壮年期 40～64歳 ○	高齢期 65歳以上 ○	対象:70歳以上のひとり暮らしの市民 実施回数:469回(平成29年度) 参加者数等: 28,812人(平成29年度)	実施日:会場に異なる 場所:公民館等 内容:70歳以上のひとり暮らしの方との交流を深めるため、ボランティアの協力により公民館等で会食を行う。	高齢者の孤独感の解消と健康維持に資することができた。	・地区によって実施方法や回数が異なる。 ・修繕や改修工事等による会場不足により、利用者の条件を絞らざるを得ない場合がある。	【補足】 市は、市社会福祉協議会に補助を行い、地区社会福祉協議会が各地区の特色を活かして事業を実施している。

### 3 公民館の食育取組状況

【西 区】	・ 指扇公民館	・ 馬宮公民館	・ 植水公民館	・ 内野公民館	
【北 区】	・ 大砂土公民館	・ 日進公民館	・ 宮原公民館	・ 植竹公民館	
【大宮区】	・ 桜木公民館	・ 大宮南公民館	・ 大宮中部公民館	・ 大宮北公民館	・ 三橋公民館
	・ 大成公民館	・ 大宮東公民館			
【見沼区】	・ 大砂土東公民館	・ 片柳公民館	・ 七里公民館	・ 春岡公民館	
【中央区】	・ 鈴谷公民館	・ 大戸公民館	・ 与野本町公民館	・ 上落合公民館	・ 下落合公民館
【桜 区】	・ 田島公民館	・ 土合公民館	・ 大久保公民館	・ 栄和公民館	・ 大久保東公民館
【浦和区】	・ 岸町公民館	・ 領家公民館	・ 浦和南公民館	・ 上木崎公民館	・ 大東公民館
	・ 仲本公民館	・ 針ヶ谷公民館	・ 本太公民館	・ 仲町公民館	・ 常盤公民館
	・ 北浦和公民館	・ 南箇公民館			
【南 区】	・ 文蔵公民館	・ 南浦和公民館	・ 谷田公民館	・ 六辻公民館	・ 西浦和公民館
	・ 別所公民館	・ 東浦和公民館	・ 善前公民館		
【緑 区】	・ 大古里公民館	・ 三室公民館	・ 尾間木公民館	・ 原山公民館	・ 美園公民館
【岩槻区】	・ 岩槻本丸公民館	・ 岩槻本町公民館	・ 岩槻南部公民館	・ 岩槻北部公民館	・ 岩槻城址公民館

平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total										食育 総回数	食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)										継続
216												386		9624		227		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→												
区	公民館名	館No. (名簿 順)	館内事 業No.	事業種別 コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼 児期	学齢 期	青年 期	成人 期	壮年 期	高齢 期									
-	生涯学習 総合セン ター	1	-	34	1001	子育て(家庭教育)支援事 業 乳幼児の保護者*託 児あり	親の学習事業「おいしいお茶 のいれ方教室～おしゃべりし ながらほっとティータイム～」	(株)伊藤園ティーテイ スター等	10月	1	6か月から未 就学児まで の保護者	15人	10	1		○	○	○																	
西	指扇	2	-	31	1004	子育て(家庭教育)支援事 業 親子対象*乳幼児の 子ども	親子食育教室		12月	1	未就学児とそ の保護者	12組	27	1	○	○	○	○	○	○									○						
西	指扇	2	-	32	1004	子育て(家庭教育)支援事 業 親子対象*乳幼児の 子ども	キラキラ子育てクラブⅢ【親 学】	①親子ヨガ ②おしゃべりカフェ ③冬野菜講座		11月	3	未就学児とその 保護者(③託児 16名まで)	16組	57	1		○	○																	
西	指扇	2	-	33	1100	スポーツ・健康・美容に関 する事業	おいしい 手作り節分		12月	1	どなたでも (託児8名ま で)	16名	10	1		○				○															
西	指扇	2	-	34	1100	スポーツ・健康・美容に関 する事業	身体は食べ物でできている。 アスリートの食事に学ぶ。		1月	1	高校生から 30代の方(託 児4名まで)	16名	11	1						○															
西	指扇	2	-	36	1100	スポーツ・健康・美容に関 する事業	味噌づくり		2月	1	どなたでも (託児6名ま で)	16名	16	1		○				○															
西	馬宮	3	-	10	1002	子育て(家庭教育)支援事 業 小学生以上の保護者 *託児なし	夏休み子ども公民館 「親子で料理&親学」	栄養士 食育インス トラクター	7月	1	小学生とその 保護者	15組	32	1		○																			
西	馬宮	3	-	19	1010	介護予防普及啓発事業 (生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室 「はつらつ学級2」座学いろ いろ&調理実習」	病院職員 消費生活センター職 員他	8月～9月	6	65歳以上 の方	20人	96	1					○	○									○						
西	馬宮	3	-	21	1004	子育て(家庭教育)支援事 業 親子対象*乳幼児の 子ども	わくわく子育てクラブ&親の学 習事業	料理研究家	9月	1	1歳から未就 園児とその保 護者	15組	2	1						○															



# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続	
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	館№(名簿順)	館内事業№	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	社年期		高齢期
西	馬宮	3	-	36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	彩鮮やかな春のスペイン料理教室	魚介たっぷりのバエリア、、カブとジャガイモのスープ他を作りました。	料理研究家	2月	1	成人	16人	15	1					○							○
西	馬宮	3	-	37	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親子でパン作り	親子でアップルロールパンを作りました。	栄養士 食育インストラクター	2月	1	小学生とその保護者	15組	31	1		○						○		○		
西	植水	4	-	1	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手作りケーキ教室 託児付	スフレケーキ等を作り、ケーキ作りの基礎を学び、食文化への関心を高めました。	料理研究家	4月	1	成人	16人	14	1		○			○					○	○	○
西	植水	4	-	5	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手作りパン教室(託児付き)	ツナ、オニオン、トマトを使った総菜パンを作り、食文化への関心を高めました。	料理研究家	8月	1	成人	16人	14	1		○			○					○	○	○
西	植水	4	-	9	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども体験館「料理教室」	ピザを作り料理を学び、食文化への関心を高めました。合わせて、多学年や高校生と交流しました。	料理研究家・大宮光陵高校生徒	8月	1	小学生(高校生のボランティア)	16人	15	1		○			○			○	○			
西	植水	4	-	17	1004	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*乳幼児の子ども	ハッピースマイル教室Part3(親の学習事業含む)	ナッツ等を入れたクッキーを作りました。あわせて親の学習プログラムを行いました。	料理研究家・親の学習ファンリレーター	10月	1	未就学児とその保護者	12組	12	1		○			○					○	○	
西	植水	4	-	24	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	そば打ち体験教室(託児付き)	蕎麦の作り方を体験し、食文化を理解しました。聴覚障がい者参加のため、手話通訳者を配置しました。	植水公民館登録団体	2月	1	成人	16人	14	1		○			○					○	○	○
西	内野	5	-	6	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	イングリッシュマフィンを作る会	地元産を応援、旬の食材を使い食物アレルギーにも配慮したレシピで調理実習しました。	旬彩工房くるみ主宰	5月	1	成人の方	16人	16	1			○		○	○				○	○	○
西	内野	5	-	35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	大人女子倶楽部Ⅱ(埼玉県産の野菜を使った野菜寿司)	埼玉県産のヨーロッパ野菜を使った野菜寿司の作り方を学びました。	寿司割烹 山水店主	2月	1	市内在住・在勤の女性の方	12人	12	1			○		○	○				○	○	○
北	大砂土	6	-	7	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親子パン教室	親子でパン作りを楽しみ、料理技術の向上に役立ち、ねらいを達成できました。	料理教室講師	6月	1	小学生とその保護者	12組	25	1		○								○		

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数											食育	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続
216												386		9624											227		←1つ以上に「○」→						←1つ以上に「○」→					
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期													
北	大砂土	6 - 15	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「子ども料理教室①」	小学生対象の料理教室を開催し、相互交流と料理技術の向上に役立ち、ねらいを達成することができました。	料理研究家	8月	1	公民館地区在住の小学生	16人	16	1		○	○																						
北	大砂土	6 - 16	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「子ども料理教室②」	小学生対象の料理教室を開催し、相互交流と料理技術の向上に役立ち、ねらいを達成することができました。	料理教室講師	8月	1	公民館地区在住の小学生	16人	24	1		○	○																						
北	大砂土	6 - 36	2510	青少年体験活動事業	若者向け事業/バレンタイン料理とユニークチョコづくり	公民館への若い世代への参加の拡大を目的とし、若者対象の料理教室を開催した事で、公民館に若者世代を集める事ができました。	食生活改善委員	2月	1	概ね高校生～30歳	16人	8	1		○	○		○																				
北	日進	7 - 4	1001	子育て(家庭教育)支援事業 乳幼児の保護者*託児あり	親子すくすくタイム「おやつづくり&おしゃべり交流会(託児付)」(親の学習)	前半は、簡単なおやつ作りと試食をしました。後半は、「子育てで大切にしたいこと」について意見交換をしました。	親の学習ファシリテーター	5月	1	乳幼児をもつ親	15人	14	1		○						○																	
北	日進	7 - 7	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	フレンチレストラン メインシェフから学ぶクッキング～ヨーロッパ野菜の魅力にせまる!!～	フレンチレストランのメインシェフを迎えて、ヨーロッパ野菜のおいしさを生かした料理を学びました。	民間企業社員	6月	1	成人の方	15人	15	1					○																				
北	日進	7 - 10	2520	子ども公民館事業	キッズサマーカーニバル「プロから学ぶ手打ちうどん～本当のおいしさを味わおう～」	長年おいしいうどん作りの研究をしている方から手打ちうどん作りを学び、味わいました。	民間企業社員	7月	1	小学3～6年生の親子	8組	19	1		○																							
北	宮原	8 - 10	2520	子ども公民館事業	夏休み子どもわくわく教室料理教室	地域の子どものために、学習・交流の場を提供しました。(料理)	調理指導者	7月	1	小学生	12人	12	1		○																							
北	宮原	8 - 18	2520	子ども公民館事業	夏休み子どもわくわく教室親子バスづくり教室	親子での料理を通して楽しい時間を過ごしました。また、親同士や子ども同士の交流の場を提供しました。	日本製粉株式会社派遣講師	8月	1	小学生とその保護者	10組	20	1		○			○																				
北	宮原	8 - 26	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	餃子の皮から作ろう!水餃子づくり教室	水餃子作りを楽しく体験できる場と、参加者同士の交流の場を提供しました。	日本製粉株式会社派遣講師	11月	1	どなたでも	18人	16	1		○			○																				
北	宮原	8 - 31	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	そば打ち教室	そば打ちを楽しく体験できる場と、参加者同士の交流の場を提供しました。	宮原公民館登録利用そば打ちサークル	12月	1	どなたでも	12人	11	1		○			○																				

# 平成30年度公民館事業報告書

		件数total						総回数		参加延数total		食育総回数		食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続				
		216						386		9624		227		←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→										
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期			
北	宮原	8 - 32	2520	子ども公民館事業	冬休み子どもわくわく教室 クリスマスケーキ作り教室	ケーキづくりを楽しく体験できる場と、子どもたち同士の交流の場を提供しました。	料理研究家	12月	1	小学4年生～6年生	12人	12	1			○						○							
北	植竹	9 - 8	1004	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*乳幼児の子ども	わくわく子育てサロン(親の学習含む) (託児付)	食育、親子体操、バランスボール、親の学習等全10回のプログラムを子育て中の親同士の交流等を目的として行いました。[親学2回]	親子体操指導者、バランスボール指導者、親の学習ファシリテーター	5月～12月	10	2歳以上の未就園児と保護者	20組	373	1			○					○								
北	植竹	9 - 23	1210	文化・芸術に関する事業	はじめての茶道教室	日本の代表的な伝統文化である茶道について作法を学ぶとともに、食育として茶道という食文化を学びました。公民館茶道サークルとの連携で実施しました。	茶道指導者及び公民館茶道サークル	12月	1	小学生～成人	20人	9	1						○			○		○					
大宮	桜木	10 - 33	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	そば打ち教室	食への意識を高めることを目的とし、日本の伝統食文化である手打ちそばについて学びました。	蕎麦打ち講師	2月	1	18歳以上	18人	12	1							○			○	○	○	○			
大宮	大宮南	11 - 33	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌作り体験教室(午前の部)	手前味噌作りの実習を通じて食品の安全を考えました。	会食ボランティア	2月	1	20歳以上	15人	15	1							○	○	○	○			○	○	○	○
大宮	大宮南	11 - 34	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌作り体験教室(午後の部)	手前味噌作りの実習を通じて食品の安全を考えました。	会食ボランティア	2月	1	20歳以上	15人	15	1							○	○	○	○			○	○	○	
大宮	大宮中部	12 - 25	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	料理講座	地域における食育の推進を目的とし、さいたま産の野菜を使ったクリスマスのご馳走にぴったりの料理を作った。	野菜ソムリエプロ助手	12月	1	18歳以上	10人	10	1			○		○						○	○	○	○		
大宮	大宮北	13 - 17	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／パンづくり教室	かわいい動物の形のパンづくりを通じて、パンづくりの基礎を学びました。	料理研究家	8月	1	小学生と保護者	10組	19	1			○	○	○				○					○		
大宮	大宮北	13 - 32	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親子料理教室／一度は作りたい本格太巻き寿司講座	切り口のきれいな太巻き祭り寿司の作り方を親子で学びました。	料理研究家	2月	1	小学生と保護者	10組	22	1			○		○									○		
大宮	三橋	14 - 6	1210	文化・芸術に関する事業	そば打ち教室	日本の伝統文化そば打ちを通して手作りによる食の楽しさを体験しました。	さいたま蕎麦打ち倶楽部	6月	1	20歳以上	18人	18	1													○	○	○	○

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続	
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期			
大宮	三橋	14 - 12	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／親子料理教室	小学生とその親を対象に、親子で料理の楽しさを学びました。	中学校教諭	7月	1	小学生と保護者	10組	21	1		○											○		
大宮	三橋	14 - 14	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／親子パン作り教室	食の楽しさを親子で学ぶパン作り学びました。	パン作り講師	8月	1	小学生と保護者	10組	20	1		○											○		
大宮	三橋	14 - 16	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／茶道教室	青少年の健全育成を目的とし、親子で茶道を体験しました。	茶道講師助手	8月	1	小学生と保護者	15組	23	1		○			○								○		
大宮	三橋	14 - 36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌講座	地域における食育の推進を目的とし、日本の伝統食品である味噌について学びました。	梶伊勢惣	2月	2	20歳以上	16人	27	1					○							○	○	○	
大宮	三橋	14 - 37	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	若者事業／恵方巻ロールケーキ作り	恵方巻ロールケーキ作りをし、参加者同士の交流を深めました。	菓子作り講師助手	2月	1	16歳～39歳	10人	6	1					○							○	○	○	
大宮	大成	15 - 17	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／料理教室	青少年の健全育成を目的とし、料理をすることで食に対する関心や興味を高めました。	管理栄養士	8月	1	小学生	24人	19	1		○											○		
大宮	大成	15 - 33	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌づくり教室	健康増進を目的とする、バランスのよい食事や味噌づくりについて学ぶ教室を開催しました。	管理栄養士	2月	1	成人	16人	16	1					○							○	○	○	○
大宮	大宮東	16 - 5	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	若者事業／スイーツ作り教室	スイーツ作りを通して食育を学びました。	市内菓子店パティシエ	4月	1	15歳～39歳	15人	8	1		○											○		
大宮	大宮東	16 - 10	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業①／親子パンづくり教室	親同士の学び合いを目的とする親子でパン作りと親の学習プログラムを実施しました。	パン職人助手 親の学習ファシリテーター	6月	1	小学生と保護者	8組	19	1		○											○		
大宮	大宮東	16 - 14	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館／料理教室	青少年の健全育成を目的に、キーマカレー作りを通じて料理の楽しさや食の重要性を学びました。	料理研究家助手	7月	1	小学生	20人	20	1		○											○		

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total				総回数							参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続		
216				386							9624	227	←1つ以上に「○」→						←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館№(名簿順) - 館内事業№	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期		壮年期	高齢期
大宮	大宮東	16 - 29	3000	男女共同参画推進事業	男の料理教室	普段あまり料理をしない男性を対象に、料理の楽しさを学びました。 大宮東地区社会福祉協議会共催	料理人(市内レストランの店主)	11月	1	大宮東地区在住の成人男性	16人	16	1	○						○						○
大宮	大宮東	16 - 40	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手打ちそばをつくらう	そば作りを通して、日本の食文化を学びました。	さいたま蕎麦打ち倶楽部	1月	1	成人	16人	16	1						○							○
大宮	大宮東	16 - 41	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	こんにやく作り教室	手作りこんにやく作りを通じて、市販のこんにやくとの違いを感じ、食の安全などについて考え、学びました。	こんにやく作り講師	2月	1	成人	16人	16	1						○							○
見沼	大砂土東	17 - 9	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「キッズクッキング」	料理をする楽しみを経験するためにパン作りを学び、粉からパンを作りました。	料理研究家	7月	1	小学生	12人	11	1								○					○
見沼	大砂土東	17 - 28	1210	文化・芸術に関する事業	おもてなし料理教室	来客の際、おもてなしするために家庭で簡単にできるおもてなし料理を学びました。	料理研究家	12月	1	成人の方	12人	12	1													○
見沼	大砂土東	17 - 34	1900	国際理解事業	国際理解講座	韓国料理作りを通して、その国の食文化を学びました。	韓国料理講師	2月	1	成人の方	18人	17	1													○
見沼	片柳	18 - 10	1002	子育て(家庭教育)支援事業 小学生以上の保護者 *託児なし	親の学習事業「親父シェフになろう！」	簡単に作れるおつまみ等の作り方を学び、父親同士の交流を図りました。	親の学習ファシリテーター 料理研究家・管理栄養士	6月	1	小・中学生の保護者	20人	8	1													○
見沼	片柳	18 - 13	2520	子ども公民館事業	片柳子ども公民館「パンづくり教室」	オリジナルのパンづくり体験を通して、学校外での学年を超えた交流を図りました。	パン作り講師	8月	1	小学生	24人	24	1													○
見沼	片柳	18 - 14	2520	子ども公民館事業	片柳子ども公民館「クッキーづくり教室」	オリジナルのクッキーづくりを通して、学校外での学年を超えた交流を図りました。	パン作り講師	8月	1	小学生	24人	22	1													○
見沼	片柳	18 - 32	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	片柳そば打ち教室	本格的な手打ちそばを打つ体験を通し、食文化を学びました。	そば打ち指導者	12月	1	どなたでも	24人	19	1													○

平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続					
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→										
区	公民館名	館名(名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期					
見沼	片柳	18	-	33	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	クリスマスのおもてなし料理教室	クリスマステーブルを華やかに飾る料理を作る体験を通し、食文化を学びました。	料理研究家・管理栄養士	12月	1	どなたでも	20人	26	1					○						○	○	○	○	○	
見沼	片柳	18	-	35	1900	国際理解事業	国際理解講座「韓国料理を作ってみよう」	韓国料理を作ることを通して、韓国の食文化を学びました。	公民館サークル講師	1月	1	どなたでも	20人	18	1					○						○	○	○	○	○	
見沼	片柳	18	-	38	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	太巻き祭り寿司づくり教室	季節にちなんだ祭り等を太巻きの芯に見立て、本格的な太巻きを作りました。	料理研究家・管理栄養士	2月	1	どなたでも	20人	23	1					○						○	○	○	○	○	
見沼	七里	19	-	17	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「料理教室～パパと一緒に～おまんじゅうをつくろう～」親の学習プログラム	親子でのおまんじゅう作りと、子育て中の親が、自分自身や子どもについて改めて考える機会となりました。	埼玉県ふるさとの味伝承士、親の学習ファシリテーター	8月	1	公民館地域在住の小学生と保護者	12組	25	1					○						○		○	○	○	
見沼	七里	19	-	26	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	健康料理教室	高齢者に必要な栄養を含んだレシピの調理実習を行いました。	料理研究家	9月	1	公民館地域在住の65歳以上の方	20人	15	1	○														○	
見沼	七里	19	-	38	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	和菓子教室	ゆべしと鹿の子作りに挑戦しました。	料理研究家	2月	1	公民館地域在住の成人	16人	16	1					○							○	○	○	○	
見沼	春岡	20	-	3	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防つるかめ塾 前期	「一緒に・ふれあい・学びあおう」をテーマに「おいしいお茶の淹れ方」などの学習機会を提供しました。	体操インストラクター他	4月～8月	14	65歳以上	35人	390	1					○									○		
見沼	春岡	20	-	6	2510	青少年体験活動事業	若者向け対象事業 太巻き祭り寿司	太巻き祭り寿司の作り方を学びました。	料理研究家	6月	1	中学生から39歳まで	16人	6	1		○	○		○							○	○			
見沼	春岡	20	-	9	2500	子ども体験等活動事業	土曜子ども公民館Ⅰ	親子、世代間の交流を通じて、楽しくうどんづくりを学びました。【協力】春野児童センター	児童センター	7月	1	小学生とその保護者	16人	19	1		○	○								○		○			○
見沼	春岡	20	-	13	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「茶道体験教室」	日本伝統文化の茶道を体験し、礼儀作法を学びました。	公民館職員	7月	1	小学生	16人	10	1		○	○								○					○

平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
見沼	春岡	20 - 16	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「料理教室」	おいしいクッキーの作り方を学び、料理をする楽しさを体験できました。	料理研究家	8月	1	小学生	20人	15	1		○	○						○					
見沼	春岡	20 - 17	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	郷土料理Ⅰ	太巻き祭り寿司の作り方を学び、郷土の料理への理解が深まりました。	料理研究家	9月	1	成人	16人	16	1		○	○		○					○	○	○	○	
見沼	春岡	20 - 18	1006	子育て(家庭教育)支援事業 1000~1005以外	親の学習事業 簡単にできるおいしい料理	キッチンとフルーツゼリーの作り方を学び、親の学習事業を行いました。	ファシリテーター 料理研究家	9月	1	子育て中の方	20人	10	1		○	○							○	○	○		
見沼	春岡	20 - 26	1006	子育て(家庭教育)支援事業 1000~1005以外	親の学習事業 親子でクリスマスケーキ	親子でクリスマスケーキを作り、親の学習事業を行いました。	ファシリテーター 料理研究家	12月	1	幼稚園児以上とその保護者	8組	29	1		○	○						○		○	○		
見沼	春岡	20 - 31	2500	子ども体験等活動事業	土曜子ども公民館Ⅱ	クリスマスのフルーツピザの作り方を学びました。【協力】春野児童センター	児童センター職員	12月	1	小学生	16人	9	1		○	○						○					
見沼	春岡	20 - 34	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	まめ物語	味噌の作り方を学び、手前味噌を製作しました。	料理研究家	1月	1	成人	16人	16	1			○		○					○	○	○	○	
見沼	春岡	20 - 36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	郷土料理Ⅱ	太巻き祭り寿司の作り方を学びました。	料理研究家	2月	1	成人	16人	17	1			○		○					○	○	○	○	
見沼	春岡	20 - 38	2500	子ども体験等活動事業	土曜子ども公民館Ⅲ	メロメロパンとフルーツヨーグルトの作り方を学びました。【協力】春野児童センター	児童センター職員	3月	1	小学生	16人	10	1		○	○						○				○	
中央	鈴谷	21 - 15	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館 親子料理	ツイストロール、ミネストローネ、ナティージャの作り方を学び、親子で力を合わせてクッキングを楽しみました。	クッキングパートナー	8月	1	小学生とその親	12組	24	1		○							○		○	○		
中央	鈴谷	21 - 24	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	障害者のための社会参加支援講座 「料理教室」	障害者が料理を楽しみ交流を深めました。	料理教室講師	10月	1	18歳以上の障害者を持つ方	12人	8	1		○								○	○	○	○	

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続	
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
中央	鈴谷	21 - 26	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	わくわくクリスマスクッキング	彩り豊かなクリスマス料理(リース・チョコレートケーキ、グラタン、ポトフ)を手軽に作れる方法を学びました。	クッキングパートナー	12月	1	成人	16人	24	1		○									○	○	○	
中央	大戸	22 - 15	3000	男女共同参画推進事業	男の家庭料理教室	男性も簡単にできる家庭料理を学びました。	料理研究家	10月	2	20歳以上	16人	24	1		○		○								○	○	○
中央	与野本町	23 - 1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防事業 高齢者学級(生きがい健康づくり教室)桑の実学級	認知症予防に効果のある食べ物・氷川神社の歴史・子どもの作品・時事問題等を学ぶことを通じて仲間づくりを行いました。	作業療法士 元博物館館長 元朝日新聞論説委員	5月～7月	11	65歳以上	30人	342	1	○		○										○	
中央	与野本町	23 - 12	1530	介護予防普及啓発事業(ますます元気教室)	介護予防事業 ますます元気教室(1)	介護予防に資する複合型のプログラム(いきいき百歳体操の体験・認知症・口腔・栄養等)を実施しました。	委託業者	7月～8月	6	65歳以上	30人	40	1	○		○											○
中央	上落合	24 - 9	2520	子ども公民館事業	サマーキッズ料理教室親子でわくわくクッキング	親子で料理を作り、食事作りの大変さや食べてもらう楽しさを学びました	さいたま市食生活改善推進員協議会中央支部	8月	1	小学生とその保護者	12組	16	1		○									○		○	
中央	下落合	25 - 5	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	料理講座「常備菜を作ろう」	作り置きおかずのワンポイントを学ぶ講座を実施しました	料理研究家	6月	2	市内在住 20歳以上	16人	32	2	○												○	
中央	下落合	25 - 9	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「親子でチャレンジクッキング」	親子で協力しながらの食育講座を実施しました	(株)日本製粉	8月	1	小学1年～6年の親子	12組	18	1		○												○
中央	下落合	25 - 19	3000	男女共同参画推進事業	男性講座「もろやま華うどん作りチャレンジ」	簡単に気軽に作ることでできるうどん作りを男性が体験しました	もろやま華うどんの会長	12月	1	市内在住 20歳以上の男性	16人	10	1					○								○	
中央	下落合	25 - 24	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	春待ち小麦のクッキング	小麦粉を使った季節料理を作る講座を実施しました	(株)日本製粉	2月	1	市内在住 20歳以上	16人	16	1	○													○
桜	田島	26 - 13	1001	子育て(家庭教育)支援事業 乳幼児の保護者*託児あり	親の学習事業 離乳食の作り方を学ぼう	パパとママで親の学習プログラムを受けた後、離乳食の作り方を学びました。	料理研究家、親の学習ファシリテーター	6月	1	乳幼児を持つ保護者	10組	8	1	○	○	○								○		○	○



# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続	
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期			
桜	田島	26 - 36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌づくり教室	味噌の作り方を学ぶことを通じて、食育について改めて考えるきっかけにしました。	料理教室講師	2月	1	成人	16人	16	1			○								○	○	○	○	
桜	土合	27 - 14	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「ヘルシークッキング教室」	夏に不足しがちなミネラルバランスを整える料理を作りました。	公民館ボランティア(ヘルスマイト)	7月	1	小学生	24人	24	1							○	○						○	
桜	土合	27 - 24	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業／生きがい健康づくり教室／健康を考えた料理づくり	高齢者の健康を考えた料理を学びました。	料理研究家	9月	1	65歳以上	24人	10	1							○							○	
桜	大久保	28 - 1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室 高齢者学級「大げや学級・前期」	介護予防普及啓発事業。高齢者の介護予防運動、生活習慣病予防や高齢者向けの食生活の学習、仲間づくりの場としました。	栄養士・歌唱指導者・警察職員・体操指導者他	5月～7月	10	65歳以上	30人	316	1	○	○	○	○	○	○								○	
桜	大久保	28 - 34	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	食育講座「健康的な食生活のヒント」	健康づくりの基本を食生活から学びました。	管理栄養士	1月	1	どなたでも	30人	14	1			○	○	○	○						○	○	○	○
桜	栄和	29 - 21	2520	子ども公民館事業	サマースクールさかわパン作り教室①	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパン作り教室	パン作り講師助手(2名)	7月	1	小学生	20人	21	1		○					○	○						○	
桜	栄和	29 - 22	2520	子ども公民館事業	サマースクールさかわパン作り教室②	公民館利用団体の方による地元小学生を対象としたパン作り教室	パン作り講師助手(2名)	7月	1	小学生	20人	21	1		○					○	○						○	
桜	栄和	29 - 32	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	そば打ち入門講座1	地域の方を講師に、そば打ちを楽しみながら、交流を図りました。	そば愛好家	12月	1	成人	12人	12	1							○	○				○	○	○	○
桜	栄和	29 - 33	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	そば打ち入門講座2	地域の方を講師に、そば打ちを楽しみながら、交流を図りました。	そば愛好家	12月	1	成人	12人	8	1							○	○				○	○	○	○
桜	大久保東	30 - 11	2520	子ども公民館事業	夏休みこども公民館いなかまんじゅう作り	麦作が盛んだった大久保地区に伝わる饅頭づくりを行い、地域団体との交流を図りました。	さいたま市ヘルスマイト	8月	1	小学生	25人	20	1			○				○	○						○	

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数										食育	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続
216												386		9624										227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期										
桜	大久保東	30 - 13	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館 手打ちうどん作り	麦作が盛んだった大久保地区に 伝わるうどん作りを体験し、地域 団体との交流を行いました。	大久保東公民館運営 協議会	8月	1	小学3年生以上	25人	23	1			○			○		○						○								
桜	大久保東	30 - 18	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業③ 親子アイシングクッキーづくり 教室	親の学習プログラムとともに、クッ キーづくりを通して親子の交流を 図りました。	さいたま市親の学習 ファシリテーター JSA アイシング認定講師	10月	1	小学生~中 学生の子ども と保護者	8組	18	1			○			○		○														
桜	大久保東	30 - 21	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	食育講座親子で「チョココロネ パン」を作ろう	学生のボランティアと参加者の親 子で、パン作りを行い、親子・学 生との交流及び食育を推進しまし た。	パン教室指導者・ ミュージカル上演団 体	12月	1	小学生と保 護者	12組	16	1			○			○	○		○		○											
桜	大久保東	30 - 24	1100	スポーツ・健康・美容に関 する事業	～春に向けて体調を整えよう ～ 薬膳講座	家庭でも簡単に実践できる薬膳 の知識を学びました。	料理研究家・国際中 医薬膳師 社会教育 指導員	2月	1	成人	24人	24	1			○	○							○	○	○									
浦和	岸町	31 - 20	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども寺子屋/ クッキングA	サンドイッチ、サラダ、おたのしみ デザート作りの体験を通して料理 の楽しさを学びました。	食生活カウンセラー	7月	1	小学生 (1年生~2年 生)	16人	15	1			○	○							○											
浦和	岸町	31 - 25	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども寺子屋/ クッキングB	オムライス、サラダ、おたのしみ デザート作りの体験を通して料理 の楽しさを学びました。	食生活カウンセラー	8月	1	小学生 (3年生~6年 生)	16人	15	1			○	○							○											
浦和	岸町	31 - 29	1100	スポーツ・健康・美容に関 する事業	はじめての薬膳教室	薬膳料理の調理法と栄養につい て学び、試しながら交流を図り ました。	料理研究家 料理助手	11月	1	16歳以上	20人	20	1			○								○	○	○	○								
浦和	領家	32 - 18	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/ 料理教室①/野菜いっぱい の パスタを作ろう	仲間と一緒に料理や食事をする ことで、食に対する満足感や楽し さを感じ異学年との交流を図りま した。	料理研究家 料理教室助手	7月	1	小学生3~6 年	16人	16	1			○	○							○			○								
浦和	領家	32 - 23	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/ 料理教室②/簡単でおいしい キッシュを作ろう	仲間と一緒に料理や食事をする ことで、食に対する満足感や楽し さを感じ異学年との交流を図りま した。	料理研究家 料理教室助手	8月	1	小学生1~6 年	16人	16	1			○	○							○			○								
浦和	領家	32 - 24	1100	スポーツ・健康・美容に関 する事業	「本格キムチと韓国料理を作ろ う」	韓国の家庭料理を学び、韓国の 食文化を知りました。	韓国料理シェフ 韓国料理調理助手	9月	2	どなたでも	16人	30	2			○	○		○					○	○	○	○								

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total										食育 総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続
216												386		9624										227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					
区	公民館名	館№(名簿順)	館内事業№	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期									
浦和	領家	32	-	28	2520	子ども公民館事業	子ども公民館クッキング教室「今年のクリスマス!みんなでカップケーキと野菜たっぷりミネストローネを作ろう」	クリスマスに因んだ料理を体験し、食に対する楽しさを学びました。	料理研究家 料理教室助手	12月	1	小学生1~6年	16人	13	1		○	○											○						
浦和	領家	32	-	32	2520	子ども公民館事業	子ども公民館クッキング教室「バレンタインにピッタリ!簡単バレンタイン・カップケーキと炊き込みカレーピラフを作ろう」	バレンタインに因んだ料理を体験し、食に対する楽しさを学びました。	料理研究家 料理教室助手	2月	1	小学生1~6年	16人	17	1		○	○											○						
浦和	浦和南	33	-	17	2520	子ども公民館事業	夏休み子どもわくわくランド②「お菓子教室」	協力してお菓子づくりをし、会食しました。	お菓子作り講師 料理助手	7月	1	小学生	20人	20	1		○																		
浦和	浦和南	33	-	31	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親子公民館 2学期「親子でクッキング! お菓子づくり」	クッキーづくりを通して親子のコミュニケーションを活発にすることができました。	お菓子作り講師 料理助手	11月	1	小学生と保護者	8組	16	1		○																		
浦和	浦和南	33	-	32	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	クリスマスお菓子づくり教室	クリスマスを前にお菓子作り実習を行いました。	お菓子作り講師 料理助手	12月	1	成人	16人	12	1		○																		
浦和	浦和南	33	-	37	1006	子育て(家庭教育)支援事業 1000~1005以外	親の学習事業 素敵なお母さんになるためのプログラム 親子でヴァレンタインのクッキーを作ろう!	お菓子作りを通して楽しさや大変さ、工夫することを親子で体験しました。	お菓子作り講師 料理助手	2月	1	5歳から小学校6年生までの幼児・児童と保護者	8組	19	1		○			○															
浦和	上木崎	34	-	12	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業/パパと一緒にベーコンを作ろう!	パパと小学生を対象に、ベーコン作りを通してパパと子どものつながりを深めました。ママはその間ピラティスでリフレッシュしました。(ファンリ6,000円、託児9,000円、講師20,000円)ママ可	親の学習ファシリテーター・バランスボールインストラクター	7月	1	パパ&ママと小学生	12組	29	1		○																		
浦和	上木崎	34	-	31	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	いきいき健康講座 パート2	薬膳の知識を学び、食生活や健康への関心を高めました。	料理研究家	9月	1	どなたでも	20人	14	1		○																		
浦和	上木崎	34	-	38	2500	子ども体験等活動事業	冬休み子どもクリスマスクッキング	冬休みを利用して異学年交流を図ることを目的として、クリスマスメニューを作る体験をしました。	上木崎ヘルスメイト	12月	1	公民館地域在住の小学生	16人	16	1		○																		
浦和	上木崎	34	-	39	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	自慢したくなる!和ケーキ作り	クリスマスに向けて、和菓子の素材を使ったオリジナルのケーキ作りにチャレンジしました。(託児 12,000円)	和菓子作り指導者	12月	1	概ね16歳~39歳	12人	12	1		○																		

平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total														食育 総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→																		
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期														
浦和	大東	35 - 14	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館①/ お菓子づくり教室	バナナケーキづくり体験を実施しました。	料理教室講師	7月	1	小学生	25人	23	1		○																								
浦和	大東	35 - 20	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館②/ 料理教室	心豊かな青少年育成を目的とする、小学生対象の料理を学び、パスタやゼリーを作りました。	料理研究家 助手(1名)	7月	1	小学生	20人	16	1		○																								
浦和	大東	35 - 26	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	食育講座	地産地消と食文化への理解促進を高めるために、地場産の食材を使って秋を味わう料理を学びました。	料理研究家 (助手1名)	11月	1	成人	20人	13	1						○	○																			
浦和	大東	35 - 34	2600	コミュニティづくり・市民活動支援事業	太巻き祭り寿司と恵方巻づくり	郷土料理である太巻き祭り寿司づくりを学ぶと共にコミュニケーションを図りました。	料理研究家 (助手4名)	2月	1	どなたでも	20人	20	1							○																			
浦和	大東	35 - 35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手づくり味噌講座	栄養豊富な大豆発酵食品の手前味噌をつくりました。	料理教室講師	2月	1	どなたでも	15人	9	1						○																				
浦和	仲本	36 - 16	1002	子育て(家庭教育)支援事業 小学生以上の保護者*託児なし	お母さんの勉強室 環境にやさしいエコ・クッキング	非常時に缶詰を使った献立で、エコな料理方法を学びました。	東京ガス	6月	1	小学生の保護者	16人	11	1																										
浦和	仲本	36 - 17	2500	子ども体験等活動事業	お父さんと子どもの朝食作り	鮭の焼き方やだしの取り方を学び、味噌汁を作り、親子の触れ合いを図りました。	料理研究家 (助手1名)	6月	1	小学生と保護者	10組	23	1	○																									
浦和	仲本	36 - 24	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館⑤/ サイエンスクッキング	夏休みの思い出づくり、おもしろ科学実験。さとうの実験とおやつを作りました。	中学校理科教員免許 所有者	8月	1	小学生	23人	23	1																										
浦和	針ヶ谷	37 - 10	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業/親子でレッツ・クッキング&家族と仲間のチャレンジタイム	親子で料理を作り、また、おしゃべりを通して子育て中の親が自分自身や人とのつながりについて考え学び子育ての一助になりました。	料理研究家・調理師、さいたま市親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	9組	16	1																										
浦和	針ヶ谷	37 - 31	2520	子ども公民館事業	冬休み子ども公民館 ほんわかあまいマフィンを作ろう	マフィン作りを通じて仲間づくりをしました。	料理研究家、助手	12月	1	小学生	12人	12	1																										



# 平成30年度公民館事業報告書

件数total		総回数										参加延数 total	食育 総回数	食育に関する学習事業（X列に回数を入力した事業）														継続
216		386										9624	227	←1つ以上に「○」→							←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館No (名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期		
浦和	北浦和	41	-	7	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業/友遊塾(後期・座学)	健やかに生きるための生きがいと健康づくり、仲間づくりのための学習を行い、食や栄養に関する学習機会を提供しました。	歴史研究家 ピアノ講師 キュービー(株)講師	11月～12月	6	65歳以上	40人	207	1												○	
浦和	北浦和	41	-	21	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/料理教室	小学生が夏休みに公民館で料理(ハンバーグ作り等)をしました。学年を超えて共同作業をする楽しさを味わいました。	栄養士 料理教室協力者	7月	1	北浦和小学校児童と公民館区域の小中学生	20人	20	1		○					○						
浦和	北浦和	41	-	28	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/おやつ作り教室	学年を超えた交流を目的に、夏休みの小学生を対象とした、おやつ作り教室(シナモンロール作り)を実施しました。	料理指導者	8月	2	北浦和小学校児童と公民館区域の小中学生	40人	39	2		○					○						
浦和	北浦和	41	-	34	2510	青少年体験活動事業	私は虹色パティシエール(お菓子作り&パティシエへの道)	青少年・若者向け講座でパティシエから、家庭で作れるお菓子を習い、食育も学びました。(講師10,000円、託児6,000円)	パティシエ 子育てサロニサポーター	10月	1	市内在住・在勤・在学の概ね16歳以上40歳未満	15人	12	1		○						○		○			
浦和	北浦和	41	-	35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	カンタン家庭の薬膳	冬を乗り切るための薬膳料理を学びました。	料理研究家 料理指導ボランティア	1月	1	どなたでも	16人	16	1		○	○	○	○						○	○	○
浦和	南箇	42	-	19	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	インスタ映えするパンケーキを作ろう!	青少年・若者を対象に、Instagram映えするパンケーキを調理し、食の大切さについて学びました。	公民館料理サークル・託児ボランティアグループ	6月	1	16歳～39歳	24人	7	1		○							○				
浦和	南箇	42	-	23	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館/クッキング教室	心豊かな青少年育成を目的とする、小学生対象の調理を行い、食の大切さについて学びました。	公民館料理サークル	8月	1	小学生	24人	23	1		○	○	○			○					○	
浦和	南箇	42	-	35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	食育に関する「親子料理教室」	親子の交流と学び合いを目的とした、調理を行うことで技能の習得と食への意識を高めました。	公民館料理サークル	11月	1	小学生と保護者	10組	12	1		○	○	○			○			○	○	○	○
浦和	南箇	42	-	37	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	スローライフ講座「手打ち蕎麦作り教室」	蕎麦作りを通して手作りの良さを実感し、食の大切さを学びました。	おおくぼ二八会・そば打ち指導者	12月	1	成人	14人	14	1		○	○	○							○	○	○
南	文蔵	43	-	11	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	【親の学習事業】「親子で楽しく!ピザ作り」	子育て中の親同士が、子育てについて語り合い、学び、親としての成長を支援する講座	ファシリテーター(2名)、趣味・実技指導者(1名)、助手(1名)	8月	1	親子対象*小学生の子ども	10組	18	1		○					○						

平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続	
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→							
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期			
南	文蔵	43 - 13	2600	コミュニティづくり・市民活動支援事業	和ケーキでハッピーバレンタイン	家庭でできる簡単でおしゃれなお菓子作りを青少年・若者の世代に楽しんでいただく	料理研究家(1名)、託児ボランティア2人	2月	1	16~39歳	12人	3	1		○													
南	文蔵	43 - 14	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	大人の食育「彩り鮮やかな初夏のスペイン料理！」	栄養バランスのとれた料理の実習	料理研究家(1名)、助手(1名)	6月	1	成人	16人	16	1	○					○									○
南	文蔵	43 - 15	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	男の料理教室 ローストビーフ編	料理を楽しく学ぶ男性のための講座	料理研究家(1名)、助手(2名)	1月	1	成人男性	15人	16	1	○	○													○
南	文蔵	43 - 24	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館①「チキンのトマト煮でごちそうランチ」	クッキング体験と異学年交流	団体(サークル)	7月	1	小学生	20人	19	1		○					○								○
南	文蔵	43 - 25	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館⑨「簡単！楽しい！おにぎらず」	クッキング体験と異学年交流	団体(サークル)	8月	1	小学生	20人	20	1		○					○								○
南	南浦和	44 - 14	2520	子ども公民館事業	夏休み子供公民館④「子ども料理教室」	学年縦割り班で協力しながら、料理を楽しむことができた。	食生活改善推進員	8月	1	小学生	24人	24	1		○						○							○
南	南浦和	44 - 18	2520	子ども公民館事業	夏休み子供公民館⑧「おいしいデザート作り」	学年縦割り班で協力しながら、料理を楽しむことができた。	お菓子作り指導者	8月	1	小学生	20人	20	1		○							○						○
南	南浦和	44 - 24	2500	子ども体験等活動事業	子ども公民館④「かわいなお花の祭りずしを作ろう！」	慣れない手つきで巻きずしづくりに取り組み、美味しく食べることができた。	技能指導者	3月	1	小学生	24人	23	1		○							○						
南	南浦和	44 - 27	2600	コミュニティづくり・市民活動支援事業	ふれあい会食	70歳以上のひとり住まいの方の交流を目的に食事会を行う	食生活改善推進員	5月~3月	8	70歳以上の高齢者	35人	189	8		○		○										○	○
南	南浦和	44 - 36	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	快適ライフ料理教室①「旬の食材をたっぷり使った美味しいイタリアン」	季節に合ったメニューで調理実習を行い料理を学ぶことができた。	料理研究家	9月	1	成人	16人	16	1			○		○									○	○

平成30年度公民館事業報告書

件数total		総回数												参加延数 total	食育 総回数	食育に関する学習事業 (X列に回数を入力した事業)										継続	
216		386												9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→						
区	公民館名	館№(名簿順) - 館内事業№	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	社年期	高齢期		
南	南浦和	44 - 37	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	快適ライフ料理教室② 「定番のおせちもいれて、クリスマスにも使える創作料理」	季節に合ったメニューで調理実習を行い料理を学ぶことができた。	料理研究家	12月	1	成人	16人	16	1			○		○				○	○	○	○	○	
南	谷田	45 - 2	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業(生きがい健康づくり教室 さくら塾(前期))	毎日を健康で心豊かに楽しく生活するために、地域の高齢者が集まり、共に学び生活に潤いを持ち生きがいを見出すように、健康や食育などについて学習機会を提供した。	病院職員 健康管理士 管理栄養士	5月～7月	7	65歳以上	55人	318	1	○		○									○		
南	谷田	45 - 16	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業③ パパと一緒にクッキング&おしゃべりタイム	親子でクッキングを楽しみ、家族同士の交流を図り、子育てについて考える機会を提供した。	食生活改善グループ 親の学習ファシリテーター	7月	1	小学生とその保護者	10組	20	1			○			○		○						
南	谷田	45 - 20	2520	子ども公民館事業	子ども公民館 サマースクール④ 料理教室	料理を作る楽しさと共に、異学年の交流を図る機会を提供した。	食生活改善グループ	7月	1	小学生	20人	20	1			○			○		○					○	
南	谷田	45 - 28	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	男の料理教室	男性が料理を覚えることで、食生活にも関心を持つ機会を提供した。	食生活改善グループ	11月	1	成人男性	20人	9	1	○		○			○				○	○	○	○	
南	谷田	45 - 35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	腸のおはなしとおなか元気体操	腸を活性化する方法を学んだ。	管理栄養士	1月	1	どなたでも	30人	43	1			○								○	○	○	
南	六辻	46 - 24	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館おやつ作り教室	おやつ作りを通して、材料の知識や作る楽しさを体感しながら、異学年交流を図る機会を提供しました。	森永乳業	8月	1	公民館地域在住の小学生	30人	30	1			○	○	○			○					○	
南	六辻	46 - 27	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館料理教室	身近な材料を用い、栄養バランスを考え、健康で美味しい食事を作り食することで食の大切さを学び、異学年交流を図る機会を提供しました。	料理指導者	8月	1	公民館地域在住の小学生	22人	21	1			○	○	○			○					○	
南	六辻	46 - 32	2500	子ども体験等活動事業	親子公民館食育料理教室	食の大切さを学びながら、調理実習を通じて親子のふれあう時間を提供できました。	料理研究家 料理教室助手	12月	1	公民館地域在住の小学生と保護者	10組	19	1			○	○	○			○					○	
南	六辻	46 - 37	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	彩り鮮やかな春のスペイン料理教室	スペイン料理を通じて「食」を学びながら、食生活にも関心を持つ機会を提供しました。	料理研究家 料理教室助手	3月	1	どなたでも	20	16	1			○	○	○	○						○	○	○



# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数												参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続
216												386												9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					
区	公民館名	館名(名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期										
南	西浦和	47	-	1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	わかば学級	シニア世代が、健康で楽しく生活するために役立つこと学ぶ機会を提供しました。また、地域の仲間作りをしました。高齢者向けの食育を行いました。人権講座では、障害をテーマにした講座を行いました。	趣味・実技指導者 体操指導者 落語家、講談師 等	4月～3月	21	65歳以上	60人	1123	2				○											○						
南	西浦和	47	-	14	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館子ども料理教室	料理を学び、世代交流を図る機会を提供しました。	食生活改善推進員協議会	8月	1	小学生	25人	22	1	○	○	○	○																	
南	別所	48	-	22	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「茶道教室」	日本の伝統文化である茶道を体験。	茶道サークル	8月	1	小学生全学年	15人	15	1																○					
南	東浦和	49	-	1	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	さわやか学級(前期)	介護予防普及事業啓発事業で、様々な生活教養・健康・食育・落語(大学生による)・ふれあいづくりを学びました。	教養健康指導者 文化・歴史講座講師 大学サークル員 等	4月～9月	9	65歳以上	50人	360	1	○	○	○	○	○											○					
南	東浦和	49	-	2	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	さわやか学級(後期)	介護予防普及事業啓発事業で、様々な生活教養・健康・食育・ふれあいづくりを学びました。	教養健康指導者 文化・歴史講座講師 等	10月～3月	10	65歳以上	50人	437	1	○	○	○	○	○											○					
南	東浦和	49	-	10	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業③「親子でパレインタイン」～プレゼント・クッキーづくり～	親子で家庭でできるお菓子作りを作り、親同士の交流及び子育ての情報交換の場となりました。	料理研究家 ファンリテーター	2月	1	小学生と保護者	8組	13	1			○													○					
南	東浦和	49	-	28	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館⑤ お菓子作り教室① オムレットと豆乳パフェをつくらう	家庭でできる様々なお菓子作りを通して、料理(調理)の面白さを体験しました。	お菓子作り講師	7月	1	小学生	20人	20	1			○													○					
南	東浦和	49	-	34	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館⑩ お菓子作り教室② クッキーに絵を描こう	家庭でできる様々なお菓子作りを通して、料理(調理)の面白さを体験しました。	お菓子作り講師	7月	1	小学生	20人	20	1			○													○					
南	善前	50	-	13	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業「ママの笑顔は世界一② 親子でお菓子作りを楽しもう！」	親子でお菓子を作る活動をととしてふれあうとともに、親同士で子育ての課題を話し合い交流しました。	料理研究家	11月	1	小学生とその保護者	12	12	1			○													○					
南	善前	50	-	17	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	時短、簡単、今話題の常備菜(作り置きおかず)クッキング～和食～	梅雨時でも保存できる常備菜料理教室を和食で作りました。	調理師	6月	1	どなたでも	16	16	1				○												○					

平成30年度公民館事業報告書

件数total											総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続			
216											386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→								
区	公民館名	館名(名簿順) - 館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期		高齢期		
南	善前	50 - 18	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業		時短、簡単、今話題の常備菜(作り置きおかず)クッキング～イタリアン～	梅雨時でも保存できる常備菜料理教室をイタリアンで作りました。	調理師	6月	1	どなたでも	16	14	1			○								○	○	○	
南	善前	50 - 24	2520	子ども公民館事業		夏休み子ども公民館④ロールケーキを作ろう!	ロールケーキを作ることで、料理をする楽しさを学ぶことが出来ました。	製菓講師	8月	1	小学生	20	19	1		○						○						
南	善前	50 - 35	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業		善前そば打ち教室	新そばを材料にそば作りを体験することで、日本の古き良き食文化を学ぶことが出来ました。	岩槻北部公民館長	12月	1	どなたでも	16	16	1					○						○	○	○	
南	善前	50 - 40	2500	子ども体験等活動事業		子ども新年会～今年も笑顔でハッピーニューイヤー!	地域の小学生を対象にカルタ取りやお汁粉で新年を祝いました。	食生活改善推進委員	1月	1	小学生	30	17	1		○				○							○	
南	善前	50 - 46	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業		パン教室「お家で簡単パン作り!」	パン屋さんで売っているようなパンを自宅で手軽に作れるよう技法を学び、食に対する理解を深めました。	料理研究家	2月	1	どなたでも	16	16	1	○											○	○	○
緑	大古里	51 - 36	2520	子ども公民館事業		夏休みわくわくスクール「子どもクッキング教室」	夏休みを利用した小学生が対象の体験活動で、料理教室を行いました。	さいたま市食生活改善推進員協議会大古里ふたば会員	8月	1	公民館地域在住の小学生	24人	17	1		○		○	○	○		○						○
緑	三室	52 - 23	2520	子ども公民館事業		夏休み子ども公民館 料理教室	料理づくりの基礎、基本を学びました。	三室ヘルスメイト	8月	1	三室地区在住の小学生	18	18	1	○	○				○		○						
緑	尾間木	53 - 27	2520	子ども公民館事業		夏休み子ども公民館「楽しいクッキング」	異学年同士で交流しながら、楽しく料理を作りました。	料理サークル指導者	8月	1	小学生	16人	24	1		○						○						
緑	尾間木	53 - 31	2520	子ども公民館事業		夏休み子ども公民館「わくわく親子クッキング」	親子で料理作りを行いました。	中学校栄養教諭等	8月	1	小学生と保護者	8組	17	1	○	○	○	○		○		○			○		○	
緑	原山	54 - 10	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業		原山料理教室	健康料理を学び、健康増進を図りました。	さいたま市食生活改善推進員(3名)	11月	1	成人	24人	14	1		○									○	○	○	○

# 平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total	食育総回数	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)											継続		
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→								
区	公民館名	館№(名簿順)	館内事業№	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期			
緑	原山	54	-	29	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「わくわくチャレンジクッキング」	夏休みに小学生を対象とした健康料理教室を行いました。	さいたま市食生活改善推進員(3名)	7月	1	小学生	24人	23	1		○											○	
緑	美園	55	-	7	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室「しらすぎ大学(1学期)」	高齢者が仲間と健康に過ごすきっかけを作りを目的に、音楽、食育(栄養学)などの学習機会を提供しました。	地域包括支援センター	5月~7月	6	65歳以上	45人	232	1	○												○	
緑	美園	55	-	8	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	生きがい健康づくり教室「しらすぎ大学(2学期)」	高齢者が仲間と健康に過ごすきっかけを作りを目的に、食育(栄養学)などの学習機会を提供しました。	美術指導者	9月~11月	7	65歳以上	45人	287	1	○		○										○	
緑	美園	55	-	14	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	美園うたカフェ~お茶の間づくり、はじめの一歩~	地域のコミュニティの広がり、居場所作りの支援を目的にギターの伴奏で歌を歌い本格コーヒーを味わい楽しみました。	コーヒーボランティア	4月~3月	13	65歳以上	なし	451	1		○											○	
緑	美園	55	-	27	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「料理教室」	小学生が料理教室を通して、食事をする事の大切さ、仲間と食べる楽しさを体験しました。	料理研究家	8月	1	小学生	15人	15	1		○	○										○	
岩槻	岩槻本丸	56	-	3	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業「やまぶき学級」	歴史や文学、食生活など、さまざまな分野について学び、仲間づくりを進めました。 【共催】岩槻区高齢介護課	歴史研究家外	4月~5月	5	65歳以上	30人	104	1	○	○	○	○									○	○
岩槻	岩槻本丸	56	-	15	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「サイエンスクッキング~キラキラ☆さとう~」	小学1年生~3年生を対象に科学実験を基にした料理教室を行いました。	中学校教諭免許所持者	8月	1	小学1~3年生	20人	19	1		○	○										○	
岩槻	岩槻本丸	56	-	16	2520	子ども公民館事業	夏休み子ども公民館「サイエンスクッキング~カラフルスイーツ~」	小学4年生~6年生を対象に科学実験を基にした料理教室を行いました。	中学校教諭免許所持者	8月	1	小学4~6年生	20人	19	1		○	○										○	
岩槻	岩槻本町	57	-	6	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親子洋菓子教室	手作りならではの楽しさと時間を親子で共有しながら、チョコレートケーキとムースの作り方を学びました。	料理研究家 助手(1名)	2月	1	小学生と保護者	12組	26	1		○		○									○	○
岩槻	岩槻本町	57	-	7	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業/親子料理教室「学校給食の人気メニューを作るう」	親の学習事業で子育てについて話し合った後、親子で普段給食で食べているメニューを作り、親子の交流を深めました。	さいたま市栄養教諭、親の学習ファンリター	1月	1	市内在住の小学生とその保護者	12組	27	1		○		○									○	○

平成30年度公民館事業報告書

件数total												総回数		参加延数total													食育	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)										継続
216												386		9624													227	←1つ以上に「○」→					←1つ以上に「○」→					
区	公民館名	館№(名簿順)	館内事業№	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期												
岩槻	岩槻本町	57	-	10	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	公民館介護予防事業/生きがい健康づくり教室/樺の木学級1	料理研究家 健康体操指導者 岩槻中学校箏曲部等	5月~7月	10	65歳以上	30人	208	1	○	○	○	○										○	○									
岩槻	岩槻本町	57	-	17	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	薬膳料理教室		4月	1	成人	24人	23	1		○	○	○		○								○	○	○	○							
岩槻	岩槻本町	57	-	23	1210	文化・芸術に関する事業	手作りみそ教室①		1月	1	成人	16人	16	1		○	○	○	○									○	○	○	○							
岩槻	岩槻本町	57	-	24	1210	文化・芸術に関する事業	手作りみそ教室②		1月	1	成人	16人	16	1		○	○	○	○									○	○	○	○							
岩槻	岩槻本町	57	-	25	1210	文化・芸術に関する事業	和菓子教室		9月	1	成人	24人	24	1		○	○	○	○									○	○	○	○							
岩槻	岩槻本町	57	-	27	1300	伝統文化・地域歴史に関する事業	若者向け事業「マシュマロフォンダント講座」		3月	1	市内在住の18~39歳の方	16人	5	1		○		○													○							
岩槻	岩槻南部	58	-	9	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業②「パパと一緒に親子クッキング」		11月	1	小学生とその保護者	8組	10	1		○															○							
岩槻	岩槻南部	58	-	17	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手打ちそば教室		11月	1	どなたでも	16名	16	1		○	○	○										○	○	○	○							
岩槻	岩槻南部	58	-	18	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	手づくりピザ教室		11月	1	16歳~39歳	16名	8	1		○	○	○										○	○									
岩槻	岩槻南部	58	-	19	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	味噌づくり教室		1月	1	どなたでも	16名	16	1		○	○	○	○	○								○	○	○	○							



平成30年度公民館事業報告書


件数total												総回数		参加延数total													食育	食育に関する学習事業(X列に回数を入力した事業)													継続
216												386		9624	227	←1つ以上に「○」→						←1つ以上に「○」→																			
区	公民館名	館名(名簿順)	館内事業No.	事業種別コード	種別名称	事業名	主な内容	主な講師肩書	開催時期	回数	対象	定員	参加延数	食育	さ	い	た	ま	し	協働	乳幼児期	学齢期	青年期	成人期	壮年期	高齢期															
岩槻	岩槻南部	58	-	20	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	恵方巻づくり	節分を前に、恵方巻の作り方を学びました。	料理研究家	1月	1	どなたでも	16名	16	1		○	○	○	○	○				○	○	○	○													
岩槻	岩槻北部	59	-	3	1005	子育て(家庭教育)支援事業 親子対象*小学生以上の子ども	親の学習事業3 親子で年越しそばを作ろう	親子で年越しそばを作り、気づいた事や苦労したことを話し合いました。	公民館職員、さいたま市親の学習ファシリテーター	12月	1	小学生と保護者	8組	22	1		○						○				○														
岩槻	岩槻北部	59	-	8	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	郷土料理	太巻寿司作りを学びました。	料理研究家	11月	1	18歳以上	16人	18	1					○						○	○	○	○												
岩槻	岩槻北部	59	-	9	1100	スポーツ・健康・美容に関する事業	旬の食材を使った料理教室	季節の食材を使った和食を学びました。	調理師	2月	1	成人	16人	15	1			○		○						○	○	○	○												
岩槻	岩槻北部	59	-	26	2520	子ども公民館事業	サマースクールほくぶ4 夏休みお菓子作り教室	夏休み期間、小学生のお菓子作り教室を行いました。	料理研究家	8月	1	小学生	16人	15	1		○						○																		
岩槻	岩槻城址	60	-	7	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防事業生きがい健康づくり教室「白鶴学級前期」	介護予防を目的として交通安全教室を開催し、足つぼ健康法、シルバー川柳、絵手紙に挑戦し、お茶と健康について学びました。 【共催】岩槻区高齢介護課	官足指導者	6月～7月	7	65歳以上	30	218	1		○				○							○													
岩槻	岩槻城址	60	-	8	1010	介護予防普及啓発事業(生きがい健康づくり教室)	介護予防事業生きがい健康づくり教室「白鶴学級後期」	介護予防を目的として救急法、乳酸菌と健康、バドル体操を学び、俳句、ガーデニングに挑戦しました。 【共催】岩槻区高齢介護課	税務広報聴官	9月～12月	11	65歳以上	30	320	1		○				○							○													

## 4 公立小学校・中学校・特別支援学校の食育取組状況

### ○小学校


【西 区】	・ 指扇小学校			
【北 区】	・ 大砂土小学校	・ つばさ小学校		
【大宮区】	・ 大宮小学校	・ 桜木小学校		
【見沼区】	・ 大谷小学校			
【中央区】	・ 下落合小学校	・ 与野西北小学校		
【桜 区】	・ 土合小学校	・ 大久保小学校	・ 栄和小学校	・ 田島小学校
	・ 中島小学校			
【浦和区】	・ 常盤小学校	・ 常盤北小学校		
【南 区】	・ 大谷場小学校	・ 文蔵小学校		
【緑 区】	・ 三室小学校	・ 尾間木小学校	・ 原山小学校	・ 大門小学校
	・ 大牧小学校	・ 芝原小学校		
【岩槻区】	・ 太田小学校	・ 柏崎小学校	・ 和土小学校	・ 慈恩寺小学校



担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										対象ライフステージ										2018年4月～2019年3月(平成30年度)		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題					
指扇小学校 協働	たてわり(交流)給食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 872人	実施日:学期1回(6月、12月、2月) 場所:教室 内容:集団で給食をとり、交流を図る	心身の発達の違いを認識し、それぞれの立場を理解し、協力して活動する態度を養うことができた。	教室移動があるため、十分な喫食時間がとれない。	12月は給食ではなく、各自、家庭より弁当を持参し、交流を行った。
指扇小学校 協働	くわい芽取り 体験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:1年生、特別 支援学級 154人	実施日:12月7日 場所:教室 内容:給食で使用する「くわい」の芽取りを行う	食材に触れる体験を通じて、食材を大切に扱い、食材への関心を深めることができた。	食材へ直接触れるため、かぶれる等、注意が必要。	給食室の手伝いをする事で、給食をつくる人への感謝の気持ちを持つきっかけとなった。
大砂土小学校 協働	野菜の下処理 体験(継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:1, 2, 3, 4 年生 全4回 1年生217人 2年生252人 3年生240人 4年生239人	実施日:2018.5.9(水) 場所:大砂土小学校 内容:給食で使用するグリーンピース、空豆、トウモロコシ、クワイの下処理体験	野菜を使用した給食の残菜が減った。 農家や調理する人の苦勞を知り、食べ物を大切にす る心と感謝の気持ちを育むことができた。	体験で使用する野菜の安定した入手が難しい、いく つかの業者とあらかじめ打ち合わせをし、見通しを立て ておく。	
大砂土小学校 協働	給食試食会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:児童の保 護者 170人	実施日:2018.10.4(木) 場所:大砂土小学校 内容:給食や児童期の食事についての講話と給食の 試食	「給食への理解が深まった」「子供の食事について気 をつけようと思った」などの感想が多く聞かれた。	児童が食べている様子やかたずけている様子も見 学できるという良い。写真や映像で紹介することを検討 する。	学校給食について(栄養価やアレルギー対応など) や、食育を進めるための体験学習について、パワー ポイント等を使用して説明を行った。
つばさ小学校 協働	給食集会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:つばさ小 学校児童 1220人	実施日:1月22日(火) 場所:つばさ小学校 内容:命への感謝、給食に携わっている人への感謝 を伝える劇、給食や食事のマナーに関するクイズ、 牛乳パックリサイクルについてのお願	・給食の残菜量を意識する児童が増えた。 ・集会後に書いた調理員への手紙では、日頃の感謝 の気持ちをしっかりと書くことができた。	・給食の残菜量の中で一番多いものが根菜類などを 使った煮物である。そのような児童が苦手とするメ ニューでも残さず食べられるよう指導を続ける必要 がある。	
大宮小学校 協働	さやむき体 験	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:1年 特別支援学級 138人	実施日:2018年5月2日(水) 場所:大宮小学校 内容:グリーンピースのさやむき体験	旬の食材に触れ、形や食べ方を知ることができた。 体験した1年生と特別支援学級は給食の残食が少 なかった。	全校の残食率は6.2%あり、体験していない学年に は食材の紹介が足りなかった。	豆やさやについて気づいたことを話し合いながら活 動していた。体験後は給食を楽しみにする声があっ た。
桜木小学校 協働	スマイルラン チ (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期 0～5歳	学齢期 6～15歳	青年期 16～24歳	成人期 25～39歳	壮年期 40～64歳	高齢期 65歳以上	対象:全校児童 495人	実施日:12月5日 場所:校庭 内容:各自弁当を持参し、縦割りグループで食事をする。	楽しく会食する様子うかがえた。異学年との交流 ができた。	・弁当の日は学校給食の実施回数との兼ね合いが あり、必ず毎年実施できるとは限らない。	

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績 2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
桜木小学校 協働—	グリーンピース のさやむき (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:1年生 75人	実施日:4月23日 場所:教室 内容:グリーンピースの仲間について学習し、グリーンピースのさやむきを体験する。	・グリーンピースの成り立ちを学ぶことができた。 ・グリーンピースに親しみを持ち、大切に食べようとする心が育った。	・グリーンピースの出回る時期が年々早くなり、実施がむずかしくなっている。	
大谷小学校 協働—	グリーンピース のさやむき (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:215人	実施日:平成30年5月1日(火) 場所:各教室 内容:グリーンピースのさやむき	食べ物に対する興味、関心を高めることができた。 当日の給食に使用することで、体験活動と食をつなげることができた。	学校行事の合間をめぐって企画したが、グリーンピースの端境期と重なり、調達が難しかった。	
大谷小学校 協働—	とうもろこしの皮むき (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:214人	実施日:平成30年7月3日(火) 場所:各教室 内容:とうもろこしの皮むき	皮つきのとうもろこしを観察、記録することで、食べ物に興味を持ち、大切に食べようという意欲が高まった。調理員に対する感謝の心を育むことができた。	皮むきの体験活動とワークシート記入の時間配分について、各クラスに差があった。	
下落合小学校 協働—	絵本とのコラボ給食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:本校児童 820人	実施日:2019年4月23日(月)、11月30日(金) 場所:下落合小学校 内容:学校図書館にある絵本に出てくる料理や、食材を使った料理を給食に取り入れて実施した。 4月23日(月)ツイストパン、牛乳、春野菜のクリーム煮、春キャベツのコールスロー 11月30日(金)さきたまライスボール、スターチャウダー、ビーンズサラダ	喫食率 4月23日(月)97.3%(残食率2.9%) 11月30日(金)96.6%(残食率3.4%) 「絵本給食の前後、図書館を利用し、該当する絵本を手取る児童が多かった。」(司書)、「絵本給食の本を読んだ。」(児童)という感想があった。	絵本に出てくる料理やお菓子は、アレルギー対応の観点から、絵本どおりの食材や作り方で実施することが難しい。	
下落合小学校 協働—	体験活動 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:本校児童 2学年(そらまめ) 1学年(とうもろこし)	実施日:2019年5月18日(金)、7月10日(火) 場所:下落合小学校 内容:5月18日そらまめのさやむき、7月10日とうもろこしの皮むき 該当学年・クラスの教室でさやむき・皮むきの体験活動を行い、当日の給食に使用、提供した。	体験した児童からは、「(活動が)楽しかった。」、「野菜の特徴を知ることができた。」という感想があった。 3学年以上からも、昨年度以前に体験したことがあるため、「1年生がむいてくれたんだね。」などの会話が給食時間にあった。	特になし。	
与野西北小学校 協働—	学校保健委員会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:保護者・教職員 70人	実施日:2019年2月14日(木) 場所:与野西北小学校ホール 内容:学校給食と食に関する健康	給食(栄養管理、衛生管理)への理解が深まった。家庭での食事を見直すきっかけとなった。	講演内容を見返せるように配付資料を工夫できるとよかった。調理の実践、味見ができるとよかった。	
土合小学校 協働—	グリーンピース さやむき体験 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:2年生 165人	実施日:2018年5月7日(月) 場所:2年生の教室 内容:グリーンピースの説明を受けて、さやむきの体験活動を行う	苦手な食材を、自分たちで見て作業することにより喫食率が向上した。	学年で実施すると、たくさんあるようで意外と量が少ないので、物足りなさがある。	













さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	目 標	5つの「食べる」 いっしょに楽しく 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
土合小学校 協働—	とうもろこし 皮むき体験 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 ○	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳+ —	対象:1年生・特学 156人	実施日:2018年7月11日(水) 場所:1年生・特学の教室 内容:とうもろこしの説明をうけて、とうもろこしの皮むき体験活動を行う	初めてやる児童もいるので、とうもろこしの構造などを知ることができる。	学年で実施すると、たくさんあるようで意外と量が少ないので、物足りなさがある。	
土合小学校 協働—	くわい芽とり 体験 (新規)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 ○	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳+ —	対象:特学 24人	実施日:2018年12月14日(金) 場所:特学の教室 内容:くわいの説明を受けて、くわいの芽とり体験活動を行う	さいたま市の特産物である、くわいを知り、どのようなときに食べられているものかなどを知ることができる。	みんなで一緒にやってしまったので少人数にわけてやると、少し細かい指導等ができるかもしれない。	
大久保小学校 協働	学校保健員 会 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳+ —	対象:大久保小学校保護者及び 教職員 50人	実施日:平成30年6月28日(木) 場所:大久保小学校 家庭科室 内容:学校保健員会 ・バランスのよい朝食 ・豊かな食生活を築く基礎としての歯みがき指導	・講義では簡単なレシピを学校栄養士が紹介するなどした。 ・協議では、朝食摂取や好き嫌いに関する実態が話題となった。 ・「簡単なレシピが役に立った」「自分の家庭と同じ課題があることを知ることができた」などの感想が多数みられた。	・課題の共有を図ることはできたが、学校として課題としている家庭(保護者)が参加できていない。 ・一部ではあるが、虫歯治療をしない家庭もあり、継続的な働きかけをしている。	
栄和小学校 協働	児童が考えた給食の提供	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳+ —	6回 全児童・教職員 1195人	2019年 2/1 2/6 2/28 3/8 3/12 栄和小学校 家庭科の授業で考えた献立を給食で提供する	6年生が考えた献立を提供することにより、同学年では食に対する理解が深まり、低・中学年では家庭科の学習に対する期待が高まった。	児童の思いを忠実に献立に反映させることと調理作業や価格とのバランスが課題である。	
栄和小学校 協働	野菜の皮むき体験	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳+ —	2回 2年167人 3年202人	2018年 5/11 7/4 栄和小学校 給食で使用するグリーンピースとトウモロコシの皮むき	児童が苦手とする野菜の喫食率が上昇した。	行事予定と野菜の収穫時期を合わせること。時間の確保が課題。	
栄和小学校 協働	交流給食	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳+ —	1回 全児童1125人	2018年 6/8 栄和小学校 異学年のペア児童と給食を食べ交流を深める	異学年のペア児童と給食を食べ交流することで互いを思いやり、好ましい人間関係を育てることができた。	移動時間の短縮のために運びやすい献立にした。そのため献立の内容が制限される。	
田島小学校 協働	学校給食試 食会 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳+ —	対象:1年生・転 入生の保護者 56人	実施日:2018年10月11日(木) 場所:さくら草ホール 内容:田島小学校の給食への理解を求める。	給食への理解を求める説明を栄養士がした後、給食の試食をしたことで、試食会への内容の理解がより深められ、保護者からも「改めて規則正しく食事をとることの大切さがよく分かった」というアンケートの回答をいただくことができた。	食器の数や場所の関係で、限られた人数でしか実施ができない。	

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										実績										2018年4月～2019年3月(平成30年度)		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容		成果	課題									
中島小学校	家庭科 「1食分の献立をたてよう」	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:6年生 80人	実施日:2018年11月20日(火)、22日(木) 場所:6年生教室 内容:給食の1食分の献立を考える(講義、演習)	1年生から6年生までが食べる給食の献立を栄養面、価格、彩、食べやすさなどを考えながらたてることができた。「1年生でも食べやすいように〇〇した。」などと食べる人のことも考えながら献立をたてることができた。	宿題等で自分がたてた献立を作ってみようという実践を取り入れればよかった。	
常盤小学校	食育授業 (8020歯の健康教室学級単位指導)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:本校5年生児童 165人	実施日:平成31年1月17日(木) 場所:さいたま市立常盤小学校 内容:かむことの大切さ	噛む回数により、味の違いを実感することができた。また、よく噛むことの大切さ(「ひみこのはがいでいせ」の評語を使用した指導・だ液の効果・食べ物の分解への関わり)も理解することができた。	最後に目標の設定を行ったが、その目標が達成されたかの振り返りがなかった。事前準備に時間がかかり、教員側の負担が多かった。	
常盤小学校	食育授業	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:本校2年生児童 144人	実施日:平成31年1月29日(火)、2月2日(土)、5日(火)、6日(水) 場所:さいたま市立常盤小学校 内容:おやつを食べ方を考えよう	普段食べているおやつの特徴を知り、自分のおやつを振り返る機会となった。また自ら食事を作る機会のない年齢なので、おやつを食べることをきっかけとして食事を選択する際考えを選択する必要があることを知る機会となった。	授業後、3日間おやつを取り方の目標を決め実践を行った。この期間はおやつ摂取内容に気を付けることができたが、時間がたってしまうと忘れてしまう部分がある。一度の授業だけでなく年間指導計画を通し、振り返る機会を作るとより効果的である。	
常盤北小学校	給食集会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:1～6年生	実施日:1月中 場所:校内 内容: ・各学年給食や食に関する作品づくり(標語、カルタ、絵など) ・低学年と給食調理員との会食 ・給食委員会による給食集会	・給食や食に関する作品づくりに積極的に取り組んでいた。土曜授業日には、保護者の方が児童の作品を見ることができた。 ・会食では、普段話せない調理員と食事することで、お互いにたのしく会食をしていた。	インフルエンザ等が蔓延し、集会を開くことが難しく、TV放送の対応をした。実施が難しい場合の臨機応変な対応が必要である。	
大谷場小学校	地元シェフによる学校給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:590人	実施日:2019年1月17日 場所:大谷場小学校 内容:地元の野菜を使ったシェフ考案のフランス料理	フランス料理のシェフから五感を使って、楽しんで食べるというお話を聞いたことや、フランス料理ならではの野菜を細かく刻んだり、素材の味を引き出す調理法で作ったいつもと違う料理を前にし、苦手な野菜でも頑張って食べたという声が多く聞かれた。		給食で使用する全校分のグリーンピースと、とうもろこしの皮むきをする。
文蔵小学校	食事のマナー教室	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生とその保護者 130人	実施日:2019年1月21日(月)、23日(水) 場所:文蔵小学校 視聴覚室 内容:食事のマナーについて講話	・食事のマナーを守る意義を伝えることができた。自分で決めた食事のマナーを取り組み、その後の評価を家庭でも実施することで、家庭においてもマナーについての関心や意識付けをする機会となった。	・取組直後は意識し、マナーの改善がみられたが、継続指導が必要である。	【補足】 児童の感想(アンケートより) ・食事のマナーがたくさんあることが分かった。 ・きらいはなしのマナーがたくさんあることを知った。 ・マナーを守り、バランスよく食事をしていく。 保護者の感想(アンケートより) ・三角食を食べ意識できるようになった。 ・左手で茶碗をもち、姿勢を良く食べるようになった。
文蔵小学校	体験活動を取り入れた食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:小学生とその保護者 240人	実施日:①2018年5月17日(木)、②6月22日(金)、③7月4日(水)、④12月7日(金)、 場所:文蔵小学校 教室 内容:①さやえんどうの皮むき ②そらまめの皮むき ③とうもろこしの皮むき ④くわいの芽とり	・体験活動を通して、食べ物へ興味・関心を持つことができ、児童が苦手とする野菜の摂取率が上昇した。	・体験する野菜も地産産物を活用できると、さらに効果的だと思われる。	【補足】 ・グリーンピースの苦手な児童も、給食に自分でむいた「グリーンピースごはん」が登場したときは、嬉しそうに頑張って食べていた。 ・くわいの芽とり体験では、初めてくわいを見る児童も多く、形状や味にとても興味を持って取り組んでいた。

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)



担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
三室小学校 協働—	本とのコラボ 給食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:全校児童	実施日:2018年10月 場所:各教室 内容:絵本に出てくる食べ物を再現して給食に取り入れた。 「ぐりとぐら」の本からカステラ 10月1日 「11びきのねことあほうどり」からコロッケ 10月12日 「ABCDEカレー」からポークカレー 10月17日	絵本に出てくる料理を実際に目で見て食べることに より、食と読書への関心が高まった。	使用した絵本の読み聞かせなどをできるとなおよ かった。	
三室小学校 協働—	体験活動を 取り入れた 食育の推進 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:1～3年	実施日:2018年5月～7月 場所:各教室 内容:グリーンピースのさやだし(3年生) 5月11日 そらまめのさやだし(2年生) 6月5日 トウモロコシの皮むき(1年生) 7月10日	給食の食材に触れることにより、苦手なものでも食 べてみようという気持ちをもつことができた。生産者や 給食を作る調理員さんへの感謝の気持ちが高まっ た。	特に無し	
尾間木小学 校 協働—	3年社会科見 学 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:3年生 179人	実施日:2018年10月11日(木) 場所:若谷農園 内容:農家の仕事について	若谷農園の方に小松菜の育て方や収穫の仕方等 の話を実際、ビニールハウスで作業しているところ で聞く事ができ、農家の方の工夫や苦労を知り、食 への感謝の気持ちを育むことができた。	駐車場がないので、近くの宅配業者の駐車場にバ スを停めさせていただいた。	
原山小学校 協働—	テーブルマ ナー教室 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:第6学年 128人	実施日:3月11日(月)～3月16日(金) 場所:本校ランチルーム 内容:ナイフとフォークを使って洋食を食べる際の礼 儀、作法を学ぶ。	学校給食では通常経験することのできないナイフと フォークを使った食事を体験することができた。また、 スープを飲むときはスプーンで手前から奥にすくう などの、新たな知識を得ることもできた。	6年間のうちに校内で実施するのは1回のみであり、 定着を狙うことは難しい。	・ハンバーグ・コーンスープ ・こふさいも・サラダ・デザート
大門小学校 協働○	学校保健委 員会(食育講 座) (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 大門小保護者 教職員 保健委員会児童 60人	実施日:2018年8月30日(木) 場所:大門小 のびのびルーム 内容:「キッコーマン」食育講座」講話 (講師 増子雅代 氏)	・朝食の重要性や学童期の食に関するしつけにつ いての話を聞き、「家庭でも実践していきたい(親)な ど」の感想が多く聞かれた。 ・子どもの好き嫌いを克服できるようなアドバイ スがあり、「生活習慣改善サポート」で活用できた。講 話内容をほげんだりに掲載し、各家庭にもお知らせ できた。	学校保健委員会での食育講座の開催は、来年度以 降は未定である。今後、保護者も参加できる食育 の取組が定期的に開催できるよう、内容や開催方法 を検討する。	
大牧小学校 協働	郷土料理の 日	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 全児童 544人 年5回	実施日:食育の日(毎月19日) 場所:各教室 内容:各県の郷土料理を提供 プリント配付(県の特徴、特産品、郷土料理など)	各県の特産品や食文化を紹介することで、食への興 味関心が高まった。各地の食文化を知ることがで きた。		
大牧小学校 協働	交流給食	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 全児童 544人 年5回	実施日:6月・10月・11月・2月・3月 場所:ランチルーム・各教室 内容:兄弟学級や縦割り班での会食	異学年との交流で互いを思いやり、好ましい人間 関係を育てることができた。 苦手な食べ物も積極的に食べようとする姿が見ら れた。		



担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do			Check		取組の様子など
		三食 しっかり	目 的	5つの「食べる」 いっしょに楽しく	確かな目 をもつて	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題				
大牧小学校 協働	児童の考えた給食の提供	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象: 全児童 544人 年5回	実施日:3月 場所:各教室 内容:5・6年生の家庭科の学習をいかし、給食週間の取り組みとして、5年生が夢のみそ汁、6年生が夢の給食を考えた。学年1点の代表作品を3月の給食で提供。	家庭科の学習と連携して、献立をたてることで、栄養のバランスの良い食事について理解が深まった。実際に給食に出るといことは、児童にとって魅力的で生き生きと学習に取り組んでいた。提供された給食を食べた1年生から、「6年生すごい」の声が聞かれた。		
芝原小学校 協働	本とのコラボ給食の提供 (継続)	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象:全児童 (811人) 2回	実施日:2018年10月31日(水)、11月7日(水) 内容:本に出てくる料理を給食で再現し、給食の時間にテレビ放送で本の読み聞かせを行った。10月31日:「14ひきのかぼちゃ」(いわむらかずお 童心社)、11月7日「大根はエライ」(久住昌之 福音館書店)	本に出てくる料理を実際に目で見て味わうことにより、食と読書への関心が高まった。	担任に事前に「ランチタイムしばはら」(お便り)を配布し、本の内容等を知らせておくと、クラスでの指導を効果的に行うことができる。		
太田小学校 協働	世界の料理 (新規)	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象: 全校児童 全教職員 710人	実施日:毎月1回 場所:学校 内容:世界各地の料理を給食で提供する。	世界の料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	主食、主菜、副菜の全てを、その国の料理でそろえることが難しい。		
太田小学校 協働	郷土料理 (新規)	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象: 全校児童 全教職員 711人	実施日:毎月1回以上 場所:学校 内容:日本各地の郷土料理を給食で提供する。	各地の郷土料理を味だけでなく、見た目や香りなどからも知ることができた。	主食、主菜、副菜の全てを、その地域の料理でそろえることが難しい。		
太田小学校 協働	6年生の給食ウィーク (新規)	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象: 全校児童 全教職員 710人	実施日:2019年2月12日(火)～15日(金) 場所:学校 内容:6年生が、家庭科「くふうしようおいしい食事」で考えた献立を給食で提供する。	給食に出る前提で考えることで、価格や組み合わせも考慮して献立が考えられた。	ごはんと味噌汁を使った、本来の授業に見合っていない。		
太田小学校 協働	空豆のさやむき体験 (継続)	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象:2年生 102人	実施日:2018年6月5日(火) 場所:教室 内容:空豆のさやむきと食育を行った。むいた空豆は給食で提供した。	子どもが苦手な空豆も、自分たちでむくと味わって残さずに食べられていた。	1時間(45分)の確保が難しい。		
太田小学校 協働	とうもろこしの皮むき体験 (継続)	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	朝食 食生活	乳幼児期0～5歳	対象:1年生 100人	実施日:2018年7月10日(火) 場所:教室 内容:とうもろこしの皮をむかせて給食でとうもろこしを提供する。	普段、黄色いとうもろこししか見ていない子どもたちは、本来の皮とひげがついている姿に感動していた。	1時間(46分)の確保が難しい。		

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan							Do										Check		取組の様子など			
		三食 しっかり	目 標	5つの「食べる」 いっしょに楽しく 確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)		課題												
		朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題	
柏崎小学校 協働	皮むき体験 (継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対象:1・2年生 95人	実施日:2018年5月22日、7月5日 場所:各教室 内容:とうもろこし・そら豆の皮むき	児童たちが自ら野菜の皮むきを行うことで、食べ物への関心や食べる意欲を育むことができた。	実施日のみならず、継続して食べ物への興味関心が持てるように働きかける	皮むき後に取り組んだワークシートでは皮むきの様子を絵や文章で上手に表現することができた
柏崎小学校 協働	農家との 交流給食	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対象:5・6年生 100人	実施日:2019年1月29日 場所:5・6年各教室 内容:農家との交流給食	児童たちが生産者や農作物ができるまでに興味をもつことができた。	初めての試みだったので、高学年のみでの実施だったが、高学年のみならず、低・中学年とも関わりがもてるように働きかけをしたい	・参加しただきった農家さんからは「また参加したい」という声を聞くことができた。
和土小学校 協働	体験活動 (継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対象:小学2年生 特別支援学級児童 38人	2018年5月8日(火) さいたま市立和土小学校 グリーンピースのさやとり	いろいろな食材に触れ、給食作りに意欲的に参加し、給食調理員さんと交流するという活動を通して、食への関心や給食に対する理解が深まった。		班でみんなで一緒に協力し合って一生懸命に取り組んでいた。
和土小学校 協働	体験活動 (継続)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対象:小学1年生 特別支援学級児童 29人	実施日:2018年7月3日(火) 場所:さいたま市立和土小学校 内容:とうもろこしの皮むき	初めての給食の活動としていろいろな食材に触れ、給食作りに意欲的に参加し、給食調理員さんと交流するという活動を通して、食への関心や給食に対する楽しさを味わっていた		とうもろこしを、初めて触る児童もいて大騒ぎであったが、にいやさわり心地も楽しみながらみんなで協力して取り組んだ。
和土小学校 協働		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対象:小学3年生 特別支援学級児童 34人	実施日:2018年6月5日(火) 場所:さいたま市立和土小学校 内容:そらまめのさやとり	いろいろな食材に触れ、給食作りに意欲的に参加し、給食調理員さんと交流するという活動を通して、食への関心や調理方法など、給食に対する理解が深まった。		さやにはいっていることが不思議に感じる児童も多く体験活動を通して食育を行うことは今の時代には貴重な体験であった。
慈恩寺小学校 協働	6年生リクエスト給食 (新規)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対象:6年生 65人	実施日:12月 場所:校内 内容:卒業前にもう一度食べたい給食を、1食分の献立に描く。	主食、主菜、副菜の組み合わせや、5大栄養素のバランス、彩りなど、家庭科の調理で学んだことを活かし、献立作成することができた。		

○中学校・特別支援学校

- |          |             |         |         |        |
|----------|-------------|---------|---------|--------|
| 【西 区】    | ・馬宮中学校      | ・大宮西中学校 | ・植水中学校  | ・土屋中学校 |
| 【北 区】    | ・日進中学校      | ・泰平中学校  |         |        |
| 【見沼区】    | ・春里中学校      | ・七里中学校  |         |        |
| 【中央区】    | ・与野西中学校     | ・与野南中学校 |         |        |
| 【浦和区】    | ・木崎中学校      | ・浦和中学校  |         |        |
| 【南 区】    | ・内谷中学校      |         |         |        |
| 【緑 区】    | ・原山中学校      | ・東浦和中学校 | ・尾間木中学校 |        |
| 【岩槻区】    | ・川通中学校      | ・柏陽中学校  |         |        |
| 【特別支援学校】 | ・さくら草特別支援学校 |         |         |        |

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do				Check		取組の様子など						
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	目標	5つの「食べる」	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	課題										
馬宮中学校 協働	給食試食会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:生徒保護者 30人	実施日:平成30年5月29日(火) 場所:馬宮中学校 内容:給食概要(栄養管理・衛生管理・調理等)についての講話、会食	普段入れない給食室の様子をパワーポイントを使用し、上映することで、衛生管理や調理の過程を理解していただくことができた。 また、実際に給食を会食することで、量や彩り、味などを知っていただくことができた。アンケート結果は味、量、彩り等トータルで概ね好評をいただいた。	参加者は、生徒と同じ時間に配膳、喫食を行うため、生徒が食べている様子などを見ることが出来ないため、時間をずらす等で改善できないか、次年度以降に検討予定。	
大宮西中学校 協働	地元シェフによる学校給食(新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:全校生徒 475人(1回)	実施日:2019年1月29日(火) 場所:大宮西中学校 内容:地元シェフと連携し、地場産物を活用したメニュー提案による給食を実施	いつもの給食とは違った本格的なフランス料理を食べることによって給食に対してさらに興味・関心を高めることができた。	調理員数、給食室の施設を考慮して無理なく作業できるように配慮することが難しい。	
植水中学校 協働	給食試食会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象: 植水中PTA 25人	実施日:平成30年5月21日 場所:さいたま市植水中学校 内容:給食の試食。配膳体験。給食ができるまでの説明。生徒の給食の様子。	参加者に生徒が毎日とっている給食ができるまでについて理解していただくことができた。	時間の制約があるが、「給食の栄養価について理解を図る」「生徒の配膳の様子を見学していただく」など、工夫をしていきたい。	
土屋中学校 協働	授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:2学年生徒 実施回数:4回 参加者数:157名	実施日:2018年6月～7月 授業では、栄養素の働きを復習を実施し、実際にコンピュータを使用し、生徒それぞれが1日分の献立を作成した。 場所:コンピュータ室 内容:栄養素のはたらき 何をどのくらい食べればいいのかの献立を考えよう	作成した昼食の献立の中から、給食献立として、11月～2月に各月3～4日実施した。実際に献立作成をすることにより、食生活、栄養バランス、食品表示等より理解を深められた。	献立作成時には、自分自身の食生活を見直す機会になったが、その後も食生活を見直しているかが不安が残る。家庭科主任等と協力して生徒の食生活をより理解を深めたい。	コンピュータ室での授業のため、パワーポイントや献立作成ソフトを利用して、献立作成を実施した。11月から2月の献立を考えただけで季節感や家庭で使用できる食材など工夫して献立作成をしていた。
土屋中学校 協働	授業における食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:3学年生徒 実施回数:1回 対象人員:164人	実施日:2019年 2月～3月 授業では、すでに学習した「幼児の生活・成長」を復習し乍ら、幼児にあうおやつを考えて、調理を実施した。 場所:調理室 内容:幼児にあうおやつ作り アップルホットケーキ	幼児にとって、おやつは食事の一部として大切なもの。幼児の胃は小さく、1回に多くは食べられない特徴を理解できた。	実際に作ったおやつを幼児に対して、提供してないため、幼児の食べる様子が分からないことが課題。ただし、幼児とふれあう単元を実施したため、生徒が理解できていると思われる。	幼児にあうおやつ作りは、4人グループを作り、実施した。取り入れやすいホットケーキミックスとりんごを組み合わせて、幼児にあうおやつが作れた。実際に自分で食べてみて、上手にできた班もあったが、焦がしてしまった班もあり、それぞれ工夫して作っていた。
土屋中学校 協働	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:保護者 参加者:30人	実施日:2018年5月25日 場所:3年教室 内容:中学生の食事、学校給食について、パワーポイントで紹介し、給食の試食も実施	保護者に給食や中学生の食生活の特徴や必要な栄養について理解を得るよい機会となった。	参加者が少なく、多くの保護者に対して実施できなかったこと。	保護者が、実際の給食のスライドを見て、説明を受けたり、給食の試食を行うことにより、より給食や食育への理解が深まった。
日進中学校 協働	家庭教育講座 (新規)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳+	対象:近隣小学校の保護者 29人	実施日:12月26日 場所:日進中学校 調理室 内容:栄養教諭による日本の食文化についての講義の後に、お正月や季節の料理を調理実習で作った。	保護者からは食に対する意識が変わった。家で今回の献立をもう一度作りたいたいなど好評だった。	手に入れにくい食材(黒米や赤米、煎り黒豆など)を使用せず、家にたいていあるものでバランスのよい献立、料理などを紹介したほうがよさそうだった。	



担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										実績										2018年4月～2019年3月(平成30年度)		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容						成果		課題				
日進中学校 協働	給食試食会 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:本校保護者 62人	実施日:11月8日 場所:日進中学校 図書室・2学年教室 内容:全学年保護者対象で、栄養教諭より本校学校給食の概要や特徴を説明した後、試食。家庭での食育の実施の大切さを伝えた。	学校給食の意義や朝食の大切さについて伝え、学校給食への理解が深まった。	年々参加者が増加しているため会場確保が難しい。	
日進中学校 協働	給食委員会におけるキャンペーン活動 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:全校生徒	実施日:7月と1月 場所:日進中学校 内容:給食委員会によるポスター掲示・呼びかけを行い、毎日苦手傾向のある野菜を多く使った一品と主食の各クラスの残食率を掲示し、期間中に完全だったクラスには賞状を贈呈した。	残菜が減った。 給食の準備が早くなり、食べる時間が確保できるようになった。	キャンペーン期間中はがんばっても期間が過ぎてしまうともっとしてしまおう。	
泰平中学校 協働	リッチモンド給食 (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:全校生徒・教職員 493人	実施日:2018年9月13日 場所:泰平中学校 内容:7月6日に、リッチモンド市の教員が、本校を視察。その際に、給食委員会の生徒が、リッチモンドの食についてのインタビューを行い、9月13日にリッチモンド給食として、料理を紹介し、献立の実施をした。16日の文化祭でインタビュー内容などを掲示発表をした。	インタビューを生徒が行うことで、より身近に感じることができ、13日の献立も楽しみにしている生徒が増えた。 海外の食に関する興味も深まった。	今後、このような機会があれば、また別の国等で実施したい。	
泰平中学校 協働	給食の献立を考えよう (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:中学一年生 146人	実施日:2018年9月・10月 場所:泰平中学校 内容:一年生の家庭科の授業の中で、学校栄養士とTIの授業を行い、中学校の給食の献立を考える。実際に考えた献立の中から、実際の給食の献立として実施する。	普段食べている給食を自分たちで考えるとあって、授業・給食実施の当日共に関心が高かった。	献立を考えるのに使える時間が短いので、事前学習や長期休業中の課題などをうまく利用したい。	
春里中学校 協働	PTA食育講座 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:PTA 40人	実施日:2019年2月4日(月) 場所:中学校 家庭科室(調理室) 内容:給食の献立を保護者と一緒に調理する。	・給食の献立を実際に作ることで、食育に理解をしてもらい、当日の給食も試食し、家庭での食事に参考にしてもらった。生徒の食べているメニューが簡単にたくさん作れて楽しかったという感想が多く、好評でした。	・調理室で作業できる人数が決まっているので、出席できる人数に限りがある。	(アンケートより) ・生徒の食べている給食が食べられてよかった。 ・楽しく調理実習ができて楽しかった。 ・給食がたくさんのことを考えて作られていることがわかった。
七里中学校 協働	防災給食体験 (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:本校生徒 職員 1回 300人	実施日:2018年11月22日(木) 場所:七里中学校 内容:さいたま市の防災備蓄米(アルファ米)の作り方を知り、実際に作ってみることで災害時に非常職の知識を得るとともに、防災意識の向上をはかる。	災害時の簡易的な調理で食べられるものがあることを知る。	生徒は湯を入れてもらったご飯を混ぜる体験だったが、最初から自分たちで作れるとよかった。	学校全体の取組とは別に、科学技術部にアルファ米を水以外の液体で戻したものを食べ比べてもらう実験をした。
七里中学校 協働	食事の選び方 (新規)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 ○	食料備蓄 ○	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期0～5歳 ○	学齢期6～15歳 ○	青年期16～24歳 ○	成人期25～39歳 ○	壮年期40～64歳 ○	高齢期65歳以上 ○	対象:本校3年生 生徒職員 1回 94人	実施日:2019年3月4日(月) 場所:七里中学校 内容:給食がなくなり自分で食事を選ぶ機会が増えるため、バランスよく食べ物を選ぶポイントを説明した。	「話を聞いて実践してみよう」とする感想を聞けた。	生徒が考える場面があったらよかった。	話の内容について周りの人と話している様子が見られた。



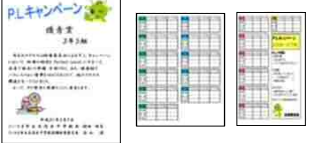


さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月（平成30年度）


担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		5つの「食べる」										対象・実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月（平成30年度）										
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ					対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題									
与野西中学校 協働	食育講演会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象： 全校生徒、 保護者 計600人	実施日：2018年5月7日(月) 場所：本校アリーナ 内容：「あこがれのスポーツ選手に学ぶ食生活」 元JOCオリンピック強化スタッフ 川端 理香様	本校では、食育と体力向上で研究を行っている。各界で活躍しているスポーツ選手の食事や、食生活のポイントを学び、体育祭や市学総大会への意欲を高め、スポーツと食生活について考える良い機会となった。	生徒、保護者、教職員にとって、とても興味深い内容だった。引き続き、継続して講演していただき、食育と体力向上に努めたい。	参加者の感想(アンケートより) ・実際に、スポーツ選手が食べている食事を教えてもらうことで、どんな食事をとればいいのかがよくわかりました。バランスの良い食生活を送って、体育祭や市学総大会をがんばりたいです！
与野南中学校 協働	学校給食を通じた食育の推進 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	全校生徒	実施日：毎日 場所：各教室 内容：給食時間の全校放送を通して、当日の献立に使用した地場産物の紹介や栄養、また、生徒にとって身近な学校行事を終めながら、体のコンディションづくりと食との関係を伝えた。	・生徒の食への関心を高めることができた。 ・地元食材を給食に取り入れ紹介していくことで、農家や生産者の方への感謝の気持ちや地場産物に対する意識が高まった。		
与野南中学校 協働	給食試食会 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	保護者・地域の方 57人	・全学年保護者対象で、本校学校給食の概要を説明した後、試食。 ・2学期に実施の学校評議員会時に給食の提供。	・本校の給食・食育に対する理解を深めることができた。来年度も継続して実施していきたい。		
与野南中学校 協働	本とのコラボ給食 (継続)	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	全校生徒	・毎月1回、給食の献立に合わせて、校長先生がその日のメニューにちなんだ本の読み聞かせをしてくださる「本とのコラボ給食」を実施している。	・生徒の給食への関心を高めることができ、生徒からも好評だった。		
与野南中学校 協働	つぼみの給食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	全校生徒	・つぼみの日に合わせて、地域の小学校と合同の献立を実施している。	・生徒の給食への関心を高めることができ、生徒からも好評だった。		
与野南中学校 協働	体験活動を取り入れた食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	給食委員会の生徒	内容1：学校ファームにおいて、さつまいもの栽培、収穫を行い、収穫した作物を学校給食食材として活用する。 対象：給食委員会の生徒 実施日：年間を通して 実施場所：南中ファーム	・生徒自身が野菜を栽培し、その野菜を学校給食に取り入れることで、苦手な食材を克服した生徒も見られた。 ・野菜を作る人の思いを知り、食物の大切さを考えることで、感謝の気持ちを育むことができた。		
与野南中学校 協働	食に関する指導の充実	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	保健委員会生徒 保護者 関係職員 ・1、2年生	内容1：学校保健委員会での生活習慣改善についての講演対象：保健委員会生徒、保護者、関係教職員 実施日：平成30年12月 内容2：特別活動授業 対象：1、2年生 実施期間：5～10月	・生徒・保護者が学校全体の生活の問題点を把握することができ、前向きに改善しようという意欲を持つことができた。マナーを守って食べること、食べられることに感謝することへの意欲が高まり、給食の残菜が減少した。		

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do										Check		取組の様子など
		5つの「食べる」										実績										2018年4月～2019年3月(平成30年度)		
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ				対象、実施回数・ 参加者数等		実施日、場所、内容		成果		課題							
木崎中学校	給食試食会 及び説明会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:木崎中学校1年生保護者 58人	実施日:2018年6月14日(木) 場所:さいたま市立木崎中学校 内容:給食の試食及び、栄養教諭による給食の説明と講話	保護者の学校給食への理解を深めてもらうとともに、家庭での食育の推進を促すことが出来た。	参加者が対象の1/4程度であったため、参加者が増えるよう呼びかけを行っていく。	
木崎中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:木崎中学校全生徒 816人	実施日:2019年1月23日(水)～30日(水) 場所:さいたま市立木崎中学校 内容:給食委員を中心に調理員さんへの感謝の色紙の作成	生徒全員で取り組むことにより、一人ひとりが食事ができることの感謝の気持ちを持つことが出来た。	インフルエンザの流行に伴い、全員が集まらないクラスもあったため、来年度は期間を延長するなど、余裕をもって計画を立てていく。	
浦和中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:在校生保護者 78人	実施日:2018年7月7日(土) 場所:浦和中学校 内容:栄養士による食に関する講話 学校給食の意義と普段の生徒の様子について	保護者の方と、生徒の家庭での食生活の様子や学校での給食時の様子の情報交換を行うよい機会となった。また、当日は七夕の行事食を試食してもらい、季節感を大切にしながらの和食の良さを実感してもらえた。	開催時期が夏期なので、取り扱える食材や衛生面においても実施できる献立の制約が大きい。	
浦和中学校	家庭科の授業と連携した食育の推進	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:第1学年全生徒 80人	実施日:1学期・2学期 場所:浦和中学校 内容:1年生の家庭科の授業の中で中学生の1日に必要な食事の内容について学び、給食1食分の献立を作成する。生徒が作成した献立の中から栄養士が選んだ献立を実際の給食で提供する。	成長期に必要な栄養の特色を知ること、給食の献立に多く取り入れられている食品の必要性について理解を深めることができた。また、作成した献立を実際の給食に取り入れることで、生徒の食に対する興味関心が高まった。	生徒がテーマに沿って考え作成した献立について、調理作業内容とのバランスを考えながら給食献立に反映させることが必要である。	
内谷中学校	1年生:家庭科 バランスのとれた一日の食事づくり 3年生:保健体育及び総合的学習で食育	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象: 1年生 310人 5回 3年生 330人 5回	場所:内谷中学校 実施日・内容: 1年生は4～9月(夏休みは食事づくり)の授業で食生活をとりあげている。その中で内谷中の給食メニューを作ることにし、好み、バランスや旬、行事、し好などを考慮してオリジナルのメニューを作り、33名の献立を実際の給食で提供している。 3年生は5月に生活習慣病とその予防についてBMIをもちいた授業と、2学期に総合学習で食育をとりあげてSDGsや日本文化・郷土食について調べて発表を行った。	自分が考えた献立メニューが実際に給食として提供されると、本人も含め学級でも残さずに食べる傾向にある。 ・肥満もやせも健康に良くないと知り、食生活を見直す機会となったという意見もあった。 ・食育はいろいろなところに(環境や文化、世界)つながっていることが理解できた。	学校の計画の中で、中学2年生への食の係わりがないので、他の教科も含めて食に関しての指導や内容を検討していく。	・1年生が作成し、実施した学級給食メニューはすべて写真と校長のコメントを添えて給食だよりで学校に紹介した。 ・3年生は調べた内容を外国人の方々へプレゼンを行った。
原山中学校	給食試食会	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:保護者 48人	実施日:2018年5月9日(水) 場所:会議室 内容:給食の内容、できるまでの過程や配慮していることなどをパワーポイントを使って説明。給食を試食してもらい、理解を深める。	アンケートで希望の多かった献立を実施し、高評価をいただいた。給食と食生活に対する理解が深まった。	会議室に入れる人数が限られているため、参加者が定員をオーバーした場合について考慮する必要がある。	
原山中学校	給食週間	朝食	食生活	バランス	共食	行儀作法	食の安全・食中毒	食品表示	食料備蓄	感謝・あいさつ	資源・環境	農林漁業	行事食・郷土料理	乳幼児期0～5歳	学齢期6～15歳	青年期16～24歳	成人期25～39歳	壮年期40～64歳	高齢期65歳以上	対象:全校生徒 695人	実施日:2018年12月3日(月)～2018年12月7日(金) 場所:教室、廊下、体育館 内容:給食集会の開催、給食標語、給食のポスター、給食従事者へのメッセージカードを作成。	全校集会では、給食従事者の話を聞き、給食標語の表彰を行なった。食を大切にする心や、感謝の心を育てるきっかけとなった。	とても良い取組なので、今後も継続できるように内容を検討していく。	

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など								
		三食 しっかり	いっしょ に楽しく	確かな目 をもって	まごころ に感謝	食文化や 地の物	対象ライフステージ	対象、実施回数・ 参加者数等	実績	2018年4月～2019年3月 (平成30年度)	成果	課題												
東浦中学校 協働—	お祝いテー ブルマナー 給食 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 中学3年 180人	実施日: 2月の給食実施日 6日間 場所: PTA会議室 内容: ナイフとフォークを使ったテーブルマナーを教 わりながらの、給食時間の会食	9年間の給食を通じた食育の締めくくりにもなり、テ ブルマナーを通して、社会性を増す良い機会となっ た。	3年間に1回のみなので、橋の持ち方などについて も学ばせる機会を作っていくたい。	
東浦中学校 協働○	PTA対象調 理講習会 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 30人	実施日: 1月24日 場所: 家庭科 調理室 内容: シェフを招いて、地元の野菜や、豆を使ってバ ランスの良い食事づくりの講習会	シェフからの調理のコツや、「食育」「食」について聞 くことにより、バランスの良い食事作りの大切さを伝 えることができた。	参加者が、限られてしまうので、講習会の日程を検 討する。	
尾間木中 学校 協働—	給食委員会 におけるキ ャンペーン活 動 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 生徒 623人	実施日: 2019年2月5日(火)～7(木) 場所: 各教室 内容: 身支度・残菜・片付けのチェックをした。 また、優秀なクラスには表彰を行った。	キャンペーン期間中は、給食委員が中心となり、声 かけを行った。普段より意識する生徒が増え、残菜 が減った。	毎年、行っているキャンペーンのため、意識付けをす るよききっかけとなっている。今後は、キャンペーンを 行う時期、チェックする項目の工夫が必要である。	
川通中 学校 協働	給食試食会	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 20人	実施日: 2018年7月4日(水) 場所: 川通中学校 内容: 学校給食の内容や給食の調理の様子を保護 者に説明し、給食の試食を行った	保護者に学校給食を理解していただく良い機会と なった	より多くの保護者の方にご参加いただきたい	・日頃食べているものを試食する機会をいただきあり がとうございました ・試食のメニューを家でも作りたいと思います
川通中 学校 協働	TTによる食 育授業	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 中学1年 中学2年 中学3年	実施日: 2018年11月～12月 場所: 川通中学校 内容: 朝食と生活リズムについて(学級活動)	朝食や生活リズムについて学ぶことにより、生徒自 身の健康について考える機会になった	授業で考えた内容を生活習慣として定着させること が課題である	授業の感想より ・たまに朝ごはんを食べない時があるので、これからは毎日食べられるようにしたい ・体を動かす時間が少ないので、ストレッチやラン ニングをする時間を作りたい ・寝る時間が遅く、朝起きられないことがあるので早く 寝るようにした
柏陽中 学校 協働—	給食試食会 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 保護者 (年1回) 14人	実施日: 2018年11月19日(月) 場所: 教室 内容: 柏陽中の給食・中学生を支える3つの食(講 話)	・保護者への給食への関心を高め学校給食の内容 についても理解を深めることができた。 ・実施アンケートでも好評であった。	・参加者をさらに増やすことが課題である。	
柏陽中 学校 協働—	給食集会感 謝の会 (継続)	朝食 —	食生活 —	バランス —	共食 —	行儀作法 —	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ —	資源・環境 —	農林漁業 —	行事食・郷土料理 —	乳幼児期0～5歳 —	学齢期6～15歳 —	青年期16～24歳 —	成人期25～39歳 —	壮年期40～64歳 —	高齢期65歳— —	対象: 全校生徒	実施日: 2019年1月17日(木) 場所: 体育館 内容: 給食委員会の取り組みで調べ学習(給食室の 様子)と調理員さんへ感謝の気持ちを伝える色紙を 作成した。調理員から講話をしていただいた。	給食調理員からの話を聞くことで、感謝の心を育てる きっかけになった。	・1月の実施で、調べ学習をした後パワーポイント を作成するのに時間がかかった。	

さいたま市の食育取組状況 2018年4月～2019年3月(平成30年度)

担当課所 協働の有無	事業名 (新規/継続)	Plan										Do		Check		取組の様子など							
		5つの「食べる」										実績		2018年4月～2019年3月(平成30年度)									
		三食 しっかり		いっしょ に楽しく		確かな目 をもって		まごころ に感謝		食文化や 地の物		対象ライフステージ		対象、実施回数・ 参加者数等	実施日、場所、内容	成果	課題						
柏陽中学校 協働—	授業における食育の推進 (継続)	朝食 ○	食生活 ○	バランス ○	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 ○	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期 0～5歳 —	学齢期 6～15歳 —	青年期 16～24歳 —	成人期 25～39歳 —	壮年期 40～64歳 —	高齢期 65歳以上 —	対象:生徒 1年生 「中学校給食を知ろう」(特活) 「給食の献立を考えよう」(家庭科) 2年生 「enjoy! 私の中学校生活」(特活) 特別支援学級「バランスよく食べて元気になろう」(自立活動) 「給食について知ろう」(自立活動) 「給食の献立を考えよう」(自立活動) *それぞれT.Tで授業を実施	・食に対する興味関心を高めることができた。生きた教材「給食」を使用することで給食への関心も高まった。 ・特別活動や家庭科、自立など、栄養教諭とT.Tで授業を行った。食育の推進として今後も継続していきたい。	来年度は、他の教科でも実施していきたい。	
さくら草特別支援学校 協働	食育の日 (新規)	朝食 —	食生活 ○	バランス —	共食 ○	行儀作法 ○	食の安全・食中毒 —	食品表示 —	食料備蓄 —	感謝・あいさつ ○	資源・環境 ○	農林漁業 ○	行事食・郷土料理 ○	乳幼児期 0～5歳 —	学齢期 6～15歳 —	青年期 16～24歳 —	成人期 25～39歳 —	壮年期 40～64歳 —	高齢期 65歳以上 —	対象: 児童生徒36人、 教職員、保護者 実施回数: 毎月1回 実施日:毎月19日前後 場所:学校 内容:和食の魅力を伝える	和食の魅力を伝えることができた。また、味噌、醤油、出汁などへの理解を深めることができた。	もっと、家庭への啓発を増やせばよかった。	

## 食育の目標「さいたま市5つの『食べる』」

さ 「三食しっかり」食べる

い 「いっしょに楽しく」食べる

た 「確かな目をもって」食べる

ま 「まごころに感謝して」食べる

し 「食文化や地の物を伝え合い」食べる



**さいたま市食育ナビ** <http://www.saitamacity-shokuiku.jp/>

食育に関する総合的な情報の提供や、会員相互の情報交換を目的として開設されたサイトです。

食育の基礎知識、食の安全・食中毒、地産地消、学校や保育園の給食レシピなど、食育に役立つ情報を発信しています。

発行：令和元年 9 月  
さいたま市食育推進協議会

さいたま市保健福祉局保健部健康増進課  
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4  
TEL:048-829-1294 FAX:048-829-1967

この冊子は 285 部作成し、1 部あたりの作成費用は、206 円（概算）です。